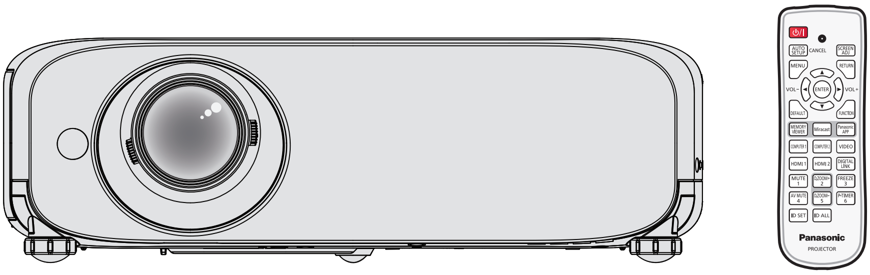
Panasonic

取扱説明書
詳細編

液晶プロジェクター 業務用

品番 PT-VZ575NJ
PT-VW535NJ
PT-VX605NJ



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ 本書は、2015 年 6 月以降に生産された製品の取扱説明書です。
■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■ ご使用の前に“安全上のご注意”（☞ 2 ～ 5 ページ）を必ずお読みください。
■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

製造番号は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

JAPANESE
TQBH0356-2

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

電源について	
異常・故障時には直ちに使用を中止する	
電源プラグを抜く	■ **異常があったときは、電源プラグを抜く [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音が発生したとき]** （そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。） ⇒ 異常の際、電源プラグをすぐに抜けるように、コンセントを本機の近くに取り付けるか、配線用遮断装置を容易に手が届く位置に設置してください。 ⇒ 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。 ⇒ お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ **電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込む** （差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。） ⇒ 傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
	■ **電源プラグのほこりなどは、定期的にとる** （プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災や感電の原因になります。） ⇒ 半年に一度はプラグを抜いて、乾いた布で拭いてください。 ⇒ 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
	■ **電源コード・プラグが破損するようなことはしない [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]** （傷んだまま使用すると、火災や感電、ショートの原因になります。） ⇒ 電源コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	■ **コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない** （たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。）
	■ **付属の電源コード以外は使用しない** （付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。また、付属の電源コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因になります。）
ぬれ手禁止	■ **ぬれた手で電源プラグや電源コネクターに触れない** （感電の原因になります。）
接触禁止	■ **雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない** （感電の原因になります。）

⚠ 警告（つづき）

ご使用・設置について

■ **放熱を妨げない**
［布や紙などの上に置かない（吸気口に吸着する場合があります）、風通しが悪く狭い所に押し込まない］
（内部が高温になり、火災の原因になることがあります。）
⇒ 吸排気を妨げないよう、周辺の壁やものから排気口までは 1 m 以上、吸気口までは 50 cm 以上離して設置してください。

■ **排気口には手やものを近づけない**
［手や顔を近づけない、指を入れない、熱に弱いものを近くに置かない］
（排気口からは熱風がでているため、やけどやけが、変形の原因になります。）

■ **カーペットやスポンジマットなどのやわらかい面の上で本機を使用しない**
（内部に熱がこもり、本機の故障、火災ややけどの原因になることがあります。）

■ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない**
（火災や感電の原因になることがあります。また、油により樹脂が劣化し、天つり設置の場合に落下するおそれがあります。）

■ **荷重に耐えられない場所や不安定な場所に設置しない**
（落下などによる本機の破損・変形や、大きな事故やけがの原因になります。）

■ **使用中は投写レンズを絶対にのぞかない**
（投写レンズからは強い光がでます。中を直接のぞくと、目を痛める原因になります。）
⇒ 使用中に本機から離れる場合は、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いてください。
⇒ 特にお子様にはご注意ください。

■ **内部に金属類や燃えやすいものなどを入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない**
（ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。）
⇒ 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
⇒ 水などの液体が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。
⇒ 特にお子様にはご注意ください。

分解禁止

■ **分解や改造をしない**
（内部には電圧の高い部分があり、感電や火災の原因になります。また、使用機器の故障の原因になります。）
⇒ 内部の点検や修理などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

警告	感電のおそれあり サービスマン以外の方はケースをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

■ **天井取り付け（天つり）などの設置工事は、工事専門業者または販売店に依頼する**
（工事の不備により、落下事故の原因となります。）

■ **当社で指定した天つり金具を使用する**
（当社指定以外の天つり金具の不備により、落下事故の原因となることがあります。）
⇒ 当社指定の天つり金具をご利用の際は､天つり金具（取付用ベース金具）に付属のワイヤーで、落下防止の処置を行ってください。

警告（つづき）

付属品・消耗品について

電源プラグを抜く

■ **ランプユニット交換を行う前に、必ず電源を切り電源プラグをコンセントから抜く**
（電源プラグを抜かずに交換作業を行うと、感電やランプ破裂の原因になります。また、ランプの点灯中は紫外線を発生しています。）
⇒ 正しい手順で交換を行ってください。

■ **ランプユニットを分解しない**
（ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。）

■ **ランプユニット交換の際は、指定のねじ以外は外さない**
（感電・やけど・けがの原因となります。）

■ **電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない**
[液が目に入ったら目をこすらない]
（失明のおそれや、液が身体や衣服に付着した場合、皮膚の炎症やけがの原因になります。）
⇒ すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

■ **電池は誤った使い方をしない**
- **指定された電池以外は使用しない。**
- **乾電池は充電しない。**
- **加熱・分解したり水などの液体や火の中へ入れたりしない。**
- **＋と－を針金などで接続しない。**
- **＋と－を逆に入れない。**
- **ネックレスやヘアピンなど金具が使用されているものと一緒に持ち運んだり保管したりしない。**
- **新旧の電池や違う種類の電池を混ぜて使わない。**
- **被覆のはがれた電池は使わない。（電池には安全のために被覆がかぶせてあります。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。）**

（液漏れ・発熱・破裂・発火の原因になります。）

■ **付属の電源コードは、本機以外の機器では使用しない**
（付属の電源コードを本機以外の機器で使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。）

■ **付属の乾電池は、乳幼児の手の届くところに置かない**
（誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。）
⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

■ **ランプユニットの交換は、電源を切り、ランプが冷えてから（1 時間以上待ってから）行う**
（カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。）

■ **使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す**
（そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。）

⚠ 注意

電源について

電源プラグを抜く

■ **長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
（電源プラグにほこりがたまり、火災・感電の原因になることがあります。）

■ **お手入れ、部品交換の際は、電源プラグをコンセントから抜く**
（感電の原因になることがあります。）

■ **電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）を持って抜く**
（コードを引っ張るとコードが破損し、感電、ショートによる火災の原因になることがあります。）

ご使用・設置について

■ **本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない**
（バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。また、本機の破損や変形の原因になることがあります。）

■ **異常に温度が高くなる所に置かない**
（外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。）
⇒ 直射日光の当たる所や、熱器具などの近くには、設置・保管をしないでください。

■ **使用中は投写レンズの前にものを置かない**
（投写レンズからは強い光がでます。投写レンズの前にものを置くと、火災やものの破損、本機の故障の原因になることがあります。）

■ **使用中は投写レンズの前に立たない**
（投写レンズからは強い光がでます。投写レンズの前に立つと衣服を傷めたり、やけどの原因になることがあります。）

■ **〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子には、ヘッドホンやイヤホンを接続しない**
（ヘッドホンやイヤホンからの過剰な音圧により、難聴の原因になることがあります。）

■ **移動させる場合は、必ず接続線を外す**
（コードの破損などにより、火災や感電の原因になることがあります。）

■ **天つり設置する場合は、取り付けねじや電源コードが天井内部の金属部と接触しないように設置する**
（天井内部の金属部と接触して、感電の原因になることがあります。）

付属品・消耗品について

■ **ランプが破裂したときは、さわったり、顔を近づけたりしない**
（散乱したガラス片で、けがをしたり、破裂により発生したガスを吸い込んでしまったりするおそれがあります。）
⇒ 直ちに換気を行ってください。万が一吸い込んだり、目や口に入ったりした場合は、直ちに医師にご相談ください。
⇒ 破裂により発生したガスは、蛍光灯程度の水銀を含有しています。
⇒ 販売店にランプの交換と内部の点検をご依頼ください。

■ **古いランプユニットは使用しない**
[使用時間を超えたランプユニットは使用しない]
（そのまま使用を続けると、破裂する場合があります。）
⇒ ランプユニットは消耗部品です。

■ **長期間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出す**
（電池の液漏れ、発熱、発火、破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。）

お手入れについて

■ **1 年に 1 度は、内部の清掃を販売店に依頼する**
（本機の内部にほこりがたまったままで使用を続けると、火災の原因になることがあります。）
⇒ 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。
⇒ 内部清掃費用については販売店にご相談ください。

■商標などについて

- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- RoomView、Crestron RoomView は、Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
  Crestron Connected™、Fusion RV は Crestron Electronics, Inc. の商標です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Direct™、Miracast™ は、Wi-Fi Alliance の商標です。
- Windows、Windows Vista、Internet Explorer、PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OS、OS X、iPad、iPhone、iPod touch、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Android は、Google Inc. の商標です。
- VueMagic は、Pixelworks, Inc. の商標です。
- Adobe、Adobe Flash Player、Adobe Reader は、アドビシステムズ社の米国および / または各国での商標または登録商標です。
- オンスクリーンメニューに使用しているフォントの一部は、株式会社リコーが製作・販売した、リコービットマップフォントです。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して（以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ）記録すること。
  (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。
  詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (http://www.mpegla.com) をご参照ください。
- その他、この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
  なお、本文中では ® や ™ マークは明記していません。

当製品に関するソフトウェア情報

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ～ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
詳細は、付属の CD-ROM に含まれるライセンス条件をご参照ください。
パナソニックは、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口（E メール）：**sav.pj.gpl.pavc@ml.jp.panasonic.com**

■本書内のイラストについて

- プロジェクター本体、画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■参照ページについて

- 本書では、参照ページを（☞ 00 ページ）のように示しています。

■用語について

- 本書では付属品の「ワイヤレスリモコン」を「リモコン」と記載しています。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

JIS C 61000-3-2 適合品
本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

2.4DS/OF4	本機は、2.4GHz 帯を使用する、DS-SS および OFDM 変調方式の無線機器です。中心周波数に 2 412 ～ 2 472 MHz (CH1 ～ CH13) を使用し、想定干渉距離は 40 m です。

	本機には、日本の電波法に基づく技術基準に適合し認証済みの無線モジュールが搭載されています。

本機の特長

優れた基本性能

▶ 独自光学システム、ランプ調光システムおよび、デイライトビュー機能により、明るい部屋でも十分に美しい映像を提供します。

▶ 持ち運びも可能なコンパクトデザインでありながら、多彩な入力インターフェースを兼ね備えた多機能モデルです。

簡単設置

▶ 1.6 倍光学ズーム、レンズシフト搭載により、幅広い設置性を確保しています。

▶ 台形補正、コーナー補正、曲面スクリーン補正機能により、様々な場所で映像のひずみを簡単に補正できます。

簡単メンテナンス

▶ 新ランプ駆動方式、長寿命フィルター採用により、ランプやフィルターの交換推奨時間を大幅に改善しており、メンテナンス費用を削減できます。

【参考】
- ランプ：5 000 時間（[ランプパワー] を［ノーマル］に設定時）
  7 000 時間（[ランプパワー] を［ECO］に設定時）
- フィルター：7 000 時間

※この時間は目安であり、保証時間ではありません。

繋がる・拡がるマルチデバイス対応

▶ 付属のアプリケーションソフト「ワイヤレスマネージャー」や Miracast 機能により、端末画面をワイヤレスで投写できます。

▶ メモリービューワー機能により、コンピューターを持ち運ばなくても、ＵＳＢメモリーに収録された動画・静止画を投写できます。

投写するまでの手順

詳しくは各ページをご覧ください。

1. 本機を設置する
   (☞ 26 ページ)

↓

2. 本機と外部機器を接続する
   (☞ 31 ページ)

↓

3. 電源コードを接続する
   (☞ 36 ページ)

↓

4. 電源を入れる
   (☞ 37 ページ)

↓

5. 初期設定をする
   (☞ 37 ページ)
   - 本機をご購入後、初めて電源を入れてご使用になる場合に行う手順です。

↓

6. 投写する映像を選択する
   (☞ 40 ページ)

↓

7. 映像の映り具合を調整する
   (☞ 40 ページ)

もくじ

2 ページからの“安全上のご注意”を必ずお読みください。

安全上のご注意 2

第 1 章　はじめに

ご使用になる前に 12
本機の運搬について 12
本機の設置について 12
本機の取り扱いについて 13
セキュリティーに関するお願い 14
無線 LAN に関するお願いとお知らせ 15
「DIGITAL LINK」について 16
廃棄について 16
付属品の確認 17
別売品 18
各部の名称とはたらき 19
リモコン 19
本体 20
リモコンの準備 23
電池を入れる、取り出す 23
本機を複数台使用するときは 23
レンズキャップを取り付ける 24

第 2 章　準備

設置する 26
設置形態 26
設置オプションについて（別売品） 26
投写関係 27
アジャスター脚の調整 29
レンズシフト機能によるレンズ位置調整 29
接続する 31
接続の前に 31
映像機器との接続（例） 32
コンピューターとの接続（例） 33
ツイストペアケーブル伝送器との接続接続（例）33

第 3 章　基本的な使い方

電源を入れる / 切る 36
電源コードを接続する 36
電源インジケーターについて 36
電源を入れる 37
初期設定画面が表示されたら 37
調整・選択をする 38
電源を切る 39
ダイレクトパワーオフ機能 39
投写する 40
投写する映像を選択する 40
映像の映り具合を調整する 40
リモコンで操作する 41
オートセットアップ機能を使う 41
スクリーン補正機能 41
音量を調整する 41
ファンクションボタンを使う 42
入力を切り換える 42
メモリービューワー機能を使う 43
Miracast 機能を使う 43
Panasonic APPLICATION 機能を使う 43
デジタルズーム機能を使う 44
静止機能を使う 44
AV ミュート機能を使う 45
プレゼンテーションタイマー機能を使う 45
消音機能を使う 45
リモコンの ID ナンバーを設定する 45

第 4 章　調整と設定

オンスクリーンメニューについて 48
メニュー画面の操作方法 48
メインメニュー 49
サブメニュー 49
[映像調整] について 53
[映像モード] 53
[コントラスト] 53
[明るさ] 53
[色の濃さ] 54
[色あい] 54
[シャープネス] 54
[色温度設定] 54
[アイリス] 55
[アドバンスドメニュー] 55
[デイライトビュー] 55
[デジタルシネマリアリティー] 56
[ノイズリダクション] 56
[TV システム] 56
[RGB/YC_BC_R] / [RGB/YP_BP_R] 57
[位置調整] について 58
[リアルタイム台形補正] 58
[スクリーン補正]（PT-VW535NJ, PT-VX605NJ の場合） 58
[スクリーン補正]（PT-VZ575NJ の場合） 60
[シフト] 63
[ドットクロック] 64
[クロックフェーズ] 64
[オーバースキャン] 64
[アスペクト] 64
[フレームロック] 65
[表示言語] について 66
表示言語を切り換える 66

[表示オプション] について......67
[オンスクリーン表示]......67
[HDMI 信号レベル]......68
[DIGITAL LINK 信号レベル]......68
[クローズドキャプション設定](NTSC、480i YC_BC_R 信号入力時のみ)......68
[スクリーン設定]......69
[スタートアップロゴ]......70
[自動位置補正設定]......70
[入力検出]......70
[バックカラー]......71
[ワイドモード]......71
[SXGA モード]......71
[プレゼンテーションタイマー]......71
[その他の機能]......73
[プロジェクター設定] について......74
[ステータス]......74
[COMPUTER1 入力設定]......74
[COMPUTER2 入出力選択]......74
[プロジェクター ID]......75
[起動方法]......75
[投写方式]......75
[ランプパワー]......75
[ECO マネージメント]......76
[RS-232C]......77
[エミュレート]......77
[ファンクションボタン]......78
[音声設定]......78
[テストパターン]......80
[フィルターカウンター]......80
[全設定初期化]......81
[セキュリティー] について......82
[パスワード設定]......82
[パスワード変更]......82
[テキスト設定]......83
[テキスト変更]......83
[メニューロック]......83
[メニューロックパスワード]......83
[操作設定]......83
[ネットワーク /USB] について......85
ネットワーク情報の確認......85
[DIGITAL LINK モード]......85
[DIGITAL LINK 設定]......85
[DIGITAL LINK ステータス]......86
[有線 LAN]......86
[無線 LAN]......87
[コネクションロック]......90
[プロジェクター名変更]......90
[パスワード設定]......91
[パスワード変更]......91
[ネットワークコントロール]......91
[AMX D. D.]......91
[Crestron Connected(TM)]......92
[EXTRON XTP]......92
[DIGITAL INTERFACE BOX]......92
[ライブモード割り込み]......92
[マルチライブ]......92
[メモリービューワー]......93
[VueMagic(TM)]......93
[ステータス]......94
[初期化]......94
ネットワーク接続について......95
WEB ブラウザーからのアクセスのしかた......99

第 5 章　機能の操作

メモリービューワー機能について......115
メモリービューワー機能で投写できる画像......115
USB メモリー使用上のお願い......115
メモリービューワー画面を表示する......116
メモリービューワー画面を操作する......116
静止画を再生する......117
動画を再生する......118
メモリービューワー画面の説明......120
Miracast 機能について......121

第 6 章　点検とお手入れ

ランプ / 温度インジケーター......123
インジケーターが点灯したら......123
お手入れ / 部品交換......124
お手入れ / 部品交換の前に......124
お手入れ......124
部品交換......124
故障かな！？......128
困ったとき......130

第 7 章　その他

付録......132
PJLink プロトコルを使用する......132
LAN 経由の制御コマンドについて......133
〈SERIAL IN〉端子について......134
[メニューロックパスワード] の操作について 137
対応信号リスト......137
ネットワーク用語解説......140
仕様......141
外形寸法図......143
天つり金具取り付け時の注意事項......144
保証とアフターサービス......145
保証書(別添付)......145
補修用性能部品の保有期間......145
修理のご依頼について......145
さくいん......146

第 1 章　はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたい内容やご確認いただきたい内容について説明しています。

ご使用になる前に

本機の運搬について

- 運搬の際は、本機の底面を持つようにし、過度の振動や衝撃を加えないようにお取り扱いください。内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- アジャスター脚を伸ばした状態で運搬しないでください。アジャスター脚が破損するおそれがあります。

本機の設置について

■屋外に設置しないでください

本機は室内でご使用ください。

■以下の場所には設置しないでください

- 車両・船舶など、振動や衝撃が加わる場所：内部の部品が傷み、故障の原因になります。
- エアコンの吹き出し口の近く：使用環境によっては、排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風・冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。本機の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- 照明器具（スタジオ用ランプなど）の近くなどの温度変化が激しい場所：ランプの寿命などに影響を及ぼすおそれや、熱により本体が変形し、故障の原因になることがあります。
  なお、本機の使用環境温度は、海抜 1 200 m 未満で使用する場合は 0 ℃～ 40 ℃*1、高地（海抜 1 200 m 以上～2 700 m 未満）で使用する場合は 0 ℃～ 30 ℃です。
  *1　使用環境温度が 35 ℃～ 40 ℃のときは、[ランプパワー] が自動的に [ECO] に切り換わります。
- 高圧電線や動力源の近く：妨害を受ける場合があります。

■本機を天井に取り付ける場合は、必ず工事専門業者、または販売店にご依頼ください

別売品のプロジェクター用天つり金具が必要です。高天井用または低天井用の天つり金具に、プロジェクター取付用ベース金具を組み合わせて設置してください。

品番：① ET-PKL100H（高天井用）、ET-PKV400B（取付用ベース金具）
　　　② ET-PKL100S（低天井用）、ET-PKV400B（取付用ベース金具）

既設のプロジェクター用天つり金具 ET-PKV100H（高天井用）または ET-PKV100S（低天井用）をご利用の場合は、取付用ベース金具 ET-PKV400B のほかに、天つり金具用アタッチメント金具 ET-PAD100 を組み合わせて設置してください。

■DIGITAL LINK 接続用のケーブル配線工事は、工事専門業者または販売店に依頼してください

工事の不備によりケーブル伝送特性が得られず、映像や音声が途切れたり乱れたりする原因となります。

■放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります

近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で設置された金属箔あるいは金属配管で〈DIGITAL LINK/LAN〉端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

■フォーカス調整について

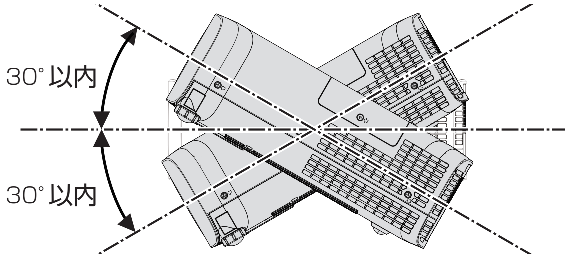
プロジェクターのレンズは、光源からの光による熱の影響で、電源を入れた直後はフォーカスが安定しません。フォーカスの調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。

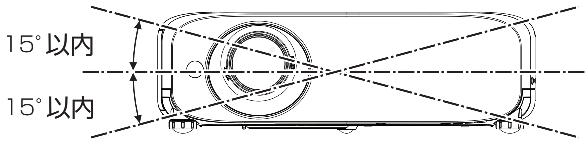
■海抜 2 700 m 以上の場所に設置しないでください

部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

■本機を立てたり、左右に傾けたりして使用しないでください

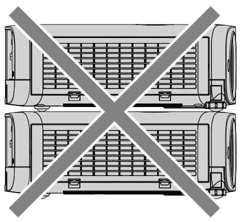
本機を上下方向に± 30°以上立てたり、左右方向に± 15°以上傾けたりして使用しないでください。部品の寿命などに影響を及ぼすおそれがあります。

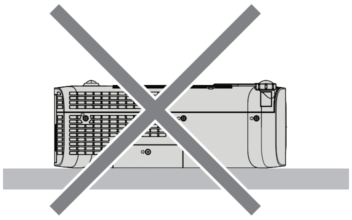


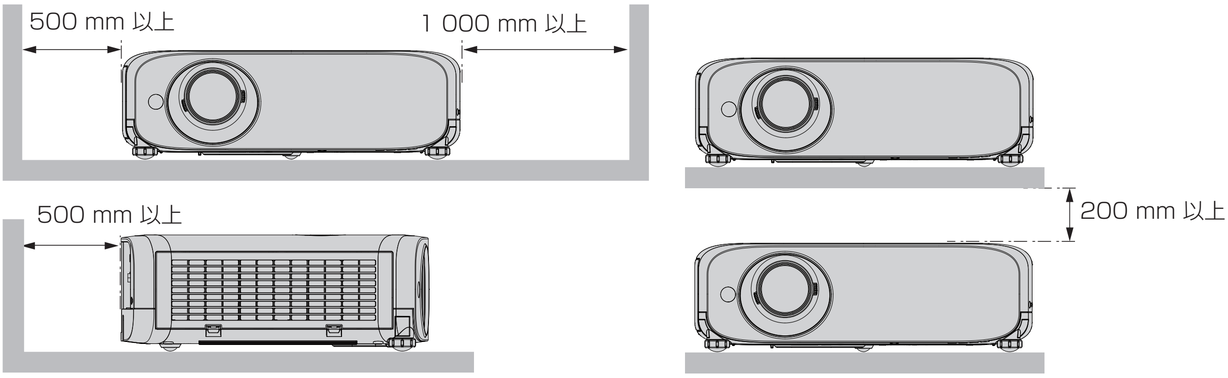


■設置上のご注意

- 本機を積み重ねて使用しないでください。
- 本機を天面で支えて使用しないでください。
- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。
- 空調の冷風や温風が、本機の吸気口・排気口に直接当たらないように設置してください。







- 使用環境によっては排気口からの熱せられた空気や、空調からの温風・冷風の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。本体の前面に自機、あるいは他機の排気や、空調からの風が回り込むような設置がないように注意してください。
- 本機を密閉した空間に設置しないでください。
  密閉した空間に設置する場合は、別途、空調設備、換気設備を設けてください。換気が不十分な場合、排気熱が滞留することで、本機の保護回路がはたらくことがあります。

本機の取り扱いについて

■美しい映像をご覧いただくために

- より高いコントラストで美しい映像をご覧いただくには、適切な環境を整えてください。スクリーン面に外光や照明などの光が入らないように、窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消してください。

■投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れが付着すると、それらが拡大されてスクリーンに映り、美しい映像をご覧いただくための妨げとなります。
また、本機を使用しないときは、付属のレンズキャップを取り付けておいてください。

■液晶パネルについて

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で製造されていますが、まれに画素の欠けや、常時点灯する画素が発生する場合があります。これらの現象は故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
また、静止画を長時間投写すると、液晶パネルに映像の残像が生じる場合がありますので、その場合は全白画面を 1 時間以上投写してください。なお、残像が完全に消えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■光学部品について

ご使用になる環境温度が高い場合や、ほこり、たばこなどの煙が多い環境下では、1 年未満のご使用でも、液晶パネルや偏光板などの光学部品の交換サイクルが短くなる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■動作中に移動させたり、振動や衝撃を与えたりしないでください

内蔵されているモーターの寿命を早める恐れがあります。

■ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い高圧水銀ランプを使用しています。

高圧水銀ランプには下記のような特性があります。
- 使用時間にともない、ランプの輝度が低下します。
- 衝撃やキズ、使用時間による劣化などにより大きな音を出して破裂したり、寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがあります。特に 12 時間以上の連続使用や、頻繁な電源の切 / 入の繰り返しは、ランプの劣化を早め、寿命に大きく影響します。
- ごくまれに、投写開始後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を超えると破裂の可能性が高くなります。交換時期が来たらランプユニットを交換してください。
（“ランプユニットの交換時期”（☞ 126 ページ）、“ランプユニットの交換手順”（☞ 126 ページ））
- 破裂すると、内部のガスが噴出し、煙のように見えることがあります。
- 万一に備え、あらかじめ交換用ランプユニットをご用意ください。

■ コンピューターや外部機器との接続について

- コンピューターまたは外部機器を接続する際は、電源コードやシールドされたケーブルの使用も含め、本書の内容をよくご確認のうえ実施してください。

セキュリティーに関するお願い

本製品をご使用になる場合、下記のような被害を受ける場合が想定されます。
- 本製品を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本製品の不正操作
- 悪意の第三者による本製品の妨害や停止

セキュリティー対策を十分に行ってください。（☞ 82、91、109 ページ）
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- WEB 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティーに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューター等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見られる可能性があります。
  - ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
  - メールの内容
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者により個人や会社内のネットワークへ無断でアクセスされ、次のような不正行為を受ける可能性があります。
  - 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  - コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線 LAN アダプターや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

無線 LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が行われていない場合があります。お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN 機器をご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティーに関するすべての設定を、各々の無線 LAN 機器の取扱説明書に従って行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

本機を無線 LAN で使用する際のセキュリティー設定について、お客様ご自身で対処できない場合には、『パナソニック　プロジェクターサポートセンター』（☞ 15 ページ）までお問い合わせください。

セキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

無線 LAN に関するお願いとお知らせ

本機の無線 LAN 接続機能使用時は、2.4 GHz/ 5 GHz 帯域の電波を使用します。無線局の免許は必要ありませんが、下記の内容を十分理解してご使用ください。

■ ほかの無線機器の近くでは使用しないでください。

下記の機器は、本機と同じ帯域の電波を使用している可能性があります。これらの近くで本機を使用すると、電波の干渉により通信できなくなったり、通信速度が遅くなったりする場合があります。

- 電子レンジなど
- 産業・科学・医療用機器など
- 工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局
- 特定小電力無線局

■ 本機の近くでは、携帯電話・テレビ・ラジオをできるだけ使用しないでください。

携帯電話・テレビ・ラジオなどは、本機と違う帯域の電波を使用しておりますので、無線 LAN の通信や、これらの機器の送受信には影響ありません。しかし、本機からの電波により、音声や映像にノイズが発生することがあります。

■ 鉄筋・金属・コンクリートなどは、無線 LAN 通信の電波を通しません。

木材やガラス（金属メッシュ入りガラスを除く）などの壁や床を通して通信することはできますが、鉄筋・金属・コンクリートなどの壁や床を通して通信することはできません。

■ 静電気が多く発生するような場所では、できるだけ本機を使用しないでください。

じゅうたんなどの静電気やノイズが多く発生するような場所で本機を使用する場合、無線 LAN、または有線 LAN での通信が切れやすくなります。

まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合がありますので、その場合はリモコンまたは本機電源部の電源ボタンで電源をいったん切り、問題となる静電気やノイズ源を取り除いたあとに本機の電源を入れ直してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック　プロジェクターサポートセンター
0120-872-601

■ 国外での取り扱いについて

本機は、お買い求めの国または地域からの持ち出しが禁止されていますので、お買い求めの国または地域でのみ使用してください。また、無線 LAN を使用できるチャンネルや周波数は国や地域により制限があります。

■ 使用できる無線 LAN のチャンネルについて

国または地域によって使用できるチャンネル（周波数範囲）が異なります。次の表を参照してください。

国または地域	規格	使用チャンネル	周波数帯域 （中心周波数）
日本	ARIB STD-T66 IEEE802.11b/g/n	1 ～ 13 チャンネル	2 412 MHz ～ 2 472 MHz
	IEEE802.11a/n	36/40/44/48 チャンネル（W52）	5 180 MHz ～ 5 240 MHz
		52/56/60/64 チャンネル（W53）	5 260 MHz ～ 5 320 MHz
		100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140 チャンネル（W56）	5 500 MHz ～ 5 700 MHz

■ IEEE802.11a/n（5.2 GHz/5.3 GHz 帯）は、屋内で使用してください

5.2 GHz/5.3 GHz 帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

5.5 GHz ～ 5.7 GHz の周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

「DIGITAL LINK」について

「DIGITAL LINK」は、映像・音声・イーサーネット・シリアル制御信号をツイストペアケーブルを使用して伝送する技術です。本機は、別売品のデジタルインターフェースボックス（品番：ET-YFB100）、および Extron 社製の「XTP トランスミッター」に対応しています。本機で動作確認済みの他社製ツイストペアケーブル伝送器については、弊社 WEB サイト（http://panasonic.biz/projector/）をご覧ください。他社製機器の動作確認は、弊社確認項目について実施したものであり、すべての動作を保証するものではありません。他社製機器に起因する操作や性能上の不具合などについては、各メーカーにお問い合わせください。

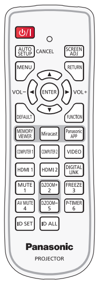
廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。
ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

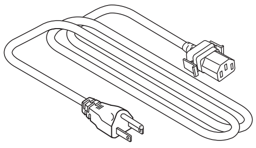
付属品の確認

以下の付属品が入っていることを確認してください。< > は個数です。

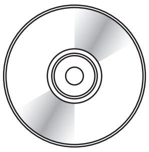
ワイヤレスリモコン <1>
（N2QAYA000090）



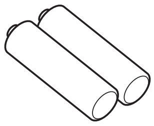
電源コード <1>
（TXFSX01VLR4）



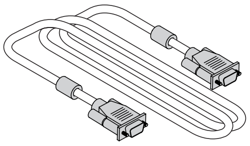
CD-ROM<1>
（TXFQB02VLQ9）



単 4 形乾電池 <2>
（リモコン用）

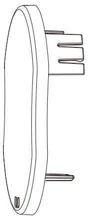


コンピューターケーブル <1>
（K1HY15YY0012）

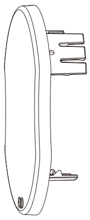


レンズキャップ <1>
（お買い上げ時は、製品本体に装着されています。）

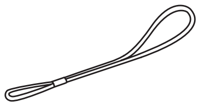
（TKKL5573）
(PT-VZ575NJ 用)



（TKKL5577）
(PT-VW535NJ, PT-VX605NJ 用)



ストラップ <1>
（レンズキャップ用）
（6103504711）



お願い

- 電源コードキャップおよび包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。
- 付属の電源コードは本機以外の機器では使用しないでください。
- 付属品を紛失してしまった場合、販売店にご相談ください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かない所に適切に保管してください。

お知らせ

- 付属品の品番は、予告なく変更する可能性があります。

CD-ROM の内容について

付属品の CD-ROM には、以下の内容が収録されています。

説明書 / 一覧表（PDF）	取扱説明書 詳細編	
	複数台プロジェクター 監視制御ソフトウェア 取扱説明書	
	ロゴ転送ソフトウェア 取扱説明書	
	ワイヤレスマネージャー ME6.2 取扱説明書	
	対応プロジェクター機種一覧表	CD-ROM に収録されているソフトウェアに対応するプロジェクターの機種、および制約事項の一覧です。
	ソフトウェアライセンス文	本機で使用しているオープンソースソフトウェアのライセンス条件を、PDF ファイルで収録しています。
ソフトウェア	複数台プロジェクター 監視制御ソフトウェア（Windows）	LAN 接続された複数台のプロジェクターを監視・制御するソフトウェアです。
	ロゴ転送ソフトウェア（Windows）	スタート時に投影する会社ロゴマークなどユーザー独自の画像をプロジェクターに転送するソフトウェアです。
	ワイヤレスマネージャー ME6.2（Windows/Mac）	コンピューターの画面を無線 LAN / 有線 LAN 送信するためのソフトウェアです。

別売品

別売品（品名）	品番
プロジェクター用天つり金具	ET-PKL100H（高天井用） ET-PKL100S（低天井用） ET-PKV400B (取付用ベース金具)
天つり金具用アタッチメント金具 [*1]	ET-PAD100
交換用ランプユニット	ET-LAV400
交換用フィルターユニット	ET-RFV400
イージーワイヤレススティック	ET-UW100
デジタルインターフェースボックス	ET-YFB100
D-SUB - S Video 変換ケーブル	ET-ADSV

*1　既設の天つり金具(ET-PKV100H または ET-PKV100S)に本機を取り付ける場合は、取付用ベース金具(ET-PKV400B)と天つり金具用アタッチメント金具（ET-PAD100）を組み合わせて使用します。
別売品の天つり金具（ET-PKL100H または ET-PKL100S）に取り付ける場合は、取付用ベース金具（ET-PKV400B）を組み合わせて設置し、天つり金具用アタッチメント金具（ET-PAD100）は不要です。

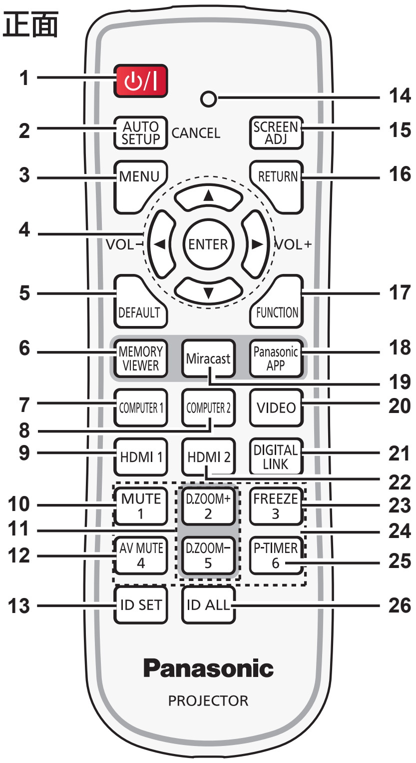
お知らせ

- 別売品の品番は、予告なく変更する可能性があります。

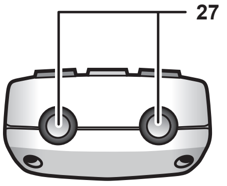
各部の名称とはたらき

リモコン

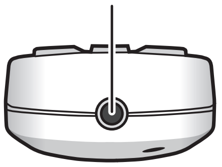
■ 正面



■ 天面



■ 底面



1　電源〈⏻/|〉ボタン
投写状態のとき、本機の電源を切った状態（スタンバイ状態）にします。また、電源が切れている状態（スタンバイ状態）のとき、本機を投写状態にします。

2　〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタン
映像を投写中に、画面表示位置を自動調整します。（☞ 41 ページ）また、メモリービューワー機能では〈CANCEL〉ボタンとしてはたらきます。

3　〈MENU〉ボタン
メニュー画面の表示 / 非表示を切り換えます。（☞ 48 ページ）

4　▲▼◀▶〈VOL+/-〉ボタン、〈ENTER〉ボタン
メニュー画面の操作に使用します。また、▲▼ボタンはワイヤレスマネージャーで PowerPoint® などのファイルを表示中に前後ページへの移動に使用し、◀▶ボタンは音量の調節に使用します。

5　〈DEFAULT〉ボタン
サブメニューの設定内容を工場出荷時の状態に戻します。（☞ 49 ページ）

6　〈MEMORY VIEWER〉ボタン
入力を MEMORY VIEWER に切り換えます。（☞ 41 ページ）

7　〈COMPUTER 1〉ボタン
入力をコンピューター 1 に切り換えます。（☞ 42 ページ）

8　〈COMPUTER 2〉ボタン
入力をコンピューター 2 に切り換えます。（☞ 42 ページ）

9　〈HDMI 1〉ボタン
入力を HDMI 1 に切り換えます。（☞ 42 ページ）

10　〈MUTE〉ボタン
音声出力を一時的に消すことができます。（☞ 45 ページ）

11　〈D.ZOOM +/-〉ボタン
映像を拡大および縮小します。（☞ 44 ページ）

12　〈AV MUTE〉ボタン
映像と音声を一時的に消したい場合に使用します。（☞ 45 ページ）

13　〈ID SET〉ボタン
本体を複数台使用するシステム時、リモコンの ID ナンバーを設定する場合に使用します。（☞ 45 ページ）

14　リモコン操作表示ランプ
リモコンのボタンを押すと点滅します。

15　〈SCREEN ADJ〉ボタン
投写画面のひずみを補正したい場合に使用します。（☞ 41 ページ）

16　〈RETURN〉ボタン
メニュー画面の操作を戻したり、設定を解除したりします。

17　〈FUNCTION〉ボタン
よく使う操作を割り当て、ショートカットボタンとして使用します。（☞ 42 ページ）

18　〈Panasonic APP〉ボタン
入力を Panasonic APPLICATION に切り換えます。（☞ 43 ページ）

19　〈Miracast〉ボタン
入力を Miracast に切り換えます。（☞ 43 ページ）

20　〈VIDEO〉ボタン
入力をビデオに切り換えます。（☞ 42 ページ）

21　〈DIGITAL LINK〉ボタン
入力を DIGITAL LINK に切り換えます。（☞ 42 ページ）

22　〈HDMI 2〉ボタン
入力を HDMI 2 に切り換えます。（☞ 42 ページ）

23　〈FREEZE〉ボタン
映像を一時的に静止し、音声を消したい場合に使用します。（☞ 44 ページ）

24　数字（〈1〉～〈6〉）ボタン
本体を複数台使用するシステム時に使用します。
ID ナンバーの入力やパスワードの入力に使用します。

25　〈P-TIMER〉ボタン
プレゼンテーションタイマー機能を操作します。（☞ 45 ページ）

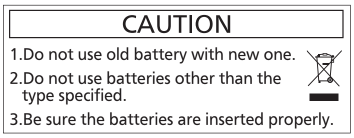
26　〈ID ALL〉ボタン
本体を複数台使用するシステム時、1 つのリモコンで同時制御する場合に使用します。（☞ 45 ページ）

27　リモコン発信部

28　本機ではこの端子は使用しません。

お願い

- リモコンは落とさないようにしてください。
- リモコンに液状のものをかけないでください。
- リモコンを分解・修理しないでください。
- リモコン裏面の注意書き（右記）に記載されている以下の内容をお守りください。
  1. 新旧の電池は混用しない。
  2. 指定された電池以外は使用しない。
  3. 電池の極性（+、−）を正しく入れる。
- このほか、“安全上のご注意”に記載されている電池に関する内容をお読みください。



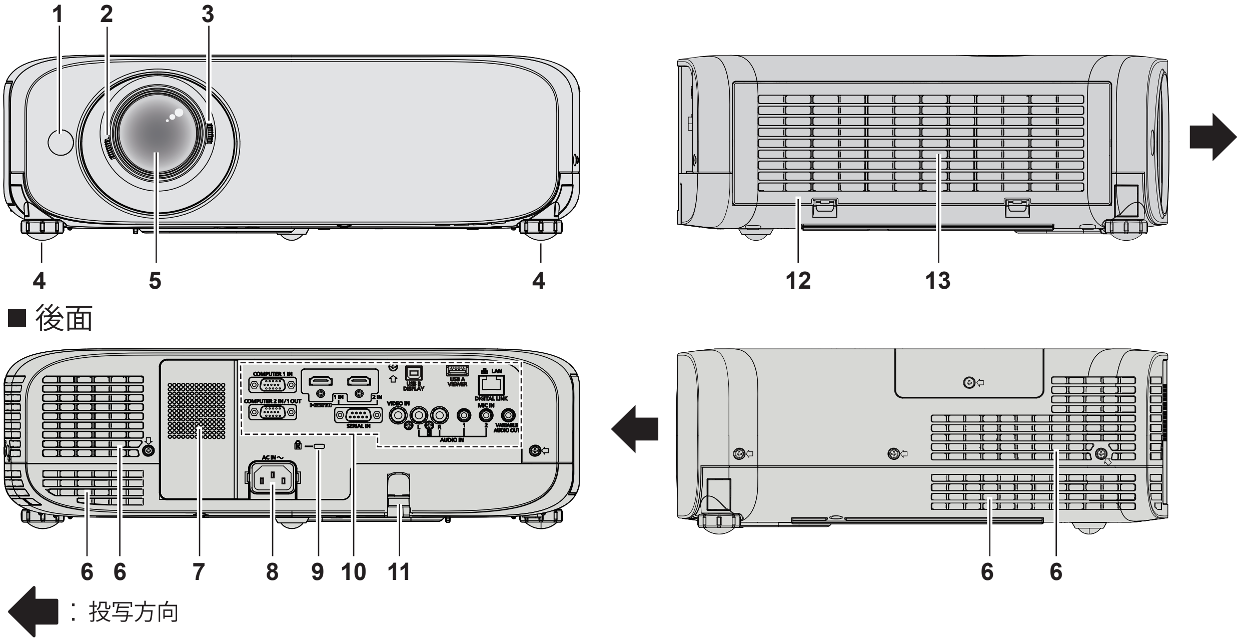
リモコン裏面の注意書き

お知らせ

- リモコンを直接本体のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信部正面より約 7 m 以内で操作してください。また、上下左右に± 30°まで操作可能ですが、操作可能距離が短くなる場合があります。
- リモコンとリモコン受信部の間に障害物があると、正しく動作しない場合があります。
- リモコンからの信号を、スクリーンに反射させて本機を操作できます。ただし、スクリーン特性による光反射ロスにより、操作有効範囲が制限される場合があります。
- 本体のリモコン受信部に蛍光灯などの強い光が当たっていると、操作できなくなる場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

本体

■ 前面　■ 側面　■ 後面



1　**リモコン受信部**

2　**フォーカスレバー**
フォーカスを調整します。

3　**ズームレバー**
ズームを調整します。

4　**アジャスター脚**
投写角度を調整します。

5　**投写レンズ**

6　**排気口**

	警 告
	排気口には手やものを近づけない ● 手や顔を近づけない。 ● 指を入れない。 ● 熱に弱いものを近くに置かない。 排気口からは熱風がでているため、やけど・けが・変形の原因になります。

7　**スピーカー**

8　**〈AC IN〉端子**
付属の電源コードを接続します。

9　**セキュリティースロット**
このセキュリティースロットは、Kensington 社製セキュリティーケーブルに対応しています。
Kensington 社製セキュリティーケーブルについてのお問い合わせ先は、次のとおりです。

> 七陽商事株式会社　情報機器事業部
> 〒 103-0007
> 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7 ナナヨービル
> Tel：03-3663-7740
> Fax：03-3669-2367
> URL http://www.nanayojapan.co.jp/
> * 連絡先は変更になる場合があります。ご了承ください。

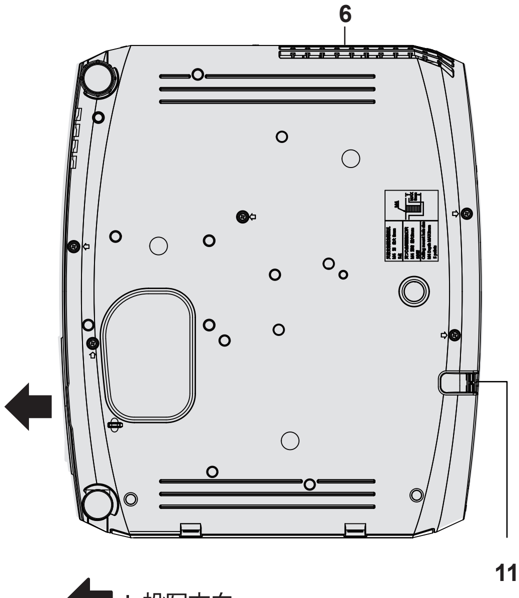
10　**接続端子部**（☞ 22 ページ）

11　**セキュリティーバー**
盗難防止用にワイヤーなどを取り付けることができます。

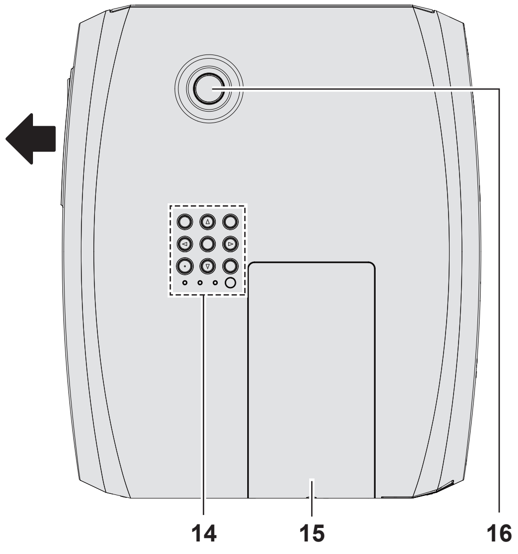
12　**エアフィルターカバー**
内部にエアフィルターユニットがあります。

13　**吸気口**

■ 底面



■ 天面



：投写方向

14　本体操作部 / インジケーター

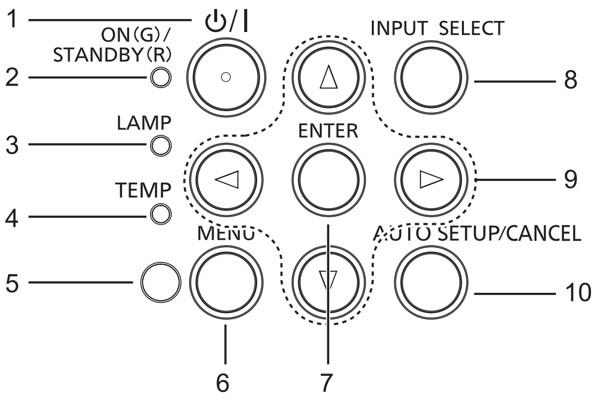
15　ランプカバー
ランプユニットは本体内部にあります。

16　垂直レンズシフトダイヤル
投写位置を調整します。

お願い

- 本機の吸気口・排気口をふさがないでください。

■ 本体操作部 / インジケーター



1　電源〈⏻/|〉ボタン
投写状態のとき、本機の電源を切った状態（スタンバイ状態）にします。また、電源が切れている状態（スタンバイ状態）のとき、本機を投写状態にします。

2　電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉
電源の状態を表示します。

3　ランプインジケーター〈LAMP〉
ランプユニットの交換時期をお知らせします。

4　温度インジケーター〈TEMP〉
内部温度状態を表示します。

5　照度センサー
部屋の照度を測定し、適切な画質補正を行います。

6　〈MENU〉ボタン
メニュー画面を表示します。（☞ 48 ページ）

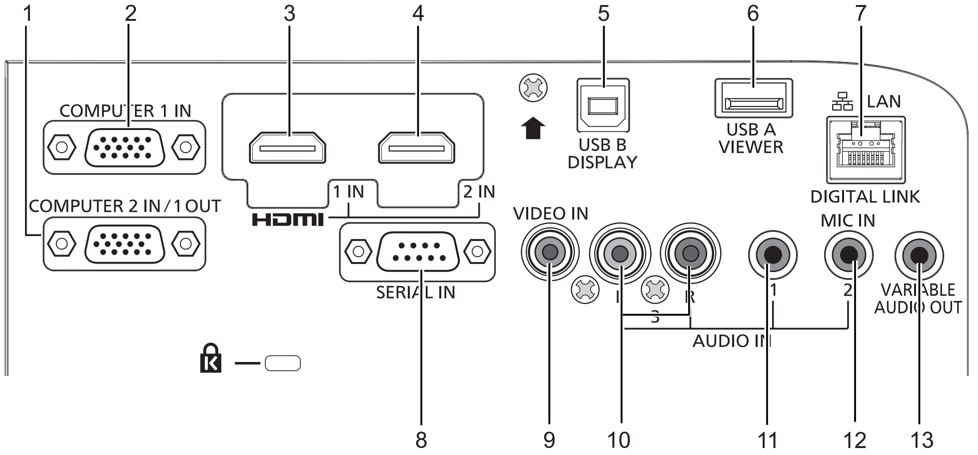
7　〈ENTER〉ボタン
選択した項目を実行します。

8　〈INPUT SELECT〉ボタン
投写する入力を切り換えます。（☞ 40 ページ）

9　▲▼◀▶ ボタン
メニュー画面の操作に使用します。また、▲▼ ボタンはワイヤレスマネージャーで PowerPoint® などのファイルを表示中に前後ページへの移動に使用し、◀▶ ボタンは音量の調節に使用します。

10　〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタン
映像を投写中に、画面表示位置を自動調整します。
（☞ 41 ページ）
また、メモリービューワー機能では〈CANCEL〉ボタンとしてはたらきます。

■ 接続端子部



1　〈COMPUTER 2 IN/1 OUT〉端子
コンピューターからの RGB 信号または YC_BC_R/YP_BP_R 信号を入力する端子です。または外部モニターへの RGB 信号または YC_BC_R/YP_BP_R 信号を出力する端子です。

2　〈COMPUTER 1 IN〉端子
コンピューターからの RGB 信号、Y/C 信号または YC_BC_R/YP_BP_R 信号を入力する端子です。

3　〈HDMI 1 IN〉端子
HDMI 1 信号を入力する端子です。

4　〈HDMI 2 IN〉端子
HDMI 2 信号を入力する端子です。

5　〈USB B (DISPLAY)〉端子
付属のアプリケーションソフト「ワイヤレスマネージャー ME6.2」の USB ディスプレイ機能を使用するときに、本機とコンピューターを USB ケーブルで接続する端子です。
詳しくは、付属 CD-ROM の「ワイヤレスマネージャー ME6.2」の取扱説明書をご覧ください。

6　〈USB A (VIEWER)〉端子
USB メモリーを直接挿入します。（☞ 115 ページ）

7　〈DIGITAL LINK/LAN〉端子
ネットワーク接続する LAN 端子です。
または、LAN 端子経由で映像・音声信号を送出する機器を接続するときの端子です。

8　〈SERIAL IN〉端子
コンピューターを接続して本機を外部制御するための RS-232C 準拠の入力端子です。

9　〈VIDEO IN〉端子
ビデオ信号を入力する端子です。

10　〈AUDIO IN 3 (L/R)〉端子
音声信号を入力する端子です。
右端子（R）と左端子 (L) があります。

11　〈AUDIO IN 1〉端子
音声信号を入力する端子です。

12　〈AUDIO IN 2 (MIC IN)〉端子
音声信号を入力する端子です。
または、マイクを接続するときの差込み口です。

13　〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子
本機に入力された音声信号を出力します。

お願い

- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

リモコンの準備

電池を入れる、取り出す

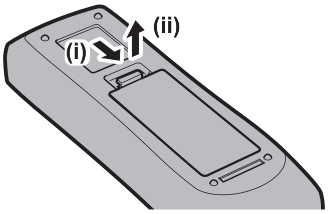


図 1

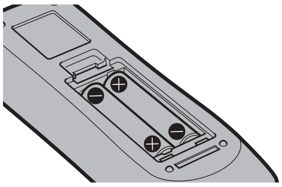


図 2

1) ふたを開ける（図 1）

2) 電池を入れ、ふたを閉じる（⊖ 側から先に入れます）（図 2）

- 電池を取り出す場合は、逆の手順で行います。

本機を複数台使用するときは

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々の ID ナンバーを設定することにより、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

ID ナンバーを設定して使用する場合は、初期設定終了後、まず本体の ID ナンバーを設定し、次にリモコンの ID ナンバーを設定します。

初期設定については、“初期設定画面が表示されたら”（☞ 37 ページ）をご覧ください。

工場出荷時、本機（本体とリモコン）の ID ナンバーは［オール］に設定されていますので、そのままお使いいただけます。必要に応じて、本体とリモコンの ID ナンバーを設定してください。

リモコンの ID ナンバーの設定について、詳しくは“リモコンの ID ナンバーを設定する”（☞ 45 ページ）をご覧ください。

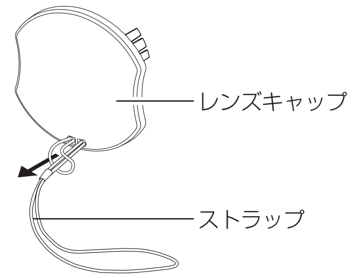
お知らせ

- 本体の ID ナンバーは、メニューの［プロジェクター設定］→［プロジェクター ID］で設定してください。（☞ 75 ページ）

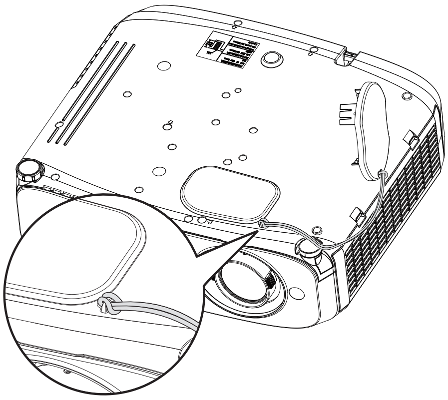
レンズキャップを取り付ける

本機を移動したり、しばらくの間使用しないときは、レンズキャップを取り付けます。
レンズキャップ紛失防止のため、以下の手順に従い、付属のストラップでレンズキャップを本機に取り付けてください。

1)　ストラップの先端（輪の小さい方）をレンズキャップの穴に通して取り付ける



2)　ストラップのもう片方（輪の大きい方）を本機の底部にある穴に通して取り付ける



第 2 章　準備

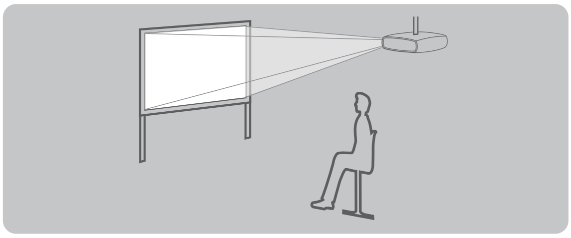
設置や接続など、ご使用前に行っていただく内容について説明しています。

設置する

設置形態

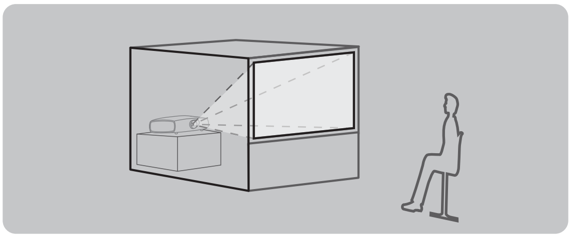
本機の設置形態は 4 通りあります。設置形態に応じてメニューの［プロジェクター設定］→［投写方式］（☞ 75 ページ）を設定してください。

天つり設置で前方に投写する場合



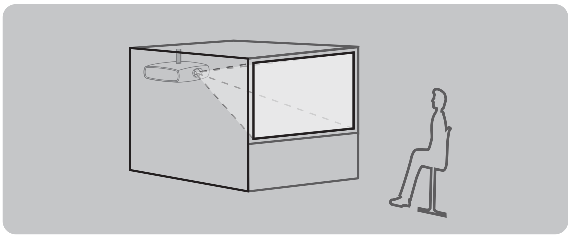
メニュー項目	設定値
［投写方式］	［フロント / 天つり］

床置き設置で後方から投写する場合
（透過式スクリーン使用）



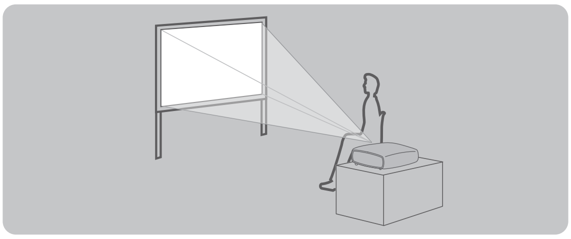
メニュー項目	設定値
［投写方式］	［リア / 床置き］

天つり設置で後方から投写する場合
（透過式スクリーン使用）



メニュー項目	設定値
［投写方式］	［リア / 天つり］

床置き設置で前方に投写する場合



メニュー項目	設定値
［投写方式］	［フロント / 床置き］

設置オプションについて（別売品）

別売品のプロジェクター用天つり金具が必要です。高天井用または低天井用の天つり金具に、プロジェクター取付用ベース金具を組み合わせて設置してください。

品番：① ET-PKL100H（高天井用）、ET-PKV400B（取付用ベース金具）
　　　② ET-PKL100S（低天井用）、ET-PKV400B（取付用ベース金具）

既設のプロジェクター用天つり金具 ET-PKV100H（高天井用）または ET-PKV100S（低天井用）をご利用の場合は、取付用ベース金具 ET-PKV400B のほかに、天つり金具用アタッチメント金具 ET-PAD100 を組み合わせて設置してください。

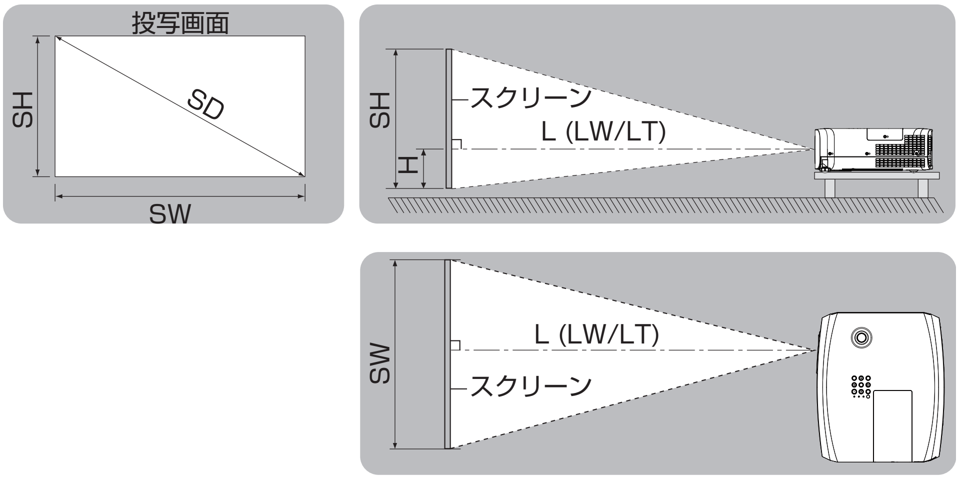
- 必ず、本機専用のプロジェクター用天つり金具をご使用ください。
- 本機の取り付けおよび設置については、天つり金具の施工説明書をご覧ください。

お願い

- 天つり金具の取り付け工事は、性能、安全確保のため、必ずお求めの販売店または工事専門業者に施工を依頼してください。

投写関係

本機の設置は、下図や投写距離を参考にして設置してください。なお、スクリーンサイズ、スクリーン位置に応じて投写画面サイズ、投写画面位置を調整できます。



L（LW/LT）*1	投写距離 (m)
SH	投写画面高さ (m)
SW	投写画面幅 (m)
H	レンズセンターから投写画面下端までの距離 (m)
SD	投写画面サイズ (m)

*1　LW：最短投写距離
　　LT：最長投写距離

お願い

- 設置する前に“ご使用になる前に”（☞ 12 ページ）をお読みください。

投写距離

PT-VZ575NJ の場合

（下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。）

（単位：m）

画面対角サイズ (SD)	アスペクト 4:3 の場合			アスペクト 16:9 の場合			アスペクト 16:10 の場合		
	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)
0.76 (30 型)	0.78	1.27	0.025 ～ 0.228	0.70	1.15	0.002 ～ 0.186	0.68	1.12	0.022 ～ 0.201
1.02 (40 型)	1.05	1.71	0.034 ～ 0.306	0.95	1.55	0.003 ～ 0.250	0.93	1.51	0.030 ～ 0.270
1.27 (50 型)	1.32	2.14	0.042 ～ 0.381	1.19	1.94	0.004 ～ 0.311	1.16	1.89	0.037 ～ 0.337
1.52 (60 型)	1.58	2.57	0.051 ～ 0..456	1.43	2.33	0.005 ～ 0.372	1.39	2.26	0.045 ～ 0.403
1.78 (70 型)	1.86	3.01	0.059 ～ 0.534	1.69	2.73	0.005 ～ 0.436	1.64	2.66	0.052 ～ 0.472
2.03 (80 型)	2.12	3.44	0.068 ～ 0.609	1.93	3.12	0.006 ～ 0.497	1.87	3.03	0.060 ～ 0.538
2.29 (90 型)	2.40	3.88	0.076 ～ 0.687	2.18	3.52	0.007 ～ 0.561	2.12	3.43	0.067 ～ 0.607
2.54 (100 型)	2.67	4.31	0.085 ～ 0.762	2.42	3.91	0.008 ～ 0.622	2.35	3.80	0.075 ～ 0.673
3.05 (120 型)	3.21	5.18	0.102 ～ 0.915	2.91	4.70	0.009 ～ 0.747	2.83	4.57	0.090 ～ 0.808
3.81 (150 型)	4.01	6.48	0.127 ～ 1.143	3.64	5.88	0.012 ～ 0.933	3.54	5.72	0.112 ～ 1.010
5.08 (200 型)	5.36	8.65	0.169 ～ 1.524	4.86	7.85	0.015 ～ 1.245	4.73	7.64	0.150 ～ 1.346
6.35 (250 型)	6.71	10.83	0.212 ～ 1.905	6.09	9.83	0.019 ～ 1.556	5.92	9.56	0.187 ～ 1.683
7.62 (300 型)	8.05	13.00	0.254 ～ 2.286	7.31	11.80	0.023 ～ 1.867	7.11	11.48	0.224 ～ 2.019

PT-VW535NJ の場合

（下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。）

（単位：m）

画面対角サイズ (SD)	アスペクト 4:3 の場合			アスペクト 16:9 の場合			アスペクト 16:10 の場合		
	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)
0.76 (30 型)	0.83	1.37	0.009 ～ 0.228	0.76	1.24	- 0.012～0.186	0.73	1.21	0.008 ～ 0.201
1.02 (40 型)	1.13	1.85	0.012 ～ 0.306	1.02	1.68	- 0.017～0.250	0.99	1.63	0.011 ～ 0.270
1.27 (50 型)	1.41	2.31	0.015 ～ 0.381	1.28	2.09	- 0.021～0.311	1.25	2.04	0.013 ～ 0.337
1.52 (60 型)	1.70	2.77	0.018 ～ 0.456	1.54	2.51	- 0.025～0.372	1.50	2.44	0.016 ～ 0.403
1.78 (70 型)	1.99	3.25	0.021 ～ 0.534	1.81	2.95	- 0.029～0.436	1.76	2.87	0.019 ～ 0.472
2.03 (80 型)	2.28	3.71	0.024 ～ 0.609	2.07	3.37	- 0.033～0.497	2.01	3.27	0.022 ～ 0.538
2.29 (90 型)	2.57	4.19	0.027 ～ 0.687	2.33	3.80	- 0.037～0.561	2.27	3.70	0.024 ～ 0.607
2.54 (100 型)	2.86	4.65	0.030 ～ 0.762	2.59	4.22	- 0.041～0.622	2.52	4.10	0.027 ～ 0.673
3.05 (120 型)	3.44	5.59	0.037 ～ 0.915	3.12	5.07	- 0.050～0.747	3.03	4.93	0.032 ～ 0.808
3.81 (150 型)	4.30	6.99	0.046 ～ 1.143	3.90	6.34	- 0.062～0.933	3.80	6.17	0.040 ～ 1.010
5.08 (200 型)	5.74	9.33	0.061 ～ 1.524	5.21	8.47	- 0.083～1.245	5.07	8.24	0.054 ～ 1.346
6.35 (250 型)	7.19	11.67	0.076 ～ 1.905	6.52	10.59	- 0.104～1.556	6.34	10.30	0.067 ～ 1.683
7.62 (300 型)	8.63	14.01	0.091 ～ 2.286	7.83	12.72	- 0.124～1.867	7.62	12.37	0.081 ～ 2.019

PT-VX605NJ の場合

（下記の表に示す寸法には若干の誤差があります。）

（単位：m）

画面対角サイズ (SD)	アスペクト 4:3 の場合			アスペクト 16:9 の場合		
	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)	最短 (LW)	最長 (LT)	レンズセンターから画像下端までの距離 (H)
0.76 (30 型)	0.69	1.14	0.046 ～ 0.228	0.75	1.24	- 0.012 ～ 0.186
1.02 (40 型)	0.94	1.54	0.061 ～ 0.306	1.02	1.68	- 0.017 ～ 0.250
1.27 (50 型)	1.17	1.92	0.076 ～ 0.381	1.28	2.09	- 0.021 ～ 0.311
1.52 (60 型)	1.41	2.30	0.091 ～ 0.456	1.54	2.51	- 0.025 ～ 0.372
1.78 (70 型)	1.65	2.70	0.107 ～ 0.534	1.81	2.94	- 0.029 ～ 0.436
2.03 (80 型)	1.89	3.08	0.122 ～ 0.609	2.06	3.36	- 0.033 ～ 0.497
2.29 (90 型)	2.14	3.48	0.137 ～ 0.687	2.33	3.80	- 0.037 ～ 0.561
2.54 (100 型)	2.37	3.87	0.152 ～ 0.762	2.59	4.21	- 0.041 ～ 0.622
3.05 (120 型)	2.86	4.65	0.183 ～ 0.915	3.11	5.07	- 0.050 ～ 0.747
3.81 (150 型)	3.58	5.81	0.229 ～ 1.143	3.90	6.33	- 0.062 ～ 0.933
5.08 (200 型)	4.78	7.76	0.305 ～ 1.524	5.21	8.45	- 0.083 ～ 1.245
6.35 (250 型)	5.98	9.70	0.381 ～ 1.905	6.52	10.57	- 0.104 ～ 1.556
7.62 (300 型)	7.18	11.65	0.457 ～ 2.286	7.82	12.70	- 0.124 ～ 1.867

投写距離計算式

本書に記載のない画面サイズでご使用の場合は、投写画面サイズ SD（m）をご確認のうえ、それぞれの計算式で投写距離を求めてください。式の単位はすべて m です。（下記の計算式で求められる値には、若干の誤差があります。）

投写距離を画面サイズ呼称（インチ数値）で計算する場合は、インチ数値を 0.0254 倍したものを投写距離計算式の SD に代入してください。

PT-VZ575NJ の場合

	アスペクト 4:3 の場合	アスペクト 16:9 の場合	アスペクト 16:10 の場合
投写画面サイズ 高さ (SH)	= 0.6 × SD	= 0.490 × SD	= 0.530 × SD
投写画面サイズ 幅 (SW)	= 0.8 × SD	= 0.872 × SD	= 0.848 × SD
最短投写距離 (LW)	= 1.0609 × SD – 0.0294	= 0.9632 × SD – 0.0294	= 0.9371 × SD – 0.0294
最長投写距離 (LT)	= 1.7098 × SD – 0.0319	= 1.5523 × SD – 0.0319	= 1.5103 × SD – 0.0319

PT-VW535NJ の場合

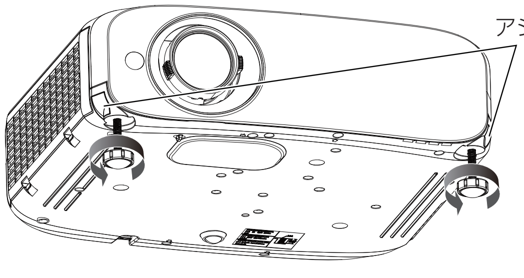
	アスペクト 4:3 の場合	アスペクト 16:9 の場合	アスペクト 16:10 の場合
投写画面サイズ 高さ (SH)	= 0.6 × SD	= 0.490 × SD	= 0.530 × SD
投写画面サイズ 幅 (SW)	= 0.8 × SD	= 0.872 × SD	= 0.848 × SD
最短投写距離 (LW)	= 1.1363 × SD – 0.0290	= 1.0316 × SD – 0.0290	= 1.0037 × SD – 0.0290
最長投写距離 (LT)	= 1.8422 × SD – 0.0292	= 1.6725 × SD – 0.0292	= 1.6273 × SD – 0.0292

PT-VX605NJ の場合

	アスペクト 4:3 の場合	アスペクト 16:9 の場合
投写画面サイズ 高さ (SH)	= 0.6 × SD	= 0.490 × SD
投写画面サイズ 幅 (SW)	= 0.8 × SD	= 0.872 × SD
最短投写距離 (LW)	= 0.9461 × SD – 0.0295	= 1.0307 × SD – 0.0295
最長投写距離 (LT)	= 1.5324 × SD – 0.0272	= 1.6696 × SD – 0.0272

アジャスター脚の調整

本体前方を持ち上げ、アジャスター脚ロックを指で押しながら上下に投写角度を調整し、指を離してアジャスター脚をロックします。その後微調整したい場合は、アジャスター脚を回します。図のようにアジャスター脚を回すと脚を伸ばすことができ、逆に回すと元に戻すことができます。



調整可能量
アジャスター脚：34 mm
最大傾斜角度：8 °

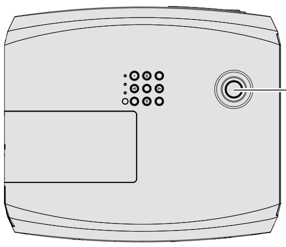
お願い

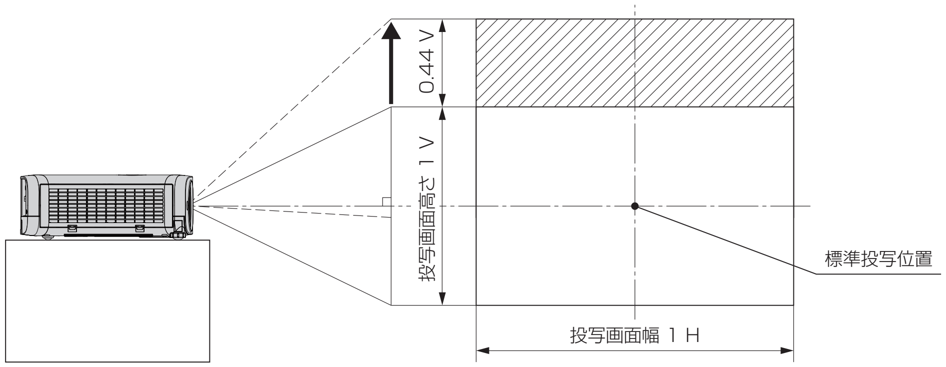
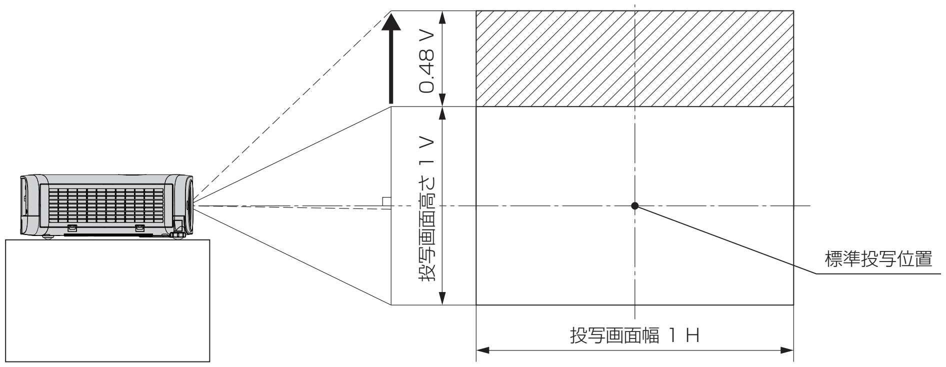
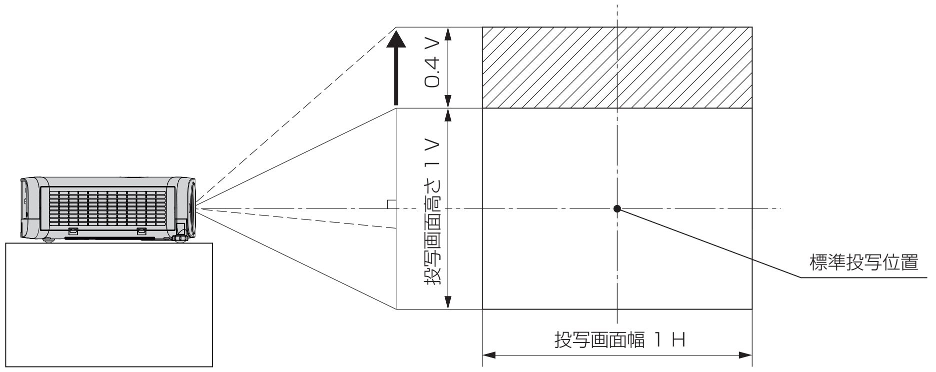
- ランプ点灯中は排気口から熱風が出ています。アジャスター脚を調整するときは、排気口に直接手を触れないでください。

レンズシフト機能によるレンズ位置調整

本機をスクリーン正面に設置できない場合は、レンズシフト機能を使い、投写画面がスクリーン位置に合うように調整してください。
垂直レンズシフトダイヤルを右（左）に回すと、投写画面が上方（下方）に動きます。

■ 天面



<table>
<tr><td>PT-VZ575NJ</td><td></td></tr>
<tr><td>PT-VW535NJ</td><td></td></tr>
<tr><td>PT-VX605NJ</td><td></td></tr>
</table>

お願い

- 投写画面にひずみが発生している場合は、［位置調整］メニューの［スクリーン補正］で補正してください。（☞ 58 ページ）
- 本機を使用する場合は、以下の点に注意してください。
  - レンズシフト調整中は、指を挟まないようレンズ部分には触れないでください。
  - お子様がレンズに触れないように注意してください。

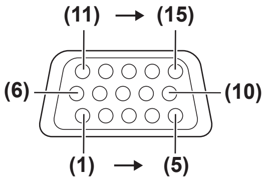
接続する

接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
  - ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
  - 本機を接続する機器と本体を接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
  - ケーブル接続時は、GND が先に接続されるように、接続する機器の接続端子部に真直ぐに挿入してください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画像がふらつくことがあります。この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Y/C 信号、YC_BC_R/YP_BP_R 信号、アナログ RGB 信号（同期信号は TTL レベル）、およびデジタル信号です。
- コンピューターのモデルやご使用のグラフィックスカードによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 本機が投写できる映像信号については“対応信号リスト”（☞ 137 ページ）をご覧ください。

〈COMPUTER 1 IN〉端子のピン配列と信号名

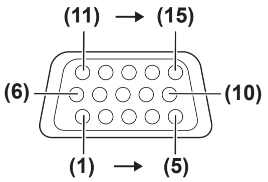
外側から見た図



ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
(1)	$R/P_R/C$	(9)	+5 V
(2)	G/Y/Y	(10)	GND
(3)	B/P_B	(11)	GND
(4)	—	(12)	DDC データ
(5)	GND	(13)	HD/SYNC
(6)	GND	(14)	VD
(7)	GND	(15)	DDC クロック
(8)	GND		

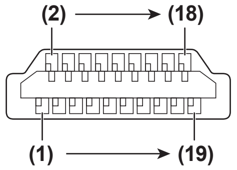
〈COMPUTER 2 IN/1 OUT〉端子のピン配列と信号名

外側から見た図

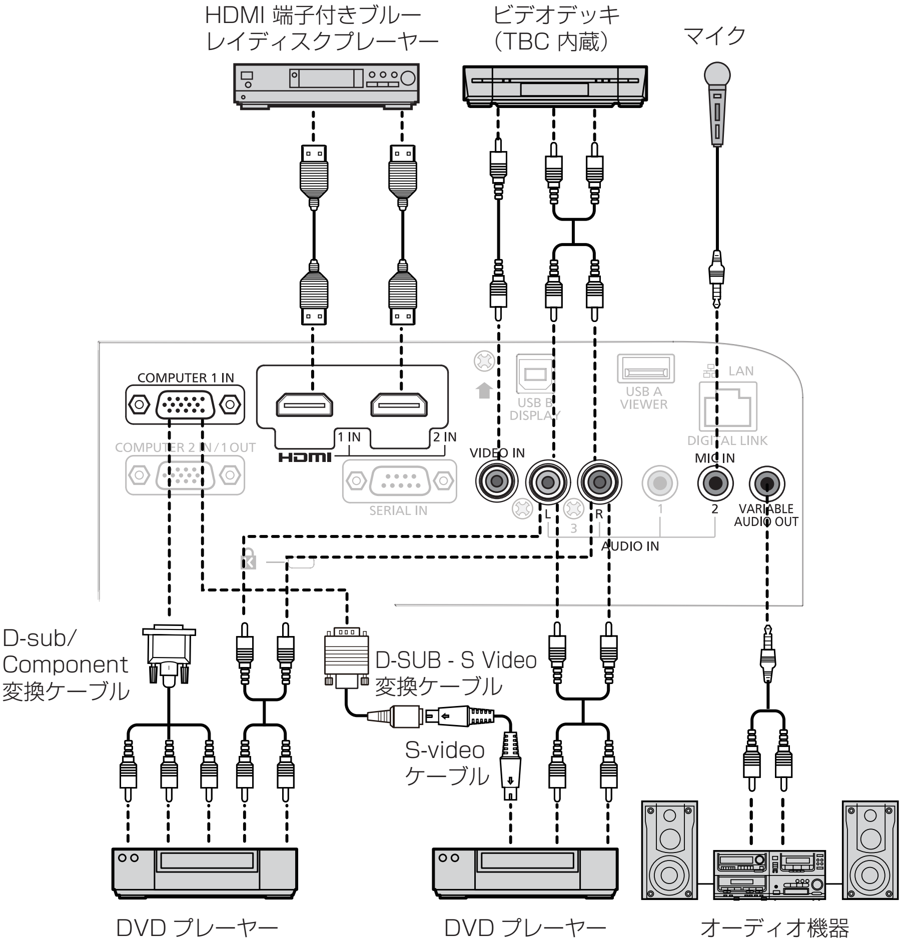


ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
(1)	R/P_R	(9)	+5 V
(2)	G/Y	(10)	GND
(3)	B/P_B	(11)	—
(4)	—	(12)	DDC データ
(5)	GND	(13)	HD/SYNC
(6)	GND	(14)	VD
(7)	GND	(15)	DDC クロック
(8)	GND		

〈HDMI 1 IN〉、〈HDMI 2 IN〉端子のピン配列と信号名

外側から見た図	ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
(2) ～ (18) の偶数ピン  (1) ～ (19) の奇数ピン	(1)	T.M.D.S データ 2+	(11)	T.M.D.S クロックシールド
	(2)	T.M.D.S データ 2 シールド	(12)	T.M.D.S クロック –
	(3)	T.M.D.S データ 2–	(13)	CEC
	(4)	T.M.D.S データ 1+	(14)	—
	(5)	T.M.D.S データ 1 シールド	(15)	SCL
	(6)	T.M.D.S データ 1–	(16)	SDA
	(7)	T.M.D.S データ 0+	(17)	DDC/CEC GND
	(8)	T.M.D.S データ 0 シールド	(18)	+5 V
	(9)	T.M.D.S データ 0–	(19)	ホットプラグ検出
	(10)	T.M.D.S クロック +		

映像機器との接続（例）



お願い

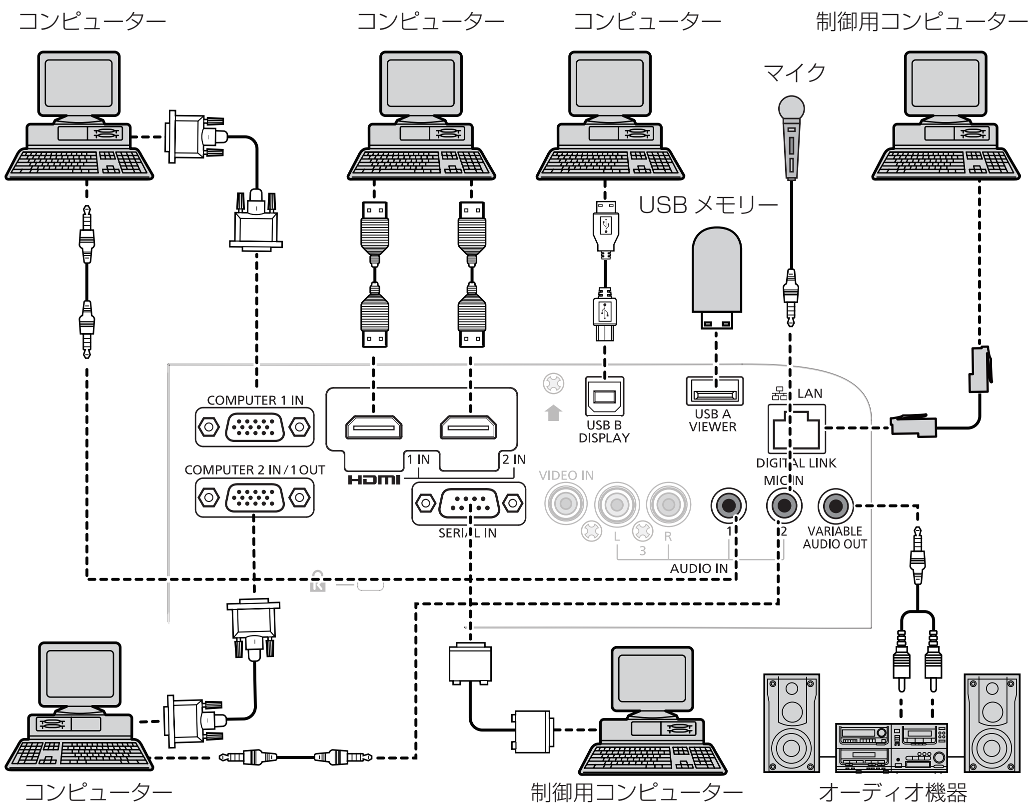
- ビデオデッキを接続するときは、必ず、次のどちらかを使用してください。
  - タイムベースコレクター（TBC）内蔵のビデオデッキを使用する
  - 本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター（TBC）を使用する
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は、本機と外部機器との間にタイムベースコレクター（TBC）を接続してください。

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。

- 本機はビエラリンク（HDMI）に対応していません。
- 〈COMPUTER 1 IN〉端子に Y/C 信号を入力するには､別売品の D-SUB - S Video 変換ケーブル（品番:ET-ADSV）をご利用ください。
- ［音声入力選択］の設定を間違えると、音声が出ないなど、正常に動作しない場合があります。（☞ 79 ページ）
- 〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子にケーブルを接続すると、内蔵スピーカーから音声は出ません。

コンピューターとの接続（例）



お願い

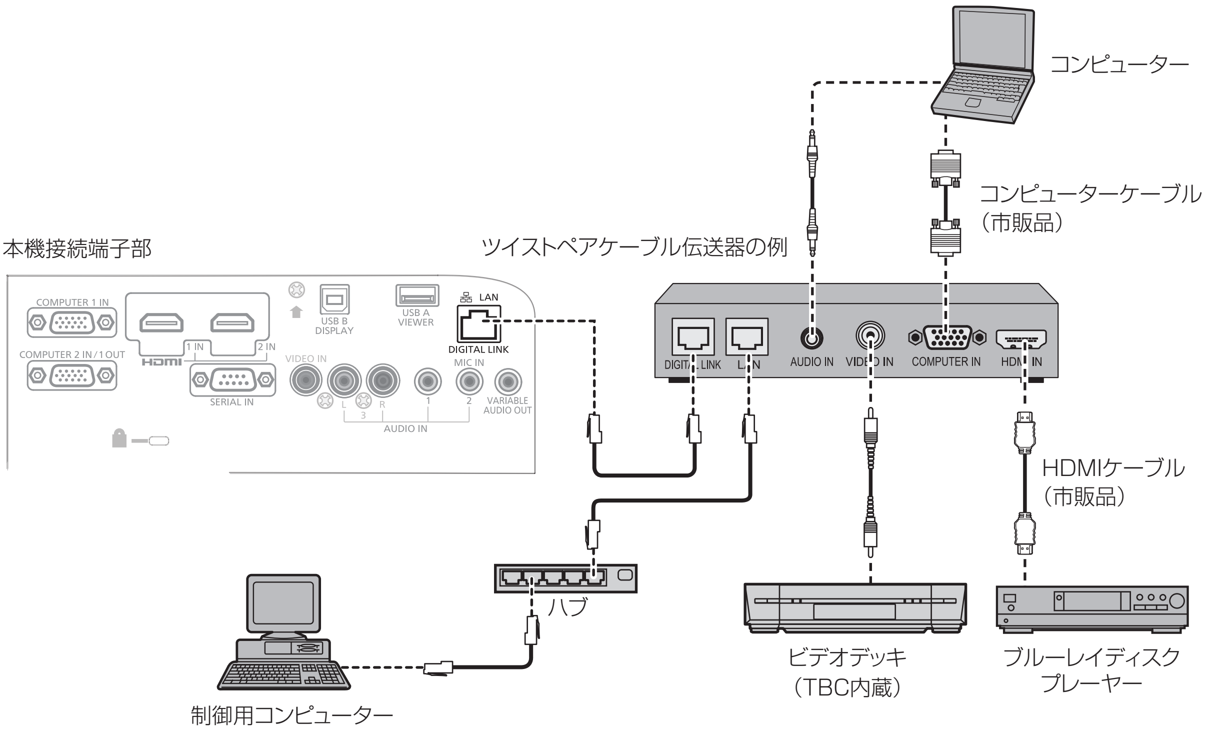
- コンピューターや外部機器に接続する際、各々の機器に付属の電源コードと、シールドされた市販のケーブルを使用してください。

お知らせ

- レジューム機能（ラストメモリー）を持つコンピューターを使用して本機を動作させるには、レジューム機能のリセットが必要になることがあります。
- ［音声入力選択］の設定を間違えると、音声が出ないなど、正常に動作しない場合があります。（☞ 79 ページ）
- 〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子にケーブルを接続すると、内蔵スピーカーから音声は出ません。

ツイストペアケーブル伝送器との接続接続（例）

別売品のデジタルインターフェースボックス（品番:ET-YFB100）などのツイストペアケーブル伝送器は､入力された映像･音声･イーサネット・シリアル制御信号をツイストペアケーブルを使用して伝送するもので、本機はそのデジタル信号を〈DIGITAL LINK/LAN〉端子に入力できます。



お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ず、次のどちらかを使用してください。
  - タイムベースコレクター（TBC）内蔵のビデオデッキを使用する
  - 本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクター（TBC）を使用する
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は、本機と外部機器との間にタイムベースコレクター（TBC）を接続してください。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間のケーブル配線工事は、工事専門業者または販売店に依頼してください。工事の不備によりケーブル伝送特性が得られず、映像や音声が途切れたり乱れたりする原因となります。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間の LAN ケーブルは、次の条件に適合したケーブルをお使いください。
  - CAT5e 以上の規格に適合
  - シールドタイプ（コネクターを含む）
  - ストレート結線
  - 単線
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間のケーブル敷設時には、ケーブルテスターやケーブルアナライザーなどを使用して、ケーブルの特性が CAT5e 以上の特性を満たしていることをご確認ください。
- 途中に中継コネクターを介している場合は、それも含めて測定してください。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間にハブを使用しないでください。
- 他社製ツイストペアケーブル伝送器（受信器）を使用して本機に接続を行うとき、他社製ツイストペアケーブル伝送器と本機の間に別のツイストペアケーブル伝送器（送信器）を経由させないでください。映像や音声が途切れたり乱れたりする原因となります。
- ケーブルを強い力で引っ張らないでください。また、無理に曲げたり折り畳んだりしないようにしてください。
- ノイズの影響を少なくするため、ツイストペアケーブル伝送器と本機間のケーブルはできるだけ巻かずに引き伸ばした状態で、設置・使用してください。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間のケーブルは、他のケーブル、特に電源ケーブルからは離して敷設してください。
- 複数のケーブルを敷設するときは、束ねないで並走する距離をできるだけ短くしてください。
- ケーブル敷設後にメニューの［ネットワーク /USB］→［DIGITAL LINK ステータス］で［信号品質］の数値が、正常な品質を示す緑色で表示されることを確認してください。（☞ 86 ページ）

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。HDMI 規格に適合しないケーブルを使用すると、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しない場合があります。
- 本機はビエラリンク（HDMI）に対応していません。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間の伝送可能距離は最長 100 m です。これを上回ると映像や音声が途切れたり、LAN 通信で誤動作したりすることがあります。最長伝送距離以上でのご使用は、当社サポートの対象外となりますので、ご注意ください。
- 本機で動作確認済みの他社製ツイストペアケーブル伝送器については、弊社 WEB サイト（http://panasonic.biz/projector/）をご覧ください。他社製機器の動作確認は、弊社確認項目について実施したものであり、すべての動作を保証するものではありません。他社製機器に起因する操作や性能上の不具合などについては、各メーカーにお問い合わせください。

第 3 章　基本的な使い方

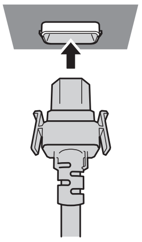
まず使っていただくための操作方法について説明しています。

電源を入れる / 切る

電源コードを接続する

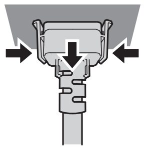
電源コードの抜けを防止するため、付属の電源コードを使用して、本体に根元まで確実に差し込んで固定してください。
電源コードの詳しい取り扱いについては“安全上のご注意”（☞ 2 ページ）をご覧ください。

取り付け方



1)　本体後面の〈AC IN〉端子と電源コードのコネクターの形状を確認し、向きを合わせて左右のつまみがカチッと音がするまで、しっかりと差し込む

取り外し方

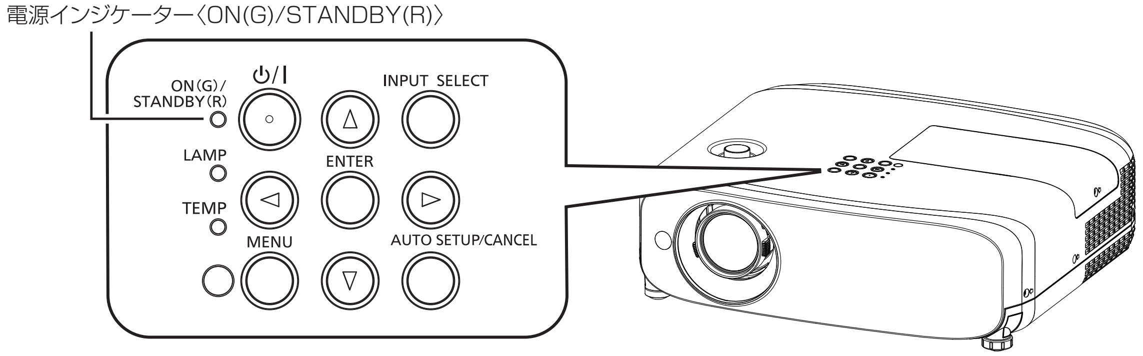


1)　本機がスタンバイ状態になっていることを確認し、コンセントから電源プラグを抜く

2)　本体の〈AC IN〉端子から電源コードのコネクターを、左右のつまみを押しながら抜く

電源インジケーターについて

電源の状態を表示します。電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉の状態をよく確認し、操作してください。



点灯状況		本機の状態
消灯		電源コードが差し込まれていません。
赤色	点灯	電源が切れています（スタンバイ状態です）。メニューの［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］→［スタンバイモード］は［ECO］に設定されています。
	点滅 *1	電源が切れています（スタンバイ状態です）。メニューの［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］→［スタンバイモード］は［ノーマル］に設定されています。
オレンジ色	点灯	本機は内部を冷却中です。 しばらくすると、電源が切れます。（スタンバイ状態になります。）
緑色	点灯	投写状態です。
	点滅 *2	電源が入ったままランプが消灯している状態です。メニューの［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］→［パワーマネージメント］は［待機］に設定されています。
	点滅 *3	ランプ点灯処理中です。しばらくすると、映像が投写されます。

*1　点灯 2.75 秒→消灯 0.25 秒の周期で点滅します。

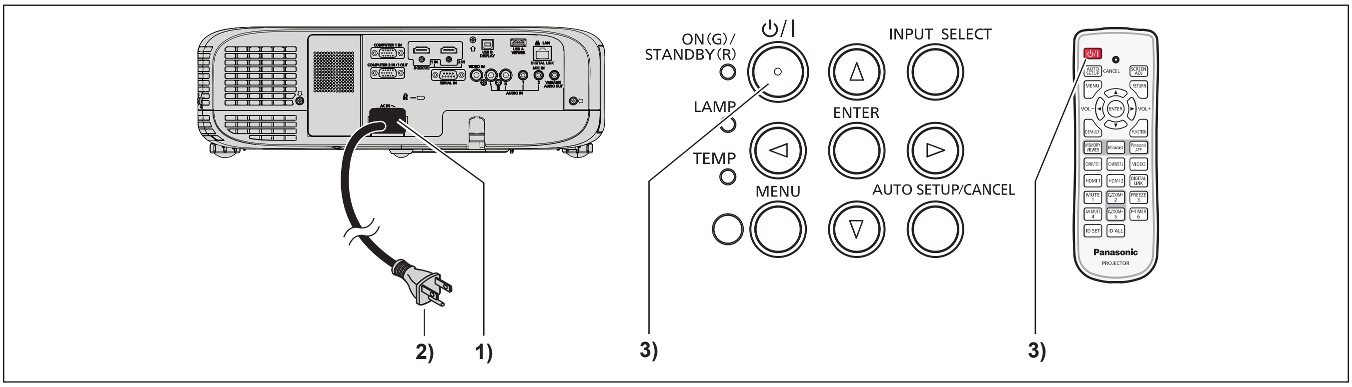
*2　点灯 2.0 秒→消灯 2.0 秒の周期で点滅します。
*3　点灯 0.5 秒→消灯 0.5 秒の周期で点滅します。

お知らせ

- 電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉が赤色で点灯 2.75 秒→消灯 0.25 秒→点灯 0.75 秒→消灯 0.25 秒→点灯 0.75 秒→消灯 0.25 秒の周期で点滅している場合は、販売店にご相談ください。

電源を入れる

電源を入れる前に機器の接続（☞ 32 ～ 33 ページ）を確認し、あらかじめレンズキャップを取り外してください。



1)　本体に電源コードを接続する

2)　電源プラグをコンセントに接続する

- 電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉が点灯または点滅してスタンバイ状態になります。

3)　本体操作部またはリモコンの電源〈⏻/I〉ボタンを押す

- 電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉が緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

お願い

- 投写する際は、必ずレンズキャップを取り外してください。

お知らせ

- メニューの［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］→［スタンバイモード］を［ECO］に設定した場合、［ノーマル］設定時と比べて、電源を入れてから投写を開始するまでの時間が、約 10 秒多くかかることがあります。
- メニューの［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］→［スタンバイモード］を［ノーマル］に設定した場合、電源コードを接続してからネットワーク機能が使用できるようになるまで、約 1 分かかります。

初期設定画面が表示されたら

本機をご購入後はじめて電源を入れたとき、およびメニューの［プロジェクター設定］→［全設定初期化］を実行した場合、投写開始後に初期設定の画面が表示されます。ご使用になる場合や状況に応じて設定してください。
それ以外の場合でも、メニュー操作で設定を変更できます。

初期設定（表示言語）

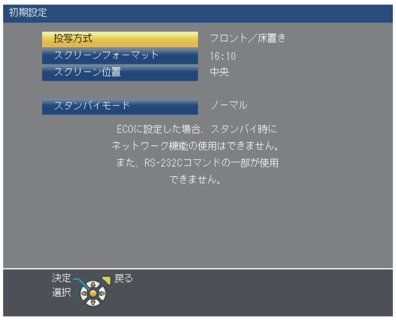
オンスクリーンに表示させる言語を選択してください。
初期設定終了後は、メニューの［表示言語（LANGUAGE）］で言語を変更できます。

1)　▲▼◀▶ ボタンで表示言語を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押し、次の初期設定を行う

初期設定（本体設定）

各項目を設定してください。



1)　▲▼ ボタンで項目を選択する

項目	説明	参照ページ
［投写方式］	設置形態に応じて［投写方式］を設定してください。 初期設定終了後は、メニューの［プロジェクター設定］→［投写方式］で設定を変更できます。	75
［スクリーンフォーマット］	スクリーンのフォーマット（縦横比）を設定してください。 初期設定終了後は、メニューの［表示オプション］→［スクリーン設定］→［スクリーンフォーマット］から設定を変更できます。	69
［スクリーン位置］	映像の表示位置を設定してください。 初期設定終了後は、メニューの［表示オプション］→［スクリーン設定］→［スクリーン位置］から設定を変更できます。	69
［スタンバイモード］	スタンバイ時の動作モードを設定してください。 工場出荷時の設定は、スタンバイ時にネットワーク機能を使用できる［ノーマル］です。 スタンバイ時の消費電力を低く抑えたい場合は、［ECO］に設定してください。 初期設定終了後は、メニューの［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］→［スタンバイモード］で設定を変更できます。	76

2)　◀▶ ボタンで設定を切り換える

3)　〈ENTER〉ボタンを押す

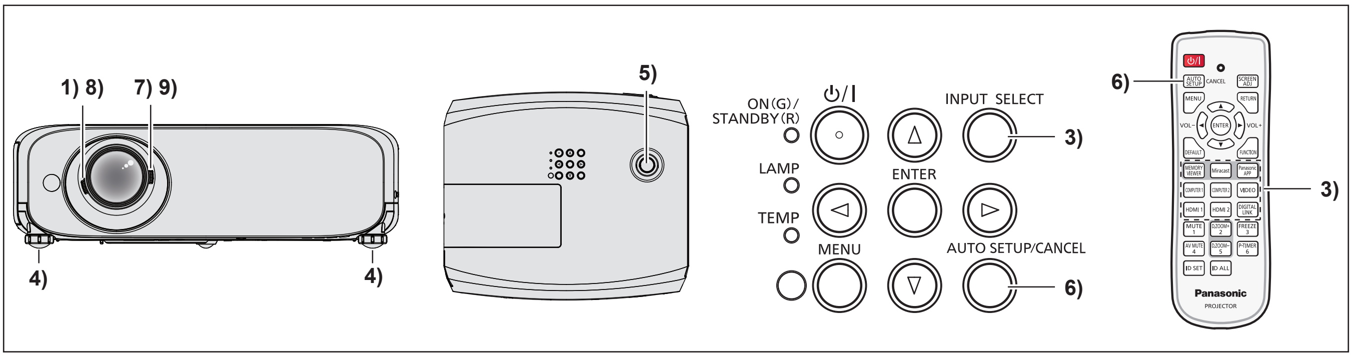
- 設定値を確定し、初期設定を終了します。

お知らせ

- 初期設定（本体設定）の画面表示中に〈RETURN〉ボタンを押すと、初期設定（表示言語）の画面に戻ることができます。

調整・選択をする

フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。



1)　画像のフォーカスをおおまかに合わせる（☞ 40 ページ）

2)　設置形態に応じて、メニューの［プロジェクター設定］→［投写方式］の設定を変更する（☞ 26 ページ）

- メニューの操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 48 ページ）をご覧ください。

3)　本体操作部の〈INPUT SELECT〉ボタンまたはリモコンの入力切換（〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈HDMI 1〉、〈HDMI 2〉、〈VIDEO〉、〈DIGITAL LINK〉）ボタンを押して入力を選択する

- リモコンの〈MEMORY VIEWER〉、〈Miracast〉、〈Panasonic APP〉ボタンでも入力が切り換わります。（☞ 43 ページ）

4)　本体の前後左右の傾きをアジャスター脚で調整する（☞ 29 ページ）

5)　垂直レンズシフトダイヤルで投写位置を調整する

6)　入力信号が RGB 信号の場合は、本体操作部またはリモコンの〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押す

7)　ズームレバーで画像の大きさをスクリーンに合わせる

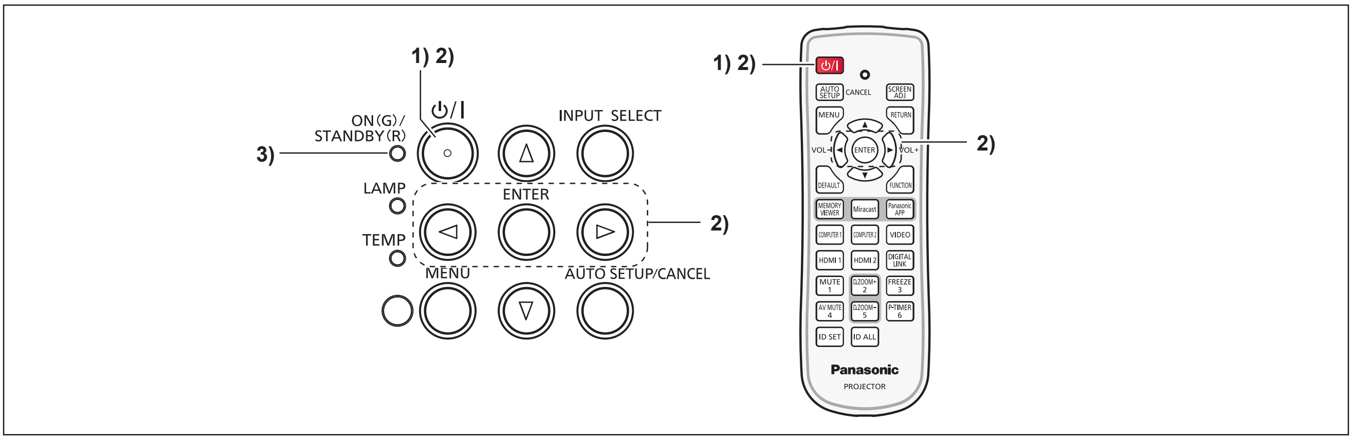
8)　再度、フォーカスレバーでフォーカスを調整する

9)　再度、ズームレバーでズームを調整して画像の大きさをスクリーンに合わせる

お知らせ

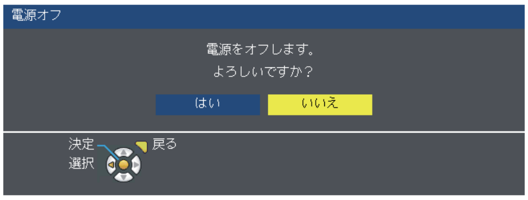
- 本機をご購入後はじめて電源を入れたとき、およびメニューの［プロジェクター設定］→［全設定初期化］を実行した場合、投写開始後に続いて初期設定の画面が表示されます。

電源を切る



1)　本体操作部またはリモコンの電源〈⏻/|〉ボタンを押す

- 次のメッセージが表示されます。



2)　◀▶ ボタンで［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す（または、再度本体操作部またはリモコンの電源〈⏻/|〉ボタンを押す）

- 映像の投写が停止し、電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉がオレンジ色で点灯します。（ファンは回転したままです。）

3)　電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉が赤色に点灯 / 点滅するまで待つ

- 電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉が赤色の点灯 / 点滅に変わりスタンバイ状態になります。

お知らせ

- 電源インジケーター〈ON(G)/STANDBY(R)〉がオレンジ色に点灯している間は、ランプの冷却が行われているため、本機の電源を入れることはできません。再び本機の電源を入れる場合は、〈ON(G)/STANDBY(R)〉インジケーターが赤色の点灯 / 点滅に変わるまでお待ちください。
- 運搬・保管のために梱包を行う場合、各インジケーターが消灯していることを確認してください。

ダイレクトパワーオフ機能

投写中であっても、電源プラグをコンセントから抜いたり、電源ブレーカーで電源を落としたりすることができます。

お願い

- ランプ点灯後短時間（約 1 分間）で、電源プラグをコンセントから抜いたり、電源ブレーカーで電源を落としたりしないでください。次回電源を入れるときにランプが点灯しなかったり、ランプの劣化を早めたりする原因になります。

お知らせ

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、電源ブレーカーで電源を落としたりした場合、すぐに本機の電源を入れ直すことはできません。高温になっているランプを冷ます必要があり、再び電源を入れたときに、ランプが点灯するまでに多少の時間がかかります。

投写する

外部機器の接続（☞ 32 ～ 33 ページ）、電源コードの接続（☞ 36 ページ）を確認し、電源を入れる（☞ 37 ページ）と投写を開始します。投写する映像を選択し、映像の映り具合を調整してください。

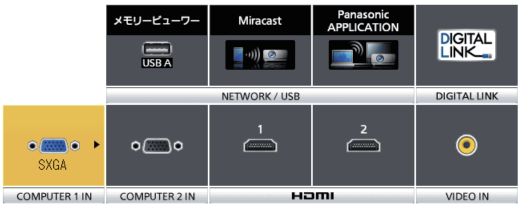
投写する映像を選択する

映像の入力を切り換えます。

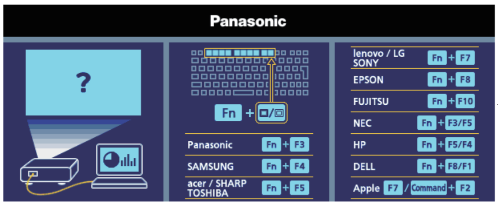
1)　本体操作部の〈INPUT SELECT〉ボタン、またはリモコンの〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈HDMI 1〉、〈HDMI 2〉、〈VIDEO〉、〈DIGITAL LINK〉、〈MEMORY VIEWER〉、〈Miracast〉、〈Panasonic APP〉ボタンを押す

- 選択した端子に入力されている信号の映像が投写されます。
- ［表示オプション］→［オンスクリーン表示］→［入力ガイド］の設定に応じて［詳細表示］/［簡易表示］で入力を確認できます。
- ［詳細表示］の場合は、▲▼◀▶ ボタンで入力を選択することもできます。

［詳細表示］の場合



［簡易表示］の場合



入力が、[COMPUTER 1]、[COMPUTER 2]、[HDMI 1]、[HDMI 2] で無信号の場合に表示されます。お使いのコンピューターの出力設定を確認してください。

お願い

- 外部機器や再生するブルーレイディスク、DVD などによっては、正常に映像が映らない場合があります。メニューの［映像調整］→［RGB/YC_BC_R］または［RGB/YP_BP_R］（☞ 57 ページ）を設定してください。
- 投写するスクリーンと映像の縦横比を確認し、［位置調整］メニュー（☞ 58 ページ）から最適な縦横比に切り換えてください。

映像の映り具合を調整する

本機とスクリーンの位置関係が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像や位置がずれている場合は、ズームとフォーカスを調整してください。

1)　投写角度を調整する

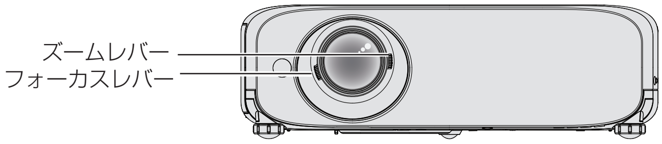
- 本機をスクリーン面と平行に置き、投写画面が長方形になるように水平な場所に設置します。
- 本機がスクリーンより下向きになっている場合は、アジャスター脚を伸ばして投写画面が長方形になるように調整します。
- 詳しくは“アジャスター脚の調整”をご覧ください。（☞ 29 ページ）

2)　レンズシフトを調整する

- 垂直レンズシフトダイヤルで投写位置を調整します。
- 詳しくは“レンズシフト機能によるレンズ位置調整”をご覧ください。（☞ 29 ページ）

3)　ズームとフォーカスを調整する

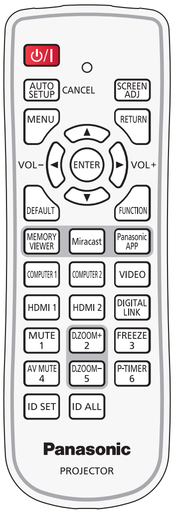
- ズームレバーを回して投写サイズを調整します。
- フォーカスレバーを回してフォーカスを調整します。



お知らせ

- フォーカス調整は、映像を映した状態で 30 分以上経過したのちに行うことをお勧めします。
- フォーカスレバーを回すと投写画面サイズが変わるためズームレバーを回して、再度投写画面サイズを微調整してください。
- 台形ひずみが発生している場合は、「位置調整」メニューの「スクリーン補正」（☞ 58 ページ）を行ってください。

リモコンで操作する



オートセットアップ機能を使う

コンピューター信号のようなドット構成されたアナログ RGB 信号入力時の解像度、クロックフェーズ、映像位置を自動で調整できます。自動調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクター文字などを含む画像を入力することをお勧めします。写真や CG のような中間調を含む画像は適しません。

AUTO SETUP CANCEL ボタン

1) 〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押す

- 本体操作部の〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押しても操作できます。

お知らせ

- 正常終了した場合でもクロックフェーズがずれることがあります。このときは、メニューの［位置調整］→［クロックフェーズ］（☞ 64 ページ）で調整してください。
- コンピューターの機種や入力信号によっては自動調整ができない場合があります。また、画面の端が分からない画像や暗い画像を入力した場合、自動調整ができない場合があります。
- 自動調整中、数秒間画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 自動調整中にリモコンのいずれかのボタンを押すと、自動調整は取り消されます。
- オートセットアップが可能な RGB 信号であっても、動画映像が入力されている状態でオートセットアップ機能を使用した場合、正常に調整できていないことがあります。

スクリーン補正機能

本機を傾けて設置したり、スクリーンが傾いていたり、湾曲している場合に発生するひずみを補正します。

SCREEN ADJ ボタン

**1) 〈SCREEN ADJ〉ボタンを押して［台形補正］個別調整画面を選択する
または、再度〈SCREEN ADJ〉ボタンを押して［コーナー補正］個別調整画面を選択する
または、再度〈SCREEN ADJ〉ボタンを押して［曲面スクリーン補正］個別調整画面を選択する**

- どの個別調整画面でも調整されていないとき、〈SCREEN ADJ〉ボタンで個別調整画面が切り換わります。

2) ▲▼◀▶ ボタンを押して調整する

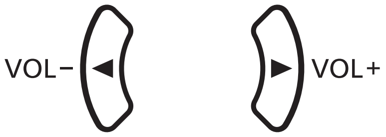
- いずれかの個別調整画面で調整すると、〈SCREEN ADJ〉ボタンを押しても個別調整画面は切り換わりません。

お知らせ

- 詳しくは、メニューの［位置調整］→［スクリーン補正］（☞ 58 ページ）をご覧ください。

音量を調整する

内蔵スピーカーまたは音声出力の音量を調整できます。



ボタン

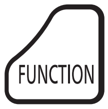
1)〈VOL-〉ボタン /〈VOL+〉ボタンを押す

- 本体操作部の ◀▶ ボタンを押しても操作できます。

〈VOL -〉	音を小さくします。
〈VOL +〉	音を大きくします。

ファンクションボタンを使う

リモコンの〈FUNCTION〉ボタンによく使う操作を割り当てることで、簡単なショートカットボタンとして使用できます。



ボタン

1)〈FUNCTION〉ボタンを押す

〈FUNCTION〉ボタンへ割り当てを設定する場合

1) 本体操作部またはリモコンの〈MENU〉ボタンを押して、割り当てたいメニュー項目（メインメニュー、サブメニュー、または詳細メニュー）を表示させる

- オンスクリーンメニューの操作については “メニュー画面の操作方法”（☞ 48 ページ）をご覧ください。

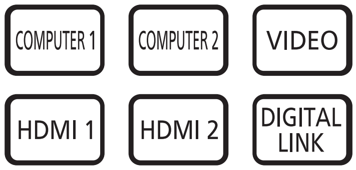
2)〈FUNCTION〉ボタンを 3 秒以上押し続ける

お知らせ

- 設定が完了すると割り当てたメニュー項目（メインメニュー、サブメニュー、または詳細メニュー）が、メニュー下部の操作ガイド部の「割り当て機能」に表示されます。
- 機能の割り当て解除は、メニューの［プロジェクター設定］→［ファンクションボタン］（☞ 78 ページ）で行います。

入力を切り換える

投写する入力を切り換えることができます。



ボタン

1)〈COMPUTER 1〉、〈COMPUTER 2〉、〈VIDEO〉、〈HDMI 1〉、〈HDMI 2〉、〈DIGITAL LINK〉ボタンを押す

- 本体操作部の〈INPUT SELECT〉ボタンを押しても操作できます。

〈COMPUTER 1〉	コンピューター 1 入力に切り換えます。
〈COMPUTER 2〉*1	コンピューター 2 入力に切り換えます。
〈VIDEO〉	ビデオ入力に切り換えます。
〈HDMI 1〉	HDMI 1 入力に切り換えます。
〈HDMI 2〉	HDMI 2 入力に切り換えます。
〈DIGITAL LINK〉	DIGITAL LINK 入力に切り換えます。

*1 ［プロジェクター設定］→［COMPUTER2 入出力選択］（☞ 74 ページ）が［COMPUTER1 OUT］に設定されている場合は、〈COMPUTER 2〉ボタンを押すと、入力は切り換わらず［キー操作無効］画面が表示されます。

お知らせ

- 別売品のデジタルインターフェースボックス（品番：ET-YFB100）を〈DIGITAL LINK/LAN〉端子に接続している場合は、〈DIGITALLINK〉ボタンを押すごとに、ET-YFB100 側の入力が切り換わります。また、RS-232C の操作コマンドでも入力の切り換えができます。
他社製ツイストペアケーブル伝送器の場合は、DIGITAL LINK 入力に切り換えたうえで、ツイストペアケーブル伝送器側の入力切り換えを行ってください。

メモリービューワー機能を使う

プロジェクター本体へ USB メモリーを挿入することで、USB メモリー内に保存された静止画または動画をプロジェクターに投写する機能です。

ボタン

1) 〈MEMORY VIEWER〉ボタンを押す

- 入力が MEMORY VIEWER に切り換わります。

お知らせ

- この機能を利用する場合、〈USB A / VIEWER〉端子に USB メモリーを直接挿入してください。
- ［コネクションロック］（☞ 90 ページ）で [Miracast] または [Panasonic APPLICATION] が選択されているときは、［キー操作無効］画面が表示されます。

Miracast 機能を使う

Miracast 対応端末とプロジェクターを無線 LAN 接続して、端末側の画面をプロジェクターに投写する機能です。

ボタン

1) 〈Miracast〉ボタンを押す

- 入力が Miracast に切り換わります。

お知らせ

- 詳しくは、“Miracast について”（☞ 121 ページ）をご覧ください。
- ［コネクションロック］（☞ 90 ページ）で［メモリービューワー］または [Panasonic APPLICATION] が選択されているときは、［キー操作無効］画面が表示されます。

Panasonic APPLICATION 機能を使う

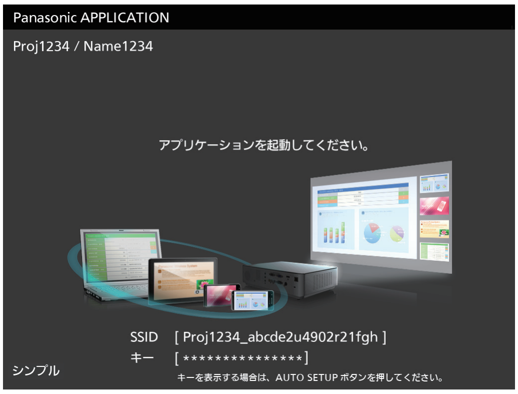
付属 CD-ROM のソフトウェア「ワイヤレスマネージャー ME6.2」を使用し、静止画または動画をプロジェクターに投写する機能です。また、iOS 用アプリケーションや Android 用アプリケーションからも投写することができます。

ボタン

1) 〈Panasonic APP〉ボタンを押す

- 入力が Panasonic APPLICATION に切り換わり、待ち受け画面が表示されます。

Panasonic APPLICATION 待ち受け画面



2) 〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押す

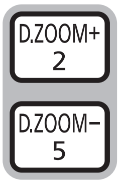
- ［無線 LAN］で［シンプル］が選択されている場合、SSID とキーが表示されます。

お知らせ

- 詳しくは、付属 CD-ROM の「ワイヤレスマネージャー ME6.2」の取扱説明書をご覧ください。
- ［コネクションロック］（☞ 90 ページ）で［メモリービューワー］または [Miracast] が選択されているときは、［キー操作無効］画面が表示されます。

デジタルズーム機能を使う

（静止画系の RGB 信号 / 静止画系の DIGITAL LINK 信号 / 静止画系の HDMI 信号入力時のみ）
入力画面の中心を拡大表示できます。また、拡大部分を移動することができます。



ボタン

1) 〈D.ZOOM −〉ボタン / 〈D.ZOOM +〉ボタンを押す

- 移動画面が表示されます。
- メニュー操作から実行すると、［デジタルズーム］個別調整画面が表示されます。［表示オプション］→［その他の機能］（☞ 73 ページ）をご覧ください。
- 〈RETURN〉ボタンを押すと解除されます。

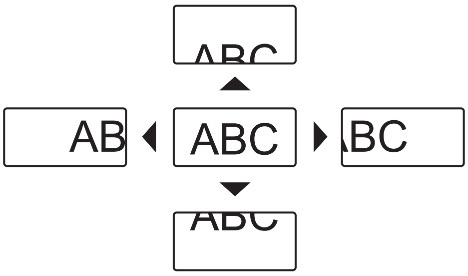
■ デジタルズーム中のボタン操作

操作メニュー	操作	変化内容	調整範囲
	〈D.ZOOM +〉ボタン、または ▶ ボタンを押す	倍率が上がります。	1.0 ～ 3.0
	〈D.ZOOM −〉ボタン、または ◀ ボタンを押す	倍率が下がります。	

■ 移動画面のボタン操作

操作メニュー	操作	変化内容
	▲▼ ボタンを押す	上または下へ表示位置が移動します。
	◀▶ ボタンを押す	左または右へ表示位置が移動します。

- リモコン操作で直接実行した場合は、個別調整画面は表示されず、移動画面の操作メニューが表示されます。このとき、リモコンの〈D.ZOOM −〉ボタン / 〈D.ZOOM +〉ボタンを使用して倍率を調整することができます。



お知らせ

- 倍率は、1.0 倍から 3.0 倍まで 0.1 ごとに調整できます。
- デジタルズーム中に〈MENU〉ボタンを押すと、デジタルズームの調整値が解除されます。
- デジタルズーム中に入力信号の種類が変わると、デジタルズームの調整値が解除されます。
- デジタルズーム中に「静止」はできません。
- 一部の静止画系信号ではデジタルズームは動作しません。

静止機能を使う

外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止し、音声を消すことができます。

ボタン

1) 〈FREEZE〉ボタンを押す

- 映像が静止し、音声が消えます。静止中は、画面左下に［静止］と表示されます。

2) 再度〈FREEZE〉ボタンを押す

- 映像の静止が解除され、音声が出ます。

お知らせ

- 無信号のときは、「キー操作無効」というメッセージが表示されます。
- ［マイク］を［オン］に設定している場合、静止中でもマイクの音声が出ます。

AV ミュート機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像と音声を一時的に消すことができます。

AV MUTE 4 ボタン

1) 〈AV MUTE〉ボタンを押す

- 映像と音声が消えます。

2) 再度〈AV MUTE〉ボタンを押す

- 映像と音声が出ます。

お知らせ

- ［マイク］を［オン］に設定している場合、AV ミュート中でもマイクの音声が出ます。

プレゼンテーションタイマー機能を使う

プレゼンテーションタイマー機能を操作できます。
経過時間、または設定した時間に対する残り時間を確認しながらプレゼンテーションなどを行うことができます。

P-TIMER 6 ボタン

1) 〈P-TIMER〉ボタンを押す

- カウントを開始します。
- 経過時間または残り時間が投写画面の右下に表示されます。

2) 再度〈P-TIMER〉ボタンを押す

- カウントを停止します。

3) もう一度〈P-TIMER〉ボタンを押す

- カウントを再開します。

お知らせ

- 〈P-TIMER〉ボタンを 3 秒以上長押しすると、プレゼンテーションタイマーを終了します。
- プレゼンテーションタイマー機能の設定など詳細については、メニューの［表示オプション］→［プレゼンテーションタイマー］（☞ 71 ページ）をご覧ください。

消音機能を使う

音声出力を一時的に消すことができます。

MUTE 1 ボタン

1) 〈MUTE〉ボタンを押す

- 音声が消えます。

2) 再度〈MUTE〉ボタンを押す

- 音声が出ます。

リモコンの ID ナンバーを設定する

本機を複数台並べて使用する場合、それぞれの本体に個々の ID ナンバーを設定することにより、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。
本体の ID ナンバーを設定したあと、同じ ID ナンバーをリモコンに指定してください。
本機の ID ナンバーは、工場出荷時、［オール］に設定されています。1 台だけでご使用の場合は、リモコンの〈ID ALL〉ボタンを押してください。
また、本体の ID がわからない場合でも、リモコンの〈ID ALL〉ボタンを押せば制御できます。

ID SET　ID ALL ボタン

1)　リモコンの〈ID SET〉ボタンを押す

2)　5 秒以内に、本体側で設定した 1 桁の ID ナンバーを、数字（〈1〉～〈6〉）ボタンを押して設定する

- 〈ID ALL〉ボタンを押した場合は、本体の ID ナンバー設定に関係なく制御できます。

お願い

- リモコンの ID ナンバー指定は、本体がなくても可能なため、リモコンの〈ID SET〉ボタンは不用意に押さないでください。〈ID SET〉ボタンを押した場合は、5 秒以内に数字（〈1〉～〈6〉）ボタンを押さないと〈ID SET〉ボタンを押す以前の ID ナンバーに戻ります。
- リモコンに入力された ID ナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくと消去されます。乾電池を交換した場合は、同じ ID ナンバーを再度設定してください。

お知らせ

- 本体の ID ナンバーは、メニューの［プロジェクター設定］→［プロジェクター ID］で設定してください。（☞ 75 ページ）

第 4 章　調整と設定

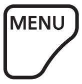
オンスクリーンメニューを使ってできる設定や調整方法について説明しています。

オンスクリーンメニューについて

本機の各種設定や調整は、オンスクリーンメニュー（メニュー画面）を使用します。

メニュー画面の操作方法

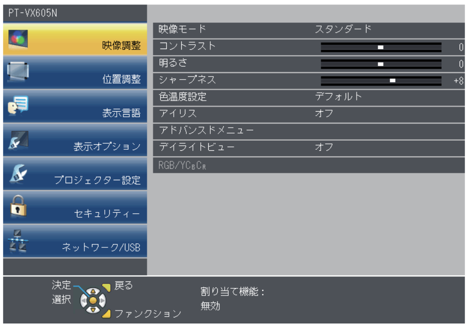
操作の手順



ボタン

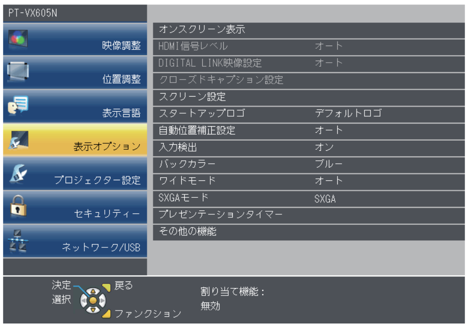
1)　リモコンまたは本体操作部の〈MENU〉ボタンを押す

- ［メインメニュー］画面が表示されます。



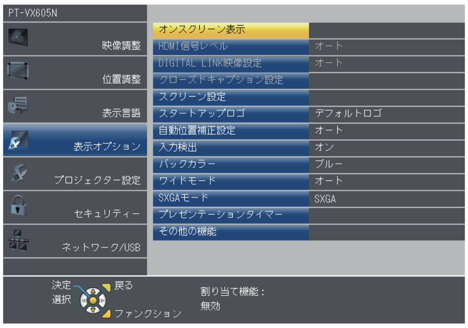
2)　▲▼ ボタンを押してメインメニュー項目を選択する

- 選択中の項目は黄色のカーソルで表示されます。



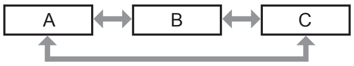
3)　〈ENTER〉ボタンを押す

- 選択したメインメニューのサブメニューが選択可能になります。

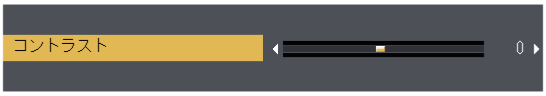


4)　▲▼ ボタンを押してサブメニュー項目を選択し、◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押して設定の切り換えや調整を行う

- 項目によっては ◀▶ ボタンを押すごとに、下図のように順繰りに項目が切り換わります。



- 項目によっては ◀▶ ボタンを押すと、下図のようなバースケールの個別調整画面が表示されます。

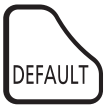


お知らせ

- メニュー画面を表示中に〈RETURN〉ボタンまたは〈MENU〉ボタンを押すと、1 つ上の階層のメニュー画面に戻ります。
- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。[デジタルシネマリアリティー] と [フレームロック] は、入力信号によって表示されない場合があります。
- 信号が入力されていない場合でも、調整できるものがあります。
- 約 5 秒間何も操作せずに放置していると、個別調整画面は自動的に消えます。
- メニューの項目については“メインメニュー”(☞ 49 ページ)や“サブメニュー”(☞ 49 ページ)をご覧ください。

調整値を工場出荷時の状態に戻す

リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、メニュー項目で調整した値が工場出荷時の状態に戻ります。



ボタン

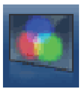
1) リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押す

お知らせ

- すべての設定を一度に工場出荷時の状態には戻せません。
- サブメニュー項目で調整した値を、一度に工場出荷時の状態に戻すには、メニューの [プロジェクター設定] → [全設定初期化](☞ 81 ページ)で行います。
- 〈DEFAULT〉ボタンを押しても、工場出荷時の状態に戻らない項目もあります。それらの項目は個別に操作してください。

メインメニュー

メインメニューには以下の項目があります。
メインメニューを選択すると、サブメニューの選択画面に移ります。

メインメニュー項目		ページ
	[映像調整]	53
	[位置調整]	58
	[表示言語]	66
	[表示オプション]	67
	[プロジェクター設定]	74
	[セキュリティー]	82
	[ネットワーク /USB]	85

サブメニュー

選択したメインメニュー項目のサブメニューが表示され、各項目の設定・調整ができます。

[映像調整]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[映像モード]	[スタンダード]	53
[コントラスト]	[0]	53

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[明るさ]	[0]	53
[色の濃さ] *1	[0]	54
[色あい] *1	[0]	54
[シャープネス]	[8]	54
[色温度設定]	[デフォルト]	54
[アイリス]	[オン]	55
[アドバンスドメニュー]	―	55
[デイライトビュー]	[オート]	55
[デジタルシネマリアリティー] *1	[オン]	56
[ノイズリダクション] *2	[オフ]	56
[TV システム] *2	[オート]	56
[RGB/YC_BC_R] / [RGB/YP_BP_R] *3	[オート]	57

*1　動画系信号のみ
*2　〈VIDEO IN〉端子を選択している場合のみ
*3　〈COMPUTER 1 IN〉/〈 COMPUTER 2 IN/1 OUT〉/〈HDMI 1 IN〉/〈HDMI 2 IN〉/〈DIGITAL LINK/LAN〉端子を選択している場合のみ

お知らせ

- 映像モードによって工場出荷時の値が異なる場合があります。

[位置調整]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[リアルタイム台形補正]	[オン]	58
[スクリーン補正]	―	58, 60
[シフト]	―	63
[ドットクロック] *1	[0]	64
[クロックフェーズ] *1	[0]	64
[オーバースキャン]	―	64
[アスペクト]	―	64
[フレームロック] *1	[オフ]	65

*1　静止画系信号のみ

[表示言語]

項目の詳細（☞ 60 ページ）

[表示オプション]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[オンスクリーン表示]	―	67
[HDMI 信号レベル]	[オート]	68
[DIGITAL LINK 信号レベル]	[オート]	68
[クローズドキャプション設定]	―	68
[スクリーン設定]	―	69
[スタートアップロゴ]	[デフォルトロゴ]	70
[自動位置補正設定]	[オート]	70
[入力検出]	[オン]	70
[バックカラー]	[ブルー]	71
[ワイドモード]	―	71
[SXGA モード]	―	71
[プレゼンテーションタイマー]	―	71
[その他の機能]	―	73

[プロジェクター設定]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[ステータス]	―	74
[COMPUTER1 入力設定]	[RGB/YP_BP_R]	74
[COMPUTER2 入出力選択]	[COMPUTER2 IN]	74
[プロジェクター ID]	[オール]	75
[起動方法]	[ラストメモリー]	75
[投写方式]	[フロント / 床置き]	75
[ランプパワー]	[ノーマル]	75
[ECO マネージメント]	―	76
[RS-232C]	[プロジェクター]	77
[エミュレート]	[デフォルト]	77
[ファンクションボタン]	―	78
[音声設定]	―	78
[テストパターン]	―	80
[フィルターカウンター]	―	80
[全設定初期化]	―	81

[セキュリティー]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[パスワード設定]	[オフ]	82
[パスワード変更]	―	82
[テキスト設定]	[オフ]	83
[テキスト変更]	―	83
[メニューロック]	[オフ]	83
[メニューロックパスワード]	―	83
[操作設定]	―	83

[ネットワーク /USB]

サブメニュー項目	工場出荷時	ページ
[DIGITAL LINK モード]	[オート]	85
[DIGITAL LINK 設定]	―	85
[DIGITAL LINK ステータス]	―	86
[有線 LAN]	―	86
[無線 LAN]	[シンプル]	87
[コネクションロック]	[オフ]	90
[プロジェクター名変更]	―	90
[パスワード設定]	[オフ]	91
[パスワード変更]	―	91
[ネットワークコントロール]	[オン]	91
[AMX D. D.]	[オフ]	91
[Crestron Connected(TM)]	[オフ]	92
[EXTRON XTP]	[オフ]	92
[DIGITAL INTERFACE BOX]	―	92
[ライブモード割り込み]	[オフ]	92
[マルチライブ] *1	―	92
[メモリービューワー]	―	93
[VueMagic(TM)]	[オフ]	93
[ステータス]	―	94
[初期化]	―	94

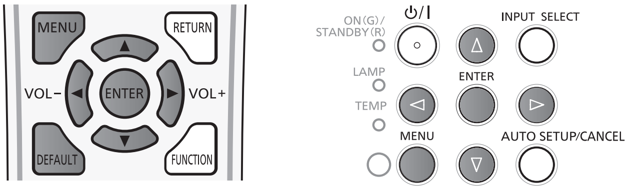
*1　[Panasonic APPRICATION] 入力時のみ

お知らせ

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。
  調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。
- サブメニューの項目、および工場出荷時の値は、選択中の入力端子により表示が異なります。

［映像調整］について

メニュー画面で、メインメニューから［映像調整］を選択し、サブメニューから項目を選択してください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 48 ページ）をご覧ください。
- 項目を選んだら ▲▼◀▶ ボタンで調整してください。



［映像モード］

ご覧になる映像や視聴環境に合わせて最適な映像モードに設定します。

1)　▲▼ ボタンで［映像モード］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［映像モード］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで項目を切り換える
- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［スタンダード］	動画系全般に適した画像になります。
［ダイナミック］	明るい場所で使用する場合に適した画像になります。
［黒板］	黒板への投写に適した画像になります。
［ホワイトボード］	ホワイトボードへの投写に適した画像になります。
［シネマ］*1	映画コンテンツに適した画像になります。
［ナチュラル］*2	暗い部屋で使用する場合に適した画像になります。

*1　動画系信号入力時
*2　静止画系信号入力時

［コントラスト］

色の明暗度を調整します。

1)　▲▼ ボタンで［コントラスト］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［コントラスト］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります。	−32 ～ +32
◀ ボタンを押す	画面が暗く映像が薄くなります。	

お願い

- ［明るさ］と［コントラスト］を調整する必要がある場合には、［明るさ］を先に調整してください。

［明るさ］

画面の暗い部分（黒色）を調整します。

1)　▲▼ ボタンで［明るさ］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［明るさ］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が明るくなります。	–32 ～ +32
◀ ボタンを押す	画面の暗い部分（黒色）が暗くなります。	

［色の濃さ］

（動画系信号を入力している場合のみ）
色の濃さを調整します。

1) ▲▼ ボタンで［色の濃さ］を選択する

2) ◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［色の濃さ］個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	色が濃くなります。	–32 ～ +32
◀ ボタンを押す	色が薄くなります。	

［色あい］

（動画系信号を入力している場合、および〈VIDEO IN〉端子を選択している場合で NTSC/NTSC4.43 信号のみ）
肌色の部分を調整します。

1) ▲▼ ボタンで［色あい］を選択する

2) ◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［色あい］個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかります。	–32 ～ +32
◀ ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかります。	

［シャープネス］

映像のシャープ感を調整します。

1) ▲▼ ボタンで［シャープネス］を選択する

2) ◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［シャープネス］個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	輪郭がシャープになります。	0 ～ +15
◀ ボタンを押す	輪郭がやわらかくなります。	

お知らせ

- ［デイライトビュー］が［オート］または［オン］に設定されている場合、［シャープネス］は調整できません。

［色温度設定］

映像の白色部分が青みがかったり、赤みがかったりする場合に切り換えます。

1) ▲▼ ボタンで［色温度設定］を選択する

2) ◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す
- ［色温度設定］個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ ボタンで項目を切り換える
- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［デフォルト］	工場出荷時の状態です。
［高］	青みがかった映像になります。映像の白色部分が赤みがかっている場合に選択します。
［低］	赤みがかった映像になります。映像の白色部分が青みがかっている場合に選択します。

［アイリス］

映像に合わせて自動的に絞り補正を行うことで、最適なコントラストの画像にします。

1)　▲▼ ボタンで［アイリス］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［アイリス］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンでレベルを調整する

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	絞りが補正なしの状態です。
［オン］	絞りを補正します。

［アドバンスドメニュー］

映像をさらに詳細に調整します。

1)　▲▼ ボタンで［アドバンスドメニュー］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［アドバンスドメニュー］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［コントラスト R］～［ブライト B］を選択する

4)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- 各調整項目の個別調整画面が表示されます。

5)　◀▶ ボタンでレベルを調整する

調整項目	操作	変化内容	調整範囲
［コントラスト R］	▶ ボタンを押す	明るい部分の赤色が強くなります。	–32 ～ +32
	◀ ボタンを押す	明るい部分の赤色が弱くなります。	
［コントラスト G］	▶ ボタンを押す	明るい部分の緑色が強くなります。	–32 ～ +32
	◀ ボタンを押す	明るい部分の緑色が弱くなります。	
［コントラスト B］	▶ ボタンを押す	明るい部分の青色が強くなります。	–32 ～ +32
	◀ ボタンを押す	明るい部分の青色が弱くなります。	
［ブライト R］	▶ ボタンを押す	暗い部分の赤色が強くなります。	–32 ～ +32
	◀ ボタンを押す	暗い部分の赤色が弱くなります	
［ブライト G］	▶ ボタンを押す	暗い部分の緑色が強くなります。	–32 ～ +32
	◀ ボタンを押す	暗い部分の緑色が弱くなります	
［ブライト B］	▶ ボタンを押す	暗い部分の青色が強くなります。	–32 ～ +32
	◀ ボタンを押す	暗い部分の青色が弱くなります	

［デイライトビュー］

明るい照明下で映像を投写する場合でも、映像を最適な鮮やかさに補正します。

1)　▲▼ ボタンで［デイライトビュー］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［デイライトビュー］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オート］	［デイライトビュー］の自動補正を有効にします。照度センサーが部屋の明るさを検知し、自動的に補正をかけます。
［オン］	［デイライトビュー］を有効にします。
［オフ］	［デイライトビュー］を無効にします。

お知らせ

- ［プロジェクター設定］の［投写方式］で、［リア／床置き］または［リア／天つり］を選択した場合、［オート］の設定はできません。
- プロジェクターの上面にものなどを置くと、［オート］モードが正常に動作しない場合があります。

［デジタルシネマリアリティー］

（動画系信号を入力している場合のみ）
2-2、2-3 プルダウン時に適用する機能で、垂直解像度を向上させることができます。
一部の信号入力時のみ有効となります。
525i（480i）、625i（576i）、1125（1080）/60i、1125（1080）/50i、Y/C 信号、ビデオ信号

1)　▲▼ ボタンで［デジタルシネマリアリティー］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［デジタルシネマリアリティー］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	［デジタルシネマリアリティー］を無効にします。
［オン］	［デジタルシネマリアリティー］を有効にします。

［ノイズリダクション］

（〈VIDEO IN〉/〈COMPUTER 1 IN〉*1 端子を選択している場合のみ）
入力された映像が劣化して、映像信号ノイズが発生している場合に切り換えます。

1)　▲▼ ボタンで［ノイズリダクション］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［ノイズリダクション］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	［ノイズリダクション］を無効にします。
［オン］	［ノイズリダクション］を有効にします。

*1：[COMPUTER1 入力設定] が [Y/C] を選択時（☞ 74 ページ）

お願い

- ノイズが少ない入力信号に対して設定すると、映像本来のイメージと違って見える場合があります。その際は［オフ］に設定してください。

［TV システム］

（〈VIDEO IN〉/〈COMPUTER 1 IN〉*1 端子を選択している場合のみ）
本機は入力信号を自動判別しますが、不安定な信号を入力する場合は、手動でカラー方式を設定します。入力信号に合ったカラー方式を設定してください。
*1：[COMPUTER1 入力設定］が [Y/C] を選択時（☞ 74 ページ）

1)　▲▼ ボタンで［TV システム］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［TV システム］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンでシステム方式を選択する

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。
- ［オート］、［NTSC］、［NTSC4.43］、［PAL］、［PAL-M］、［PAL-N］、［PAL60］、［SECAM］から選択します。
- 通常は［オート］に設定してください。（［オート］は、[NTSC]、[NTSC4.43]、[PAL]、[PAL-M]、[PAL-N]、[PAL60]、[SECAM] の中から自動的に判別します。）
- それぞれのテレビの信号方式に設定を切り換えてください。日本国内では NTSC の信号方式が使われています。

[RGB/YC_BC_R] / [RGB/YP_BP_R]

通常は［オート］に設定してください。［オート］で正常に映らない場合は、入力する信号に合わせて［RGB］または［YC_BC_R］、［YP_BP_R］に設定してください。

1) ▲▼ ボタンで［RGB/YC_BC_R］または［RGB/YP_BP_R］を選択する

2) ◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［RGB/YC_BC_R］または［RGB/YP_BP_R］個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ ボタンで設定を切り換える

- ボタンを押すごとに、下図のように切り換わります。

［オート］	同期信号により、［RGB］/［YC_BC_R］/［YP_BP_R］信号を自動的に選択します。
［RGB］	RGB 信号を入力時に設定してください。
［YP_BP_R］	YP_BP_R 信号を入力時に設定してください。
［YC_BC_R］	YC_BC_R 信号を入力時に設定してください。

〈COMPUTER 1 IN〉/〈COMPUTER 2 IN/1 OUT〉*1 端子を選択している場合

- **525i（480i）、625i（576i）、525p（480p）、625p（576p）入力時**
  ［オート］、［RGB］、［YC_BC_R］から選択します。
- **上記以外の動画系信号入力時**
  ［オート］、［RGB］、［YP_BP_R］から選択します。

*1 〈COMPUTER 2 IN〉端子として使用する場合

〈HDMI 1 IN〉/〈HDMI 2 IN〉/〈DIGITAL LINK〉端子を選択している場合

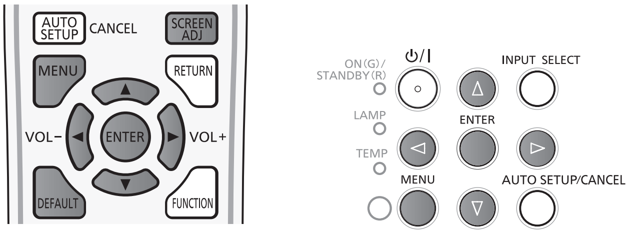
- **525p（480p）、625p（576p）入力時**
  ［オート］、［RGB］、［YC_BC_R］から選択します。
- **上記以外の動画系信号入力時**
  ［オート］、［RGB］、［YP_BP_R］から選択します。

お知らせ

- 信号の詳細については“対応信号リスト”（☞ 137 ページ）をご覧ください。
- 接続する一部の機器では、正常に動作しない場合があります。

［位置調整］について

メニュー画面で、メインメニューから［位置調整］を選択し、サブメニューから項目を選択してください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 48 ページ）をご覧ください。
- 項目を選んだら ▲▼◀▶ ボタンで調整してください。



［リアルタイム台形補正］

本機を傾けて設置している場合に発生する台形ひずみを自動で補正します。

1) ▲▼ ボタンで［リアルタイム台形補正］を選択する

2) ◀▶ または〈ENTER〉ボタンを押す
- ［リアルタイム台形補正］個別調整画面が表示されます。

3) ◀▶ ボタンで調整する項目を選択する

［オン］	リアルタイム台形補正機能を自動実行します。
［オフ］	リアルタイム台形補正機能を自動実行しません。

お知らせ

- 設置の状況によっては、台形ひずみを完全に補正できない場合があります。その場合は手動で補正してください。
- ［プロジェクター設定］メニューの［投写方式］が［フロント / 天つり］または［リア / 天つり］の場合は、［リアルタイム台形補正］は無効になります。

［スクリーン補正］（PT-VW535NJ, PT-VX605NJ の場合）

スクリーンが傾いていたり、湾曲している場合に発生するひずみを補正します。

1) ▲▼ ボタンで［スクリーン補正］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- ［スクリーン補正］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで調整する項目を選択する

［台形補正］	投写映像が台形にゆがむ場合に調整します。
［コーナー補正］	投写映像の四隅がゆがむ場合に調整します。
［曲面スクリーン補正］	投写映像が曲面にゆがむ場合に調整します。

［台形補正］を設定する場合

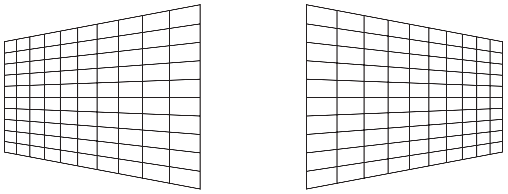
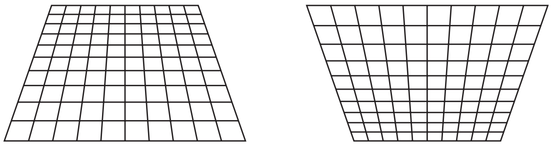
1) ▲▼ ボタンで［スクリーン補正］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- ［スクリーン補正］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで［台形補正］を選択する

4) 〈ENTER〉ボタンを押す
- ［台形補正］個別調整画面が表示されます。

5) ▲▼◀▶ ボタンで調整する

調整項目	操作	変化内容	
［水平］	◀ ボタンを押す	左側が小さくなります。	
	▶ ボタンを押す	右側が小さくなります。	
［垂直］	▲ ボタンを押す	上側が小さくなります。	
	▼ ボタンを押す	下側が小さくなります。	

［コーナー補正］を設定する場合

1)　▲▼ ボタンで［スクリーン補正］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［スクリーン補正］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［コーナー補正］を選択する

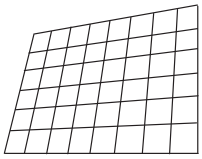
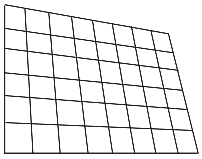
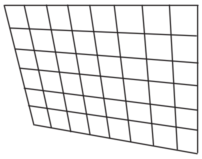
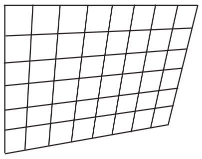
4)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［コーナー補正］画面が表示されます。

5)　▲▼ ボタンで調整する項目を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- ［コーナー補正］個別調整画面が表示されます。

6)　▲▼◀▶ ボタンで調整する

［コーナー補正］			
［左上］ 	［右上］ 	［左下］ 	［右下］ 

［曲面スクリーン補正］を設定する場合

1)　▲▼ ボタンで［スクリーン補正］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［スクリーン補正］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［曲面スクリーン補正］を選択する

4)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［曲面スクリーン補正］個別調整画面が表示されます。

5)　▲▼ ボタンで調整する項目を選択する

［台形補正］	投写映像が台形にゆがむ場合に調整します。
［弧］	投写映像が弧状にゆがむ場合に調整します。

6)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［台形補正］または［弧］個別調整画面が表示されます。

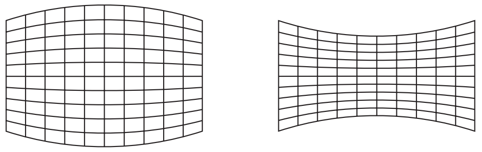
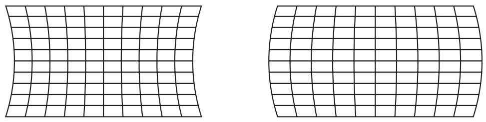
7)　▲▼◀▶ ボタンで調整する

［台形補正］を調整する場合

1)　▲▼◀▶ ボタンで調整する

詳しくは、メニューの［スクリーン補正］→［台形補正］（☞ 58 ページ）をご覧ください。

［弧］を調整する場合

調整項目	操作	変化内容	
［水平］	◀ ボタンを押す	上下の横線がふくらみます。	
	▶ ボタンを押す	上下の横線がへこみます。	
［垂直］	▲ ボタンを押す	左右の縦線がへこみます。	
	▼ ボタンを押す	左右の縦線がふくらみます。	

お知らせ

- ［台形補正］と［コーナー補正］と［曲面スクリーン補正］はいずれかの設定のみ有効です。［台形補正］または［コーナー補正］または［曲面スクリーン補正］を調整後に、他の調整を行う と、元の調整値はリセットされます。
- ［台形補正］または［コーナー補正］または［曲面スクリーン補正］の画面表示中にリモコンの〈SCREEN ADJ〉ボタンを押すと、次の調整画面に切り換わります。
- ［コーナー補正］個別調整画面を表示中に〈ENTER〉ボタンを押すことで、次のコーナーの個別調整画面を表示させることもできます。
- ［台形補正］の各種調整では、縦方向の傾きに対して± 35° まで、横方向の傾きに対して± 35° まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- ［台形補正］で各種調整をすると、画面サイズも変化します。
- 補正量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。

［スクリーン補正］（PT-VZ575NJ の場合）

スクリーンが傾いていたり、湾曲している場合に発生するひずみを補正します。

1)　▲▼ ボタンで［スクリーン補正］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［スクリーン補正］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで調整する項目を選択する

［台形補正］	投写映像が台形にゆがむ場合に調整します。
［コーナー補正］	投写映像の四隅がゆがむ場合に調整します。
［曲面スクリーン補正］	投写映像が曲面にゆがむ場合に調整します。

［台形補正］を設定する場合

1)　▲▼ ボタンで［スクリーン補正］を選択する

2)　◀▶ または〈ENTER〉ボタンを押す

- ［スクリーン補正］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［台形補正］を選択する

4)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［台形補正］個別調整画面が表示されます。

5)　▲▼ ボタンで調整する項目を選択する

［レンズスローレシオ］	ご使用になるレンズのスローレシオを設定してください。
［台形補正］	投写映像が台形にゆがむ場合に調整します。
［バランス］	垂直方向、水平方向のレンズシフト量に応じて設定してください。

［レンズスローレシオ］を調整する場合

1)　▲▼ ボタンで［スクリーン補正］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す
- ［スクリーン補正］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［台形補正］を選択する

4)　〈ENTER〉ボタンを押す
- ［台形補正］画面が表示されます。

5)　▲▼ ボタンで［レンズスローレシオ］を選択する

6)　〈ENTER〉ボタンを押す
- ［レンズスローレシオ］個別調整画面が表示されます。

7)　◀▶ ボタンで調整する
- 調整値は、［0.9］～［2.3］まで変化します。

［台形補正］を調整する場合

1)　▲▼ ボタンで［スクリーン補正］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す
- ［スクリーン補正］画面が表示されます。

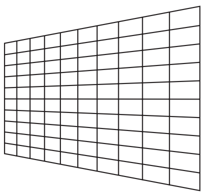
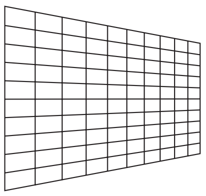
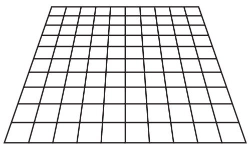
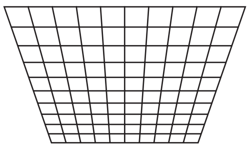
3)　▲▼ ボタンで［台形補正］を選択する

4)　〈ENTER〉ボタンを押す
- ［台形補正］画面が表示されます。

5)　▲▼ ボタンで［台形補正］を選択する

6)　〈ENTER〉ボタンを押す
- ［台形補正］個別調整画面が表示されます。

7)　▲▼◀▶ ボタンで調整する

<table>
<tr><th>調整項目</th><th>操作</th><th colspan="2">変化内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">［水平］</td><td>◀ ボタンを押す</td><td>左側が小さくなります。</td><td rowspan="2"> </td></tr>
<tr><td>▶ ボタンを押す</td><td>右側が小さくなります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［垂直］</td><td>▲ ボタンを押す</td><td>上側が小さくなります。</td><td rowspan="2"> </td></tr>
<tr><td>▼ ボタンを押す</td><td>下側が小さくなります。</td></tr>
</table>

［バランス］を調整する場合

1)　▲▼ ボタンで［スクリーン補正］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- [スクリーン補正] 画面が表示されます。

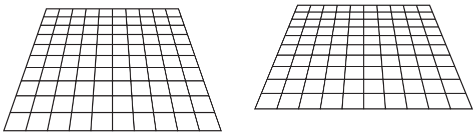
3) ▲▼ ボタンで [台形補正] を選択する

4) 〈ENTER〉ボタンを押す
- [台形補正] 画面が表示されます。

5) ▲▼ ボタンで [バランス] を選択する

6) 〈ENTER〉ボタンを押す
- [バランス] 個別調整画面が表示されます。

7) ▲▼ ボタンで調整する

変化内容	
垂直方向のレンズシフト量に応じて設定してください。	

[コーナー補正] を設定する場合

1) ▲▼ ボタンで [スクリーン補正] を選択する

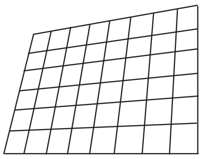
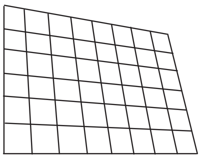
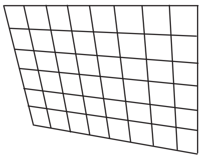
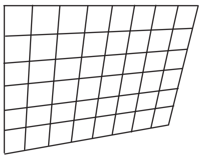
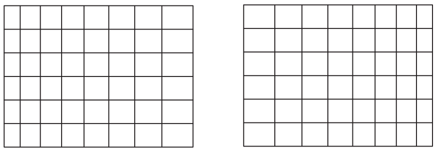
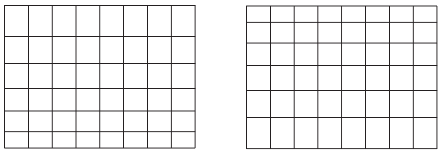
2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- [スクリーン補正] 画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで [コーナー補正] を選択する

4) 〈ENTER〉ボタンを押す
- [コーナー補正] 画面が表示されます。

5) ▲▼ ボタンで調整する項目を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す
- [コーナー補正] 個別調整画面が表示されます。

6) ▲▼◀▶ ボタンで調整する

[コーナー補正]			
[左上] 	[右上] 	[左下] 	[右下] 
[リニアリティー] 水平方向 		[リニアリティー] 垂直方向 	

[曲面スクリーン補正] を設定する場合

1) ▲▼ ボタンで [スクリーン補正] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す
- [スクリーン補正] 画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで [曲面スクリーン補正] を選択する

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［曲面スクリーン補正］画面が表示されます。

5) ▲▼ ボタンで調整する項目を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- ［曲面スクリーン補正］個別調整画面が表示されます。

6) ▲▼ ボタンで調整する項目を選択する

［レンズスローレシオ］*1	ご使用のレンズのスローレシオを設定してください。
［台形補正］*2	投写映像が台形にゆがむ場合に調整します。
［弧］*3	投写映像が弧状にゆがむ場合に調整します。
［バランス］*4	垂直方向、水平方向のレンズシフト量に応じて設定してください。
［アスペクト維持］	アスペクト比を維持したまま補正する場合は、［オン］を選択します。

*1　調整値は、［0.9］～［2.3］まで変化します。
　　詳しくは、メニューの［台形補正］→［レンズスローレシオ］（☞ 61 ページ）をご覧ください。
*2　詳しくは、メニューの［台形補正］→［台形補正］（☞ 61 ページ）をご覧ください。
*3　詳しくは、メニューの［曲面スクリーン補正］→［弧］（☞ 60 ページ）をご覧ください。
*4　詳しくは、メニューの［台形補正］→［バランス］（☞ 61 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- ［台形補正］と［コーナー補正］と［曲面スクリーン補正］はいずれかの設定のみ有効です。［台形補正］または［コーナー補正］または［曲面スクリーン補正］を調整後に、他の調整を行う と、元の調整値はリセットされます。
- ［台形補正］または［コーナー補正］または［曲面スクリーン補正］の画面表示中にリモコンの〈SCREEN ADJ〉ボタンを押すと、次の調整画面に切り換わります。
- ［コーナー補正］個別調整画面を表示中に〈ENTER〉ボタンを押すことで、次のコーナーの個別調整画面を表示させることもできます。
- ［台形補正］の各種調整では、縦方向の傾きに対して± 25°まで、横方向の傾きに対して± 30°まで補正できます。ただし、補正量が多くなればなるほど画質が劣化し、フォーカスが合いにくくなります。できるだけ補正量が少なくなるように設置してください。
- ［台形補正］で各種調整をすると、画面サイズも変化します。
- 補正量によっては、画面サイズの縦横比がずれる場合があります。

［シフト］

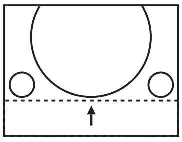
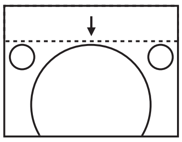
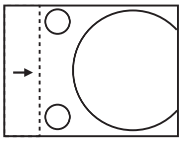
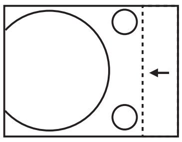
（コンピューター（RGB）信号入力、YC_BC_R/YP_BP_R 信号入力時のみ）
本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合は、上下左右に映像位置を移動します。

1) ▲▼ ボタンで［シフト］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［シフト］画面が表示されます。

3) ▲▼◀▶ ボタンで位置を調整する

調整方向	操作	変化内容	
垂直位置（上下）調整	▲ ボタンを押す	映像位置が上へ移動します。	
	▼ ボタンを押す	映像位置が下へ移動します。	
水平位置（左右）調整	▶ ボタンを押す	映像位置が右へ移動します。	
	◀ ボタンを押す	映像位置が左へ移動します。	

お知らせ

- ［シフト］調整の際、入力信号によっては有効調整範囲を超え、画像位置が変化しない範囲が存在します。有効調整範囲内でお使いください。

［ドットクロック］

（コンピューター（RGB）信号入力時のみ）
縦縞模様を投写したときに発生するノイズを軽減する際に調整します。
縞模様を投写したときに、周期的な縞模様（ノイズ）が発生することがあります。この場合にもっともノイズが少なくなるように調整してください。

1)　▲▼ ボタンで［ドットクロック］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［ドットクロック］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで調整する

- 調整値は、[-32] ～ [+32] です。

お願い

- ［クロックフェーズ］より先に調整してください。

［クロックフェーズ］

（コンピューター（RGB）信号入力、YC_BC_R/YP_BP_R 信号入力時のみ）
画像のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

1)　▲▼ ボタンで［クロックフェーズ］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［クロックフェーズ］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで調整する

- 調整値は、[-16] ～ [+16] です。ノイズが少なくなるように調整してください。

お知らせ

- 信号によっては調整できない場合があります。
- 入力しているコンピューターの出力が不安定であると最適値がない場合があります。
- ドットクロック周波数が 162 MHz 以上の信号を投写する場合は、［クロックフェーズ］の調整をしてもノイズがなくならない場合があります。
- デジタル信号入力時は［クロックフェーズ］の調整ができません。

［オーバースキャン］

投写映像の周辺で文字や映像が欠ける場合に調整します。

1)　▲▼ ボタンで［オーバースキャン］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［オーバースキャン］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで調整する

- 調整値は、[0] ～ [+3] です。

お知らせ

- 静止画系信号、静止画系 HDMI 信号、DIGITAL LINK 信号、［ネットワーク /USB］には対応していません。

［アスペクト］

映像の縦横比（アスペクト比）を切り換えます。
［スクリーン設定］で選択したスクリーン範囲でアスペクトを切り換えます。［スクリーン設定］を先に設定してください。（☞ 69 ページ）

1)　▲▼ ボタンで［アスペクト］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［アスペクト］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［ノーマル］	入力信号のアスペクト比のまま表示します。
［オート］*1	入力信号にアスペクト比の識別信号が含まれている場合、自動的に最適なアスペクト設定に切り換えて表示します。
［ワイド］	標準信号入力時 *2 は、アスペクト比を 16：9 に変換して表示します。ワイド信号入力時 *3 は、入力アスペクト比のまま表示します。
［H フィット］	スクリーン範囲の幅をすべて使って表示します。［スクリーンフォーマット］で選択されたスクリーンのアスペクトよりも縦長のアスペクト比を持つ信号は、画像の上下が切れて表示されます。
［V フィット］	ワイド信号入力時、アスペクト比のまま、垂直方向のパネル画素の高さをすべて使って表示します。スクリーンのアスペクトよりも横長のアスペクト比を持つ信号は、画像の左右が切れて表示されます。
［フル］	パネル画素（スクリーン）全体に映像を表示します。入力信号をパネル（スクリーン）のアスペクト比に変換して表示します。
［リアル］	入力信号の解像度のまま表示します。

*1　ビデオ信号（NTSC）入力、480i（YC_BC_R）信号入力時のみ
*2　標準信号入力時とは、アスペクト比 4：3、5：4 の信号入力時です。
*3　ワイド信号入力時とは、アスペクト比 16：10、16：9、15：9 の信号入力時です。

お知らせ

- ［オート］で画面サイズが正常に切り換わらない場合は、入力信号に合わせて［ノーマル］または［ワイド］に設定してください。
- 入力信号によっては、選択できないサイズモードがあります。
- 入力信号と異なるアスペクト比を選択すると、オリジナルの映像と見え方に差が出ます。この点に注意して、アスペクト比を選択してください。
- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店やホテルなどの場所で、本機を使用して画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。本機のアスペクト調整、ズーム機能などの機能を利用するときはご注意ください。
- ワイド画面ではない従来（通常）の 4：3 の映像をワイド画面で投写すると、周辺画像が一部見えなくなることや、変形して見えることがあります。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、4：3 の映像でご覧ください。

［フレームロック］

(静止画系信号入力時のみ)
一部のコンピューター信号で設定可能になります。動画再生時に映像が乱れる場合に設定してください。

1)　▲▼ ボタンで［フレームロック］を選択する

2)　◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押す

- ［フレームロック］個別調整画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

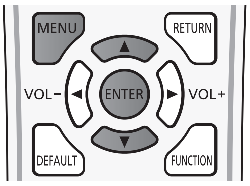
- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

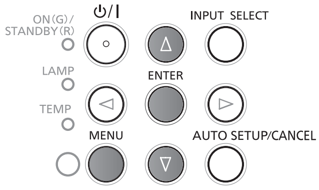
［オフ］	［フレームロック］を無効にします。
［オン］	［フレームロック］を有効にします。

［表示言語］について

メニュー画面で、メインメニューから［表示言語（LANGUAGE)］を選択し、サブメニューを表示させます。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 48 ページ）をご覧ください。

- ▲▼ ボタンで選択し、〈ENTER〉ボタンで言語の設定をしてください。





表示言語を切り換える

オンスクリーン表示の言語を切り換えます。

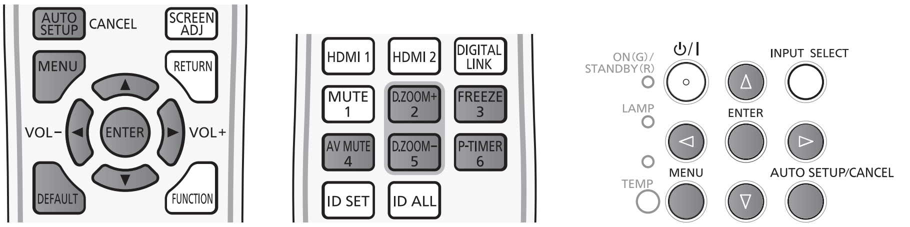
- 切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
- 英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ノルウェー語、デンマーク語、ポーランド語、チェコ語、ルーマニア語、ハンガリー語、ロシア語、トルコ語、アラビア語、カザフ語、ベトナム語、中国語、韓国語、日本語、タイ語への切り換えができます。

お知らせ

- 工場出荷時、および［プロジェクター設定］の［全設定初期化］（☞ 81 ページ）を実行した場合、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。

［表示オプション］について

メニュー画面で、メインメニューから［表示オプション］を選択し、サブメニューから項目を選択してください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 48 ページ）をご覧ください。
- 項目を選んだら ▲▼◀▶ ボタンで調整してください。



［オンスクリーン表示］

オンスクリーンの表示設定やメインメニューの位置を変更します。

［入力ガイド］を設定する場合

入力切替時の入力ガイドを表示するかしないかを設定します。

1)　▲▼ ボタンで［オンスクリーン表示］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す
- ［オンスクリーン表示］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［入力ガイド］を選択する

4)　◀▶ ボタンで項目を切り換える
- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［詳細表示］	入力端子をグラフィック表示し、入力端子名・信号名を表示します。
［オフ］	入力ガイドを表示しません。
［簡易表示］	入力端子名・信号名を表示します。

［OSD ポジション］を設定する場合

メニュー画面（OSD）の位置を設定します。

1)　▲▼ ボタンで［オンスクリーン表示］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す
- ［オンスクリーン表示］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［OSD ポジション］を選択する

4)　◀▶ ボタンで項目を切り換える
- ボタンを押すごとに、［中央］→［左上］→［右上］→［左下］→［右下］→［中央］→・・・に切り換わります。

［OSD サイズ］を設定する場合

(PT-VZ575NJ のみ)
メニュー画面（OSD）のサイズを設定します。

1)　▲▼ ボタンで［オンスクリーン表示］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す
- ［オンスクリーン表示］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［OSD サイズ］を選択する

4)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

［ノーマル］	通常はこちらを選択してください。

［倍角］	［ノーマル］の倍角サイズ（縦幅 / 横幅が 2 倍）で表示します。

［警告メッセージ］を設定する場合

警告メッセージの表示 / 非表示を設定します。

1)　▲▼ ボタンで［オンスクリーン表示］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［オンスクリーン表示］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［警告メッセージ］を選択する

4)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	警告メッセージを表示しません。
［オン］	警告メッセージを表示します。

［HDMI 信号レベル］

本機の〈HDMI 1 IN〉/〈HDMI 2 IN〉端子を使用して外部機器と接続しているときに、正常な映像が映らない場合に設定を切り換えます。

1)　▲▼ ボタンで［HDMI 信号レベル］を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オート］	信号レベルを自動的に設定します。
［64-940］	外部機器（ブルーレイディスクプレーヤーなど）の HDMI 端子出力を〈HDMI 1 IN〉/〈HDMI 2 IN〉端子に接続している場合などに選択します。
［0-1023］	外部機器（コンピューターなど）の DVI-D 端子出力を、変換ケーブルなどを使用して〈HDMI 1 IN〉/〈HDMI 2 IN〉端子に接続している場合などに選択します。 コンピューターなどの HDMI 端子出力を〈HDMI 1 IN〉/〈HDMI 2 IN〉端子に接続している場合も同様です。

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 信号レベルの表示は、入力が 30 bit 時の表示としています。

［DIGITAL LINK 信号レベル］

本機の〈DIGITAL LINK/LAN〉端子を使用して外部機器と接続しているときに、正常な映像が映らない場合に設定を切り換えます。

1)　▲▼ ボタンで［DIGITAL LINK 信号振幅］を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オート］	信号レベルを自動的に設定します。
［64-940］	外部機器（ブルーレイディスクプレーヤーなど）の HDMI 端子出力を、ツイストペアケーブル伝送器を経由して〈DIGITAL LINK/LAN〉端子に入力している場合などに選択します。
［0-1023］	外部機器（コンピューターなど）の DVI-D 端子出力や HDMI 端子出力を、ツイストペアケーブル伝送器を経由して〈DIGITAL LINK/LAN〉端子に入力している場合などに選択します。

お知らせ

- 最適な設定は、接続する外部機器の出力設定によって異なります。外部機器の出力については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- 信号レベルの表示は、入力が 30 bit 時の表示としています。

［クローズドキャプション設定］（NTSC、480i YC_BC_R 信号入力時のみ）

クローズドキャプションを設定します。

クローズドキャプションの表示を選択する場合

1)　▲▼ ボタンで［クローズドキャプション設定］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［クローズドキャプション設定］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで［クローズドキャプション］を選択する

4) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	クローズドキャプションを表示しません。
［オン］	クローズドキャプションを表示します。

- ［オン］を選択した場合は、手順 5) に進みます。

5) 確認のメッセージが表示されるので、［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

クローズドキャプションのモードを設定する場合

1) ▲▼ ボタンで［クローズドキャプション設定］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［クローズドキャプション設定］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで［モード］を選択する

4) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［CC1］	CC1 のデータを表示します。
［CC2］	CC2 のデータを表示します。
［CC3］	CC3 のデータを表示します。
［CC4］	CC4 のデータを表示します。

お知らせ

- クローズドキャプションは、主に北米で使用されている映像信号の文字情報を表示する機能です。接続する機器や再生するソフトによってはキャプションが表示できません。
- NTSC、480i YC_BC_R 信号が入力されている場合にのみ［クローズドキャプション設定］を選択できます。
- ［クローズドキャプション］を［オン］に設定すると、接続するクローズドキャプション対応の外部機器や使用するコンテンツによっては、映像の明るさが変化する場合があります。
- 選択したモードのクローズドキャプション信号が入力された場合、メニューの［セキュリティー］→［テキスト設定］（☞ 83 ページ）を［オン］に設定していてもセキュリティーメッセージは表示されません。
- メニュー画面表示中は、クローズドキャプションは表示されません。

［スクリーン設定］

スクリーンサイズを設定します。
投写映像のアスペクト変更の際に、設定したスクリーンに合わせて最適な映像位置に補正します。ご使用のスクリーンに合わせて設定してください。

1) ▲▼ ボタンで［スクリーン設定］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［スクリーン設定］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで［スクリーンフォーマット］を選択する

4) ◀▶ ボタンで［スクリーンフォーマット］の項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

■　PT-VZ575NJ の場合

［スクリーンフォーマット］	説明	［スクリーン位置］選択時の調整
［16：10］	アスペクト比 16：10 で投写します。	垂直位置を調整できません。
［16：9］	アスペクト比 16：9 で投写します。	垂直位置を調整できます。
［4：3］	アスペクト比 4：3 で投写します。	水平位置を調整できます。

■　PT-VW535NJ の場合

［スクリーンフォーマット］	説明	［スクリーン位置］選択時の調整
［16：10］	アスペクト比 16：10 で投写します。	垂直位置を調整できません。
［16：9］	アスペクト比 16：9 で投写します。	垂直位置を調整できます。

■　PT-VX605NJ の場合

［スクリーンフォーマット］	説明	［スクリーン位置］選択時の調整
［4：3］	アスペクト比 4：3 で投写します。	垂直位置を調整できません。
［16：9］	アスペクト比 16：9 で投写します。	垂直位置を調整できます。

5) ▲▼ ボタンで［スクリーン位置］を選択する

- PT-VZ575NJ と PT-VW535NJ の場合、［スクリーンフォーマット］を［16：10］に設定した場合、［スクリーン位置］は選択・調整できません。
- PT-VX605NJ の場合、［スクリーンフォーマット］を［4：3］に設定した場合、［スクリーン位置］は選択・調整できません。

6) ◀▶ ボタンで［スクリーン位置］を調整する

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

■　［スクリーンフォーマット］を［16：9］に設定した場合

［中央］	アスペクト比 16：9 で映像を中央に表示します。
［高］	アスペクト比 16：9 で映像を上側に寄せて表示します。
［低］	アスペクト比 16：9 で映像を下側に寄せて表示します。

■　［スクリーンフォーマット］を［4：3］に設定した場合（PT-VZ575NJ のみ）

［中央］	アスペクト比 4：3 で映像を中央に表示します。
［左］	アスペクト比 4：3 で映像を左側に寄せて表示します。
［右］	アスペクト比 4：3 で映像を右側に寄せて表示します。

［スタートアップロゴ］

電源を入れたときのロゴ表示を設定します。

1) ▲▼ ボタンで［スタートアップロゴ］を選択する

2) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［デフォルトロゴ］	Panasonic ロゴを表示します。
［ユーザーロゴ］	ユーザーが登録した画像を表示します。
［オフ］	スタートアップロゴ表示を無効にします。

お知らせ

- スタートアップロゴは、約 30 秒で消えます。
- ［ユーザーロゴ］の画像作成・登録には、付属の CD-ROM に収録されている「ロゴ転送ソフトウェア」を使用します。
- ［ユーザーロゴ］の画像が登録されていない場合、［ユーザーロゴ］に設定されていても、スタートアップロゴは表示されません。

［自動位置補正設定］

オートセットアップの自動実行を設定します。

会議などで未登録の信号を頻繁に入力する場合、その都度本体操作部またはリモコンの〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押さなくても画面表示位置や信号レベルを自動で調整できます。

1) ▲▼ ボタンで［自動位置補正設定］を選択する

2) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オート］	信号切換時に自動的にオートセットアップを行います。
［ボタン］	〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンが押されたときにオートセットアップを行います。

［入力検出］

電源を入れたとき、信号が入力されている端子を自動的に検出して切り換える機能を設定します。

1) ▲▼ ボタンで［入力検出］を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オン］	入力検出を有効にします。
［オフ］	入力検出を無効にします。

お知らせ

- ［オン］に設定し、選択している入力が無信号のときに本体操作部またはリモコンの〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押した場合、信号が入力されている端子を自動的に検出して切り換えます。

［バックカラー］

信号が入力されていないときの投写画面の表示を設定します。

1)　▲▼ ボタンで［バックカラー］を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［ブルー］	投写画面全体に青色を表示します。
［ブラック］	投写画面全体に黒色を表示します。
［デフォルトロゴ］	投写画面に Panasonic ロゴを表示します。
［ユーザーロゴ］	投写画面にユーザーが登録した画像を表示します。

お知らせ

- ［ユーザーロゴ］の画像作成・登録には、付属の CD-ROM に収録されている「ロゴ転送ソフトウェア」を使用します。
- ［ユーザーロゴ］の画像が登録されていない場合、［ユーザーロゴ］に設定時、投写画面は黒色表示されます。

［ワイドモード］

入力している信号に対して正しく表示されない場合に設定します。

1)　▲▼ ボタンで［ワイドモード］を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オート］	信号を自動判別して表示します。通常はこのモードに設定してください。
［オン］	ワイド信号を入力する場合に設定してください。
［オフ］	4：3 の信号を入力する場合に設定してください。

［SXGA モード］

SXGA 入力時に、映像全体が表示されていない場合に設定します。

1)　▲▼ ボタンで［SXGA モード］を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オート］	信号を自動判別して表示します。通常はこのモードに設定してください。
［SXGA］	SXGA 入力時に映像全体が表示されない場合、この項目を［SXGA］または［SXGA+］に手動で設定してください。
［SXGA+］	

［プレゼンテーションタイマー］

プレゼンテーションタイマー機能の設定と操作をします。

モードを設定する場合

1)　▲▼ ボタンで［プレゼンテーションタイマー］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［プレゼンテーションタイマー］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［モード］を選択する

4)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［カウントアップ］	カウントを開始したときからの経過時間を表示します。
［カウントダウン］	［タイマー］で設定した時間に対する残り時間を表示します。

カウントダウンタイマーを設定する場合

1)　▲▼ ボタンで［プレゼンテーションタイマー］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［プレゼンテーションタイマー］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［タイマー］を選択する

4)　◀▶ ボタンで時間を設定する

- 1 分から 180 分の間で 1 分刻みで設定できます。
- 工場出荷時の値は 10 分です。

お知らせ

- ［タイマー］は、［モード］を［カウントダウン］に設定している場合に有効になります。

プレゼンテーションタイマーを使用する場合

1)　▲▼ ボタンで［プレゼンテーションタイマー］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［プレゼンテーションタイマー］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで項目を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

［開始］	カウントを開始します。
［ストップ］	カウントを停止します。
［再スタート］	カウントを再開します。
［リセット］	カウントがリセットされます。

- ［開始］または［再スタート］を選択した場合、投写画面の右下に、経過時間または残り時間が表示されます。
- ［ストップ］を選択した場合、投写画面の右下に、停止した時の経過時間または残り時間が表示されます。
- ［リセット］を選択した場合、手順 4) に進みます。

4)　〈MENU〉ボタンを 3 回押してメニュー画面を消す

- プレゼンテーションタイマーが終了します。

お知らせ

- プレゼンテーションタイマーの操作は、リモコンの〈P-TIMER〉ボタンでも操作できます。（☞ 45 ページ）
- 経過時間または残り時間を表示中、メニューの［セキュリティー］→［テキスト設定］（☞ 83 ページ）で設定したセキュリティーメッセージは表示されません。
- メニュー画面表示中は、経過時間または残り時間は表示されません。
- ［モード］を［カウントアップ］に設定している場合、スタート時間は“000:00”になります。
- ［モード］を［カウントダウン］に設定している場合、スタート時間は［タイマー］で設定した値になります。
- タイマーゲージは、［カウントアップ］のときは時計回り、［カウントダウン］のときは反時計回りに回転します。

プレゼンテーションタイマーを終了する場合

1)　▲▼ ボタンで［プレゼンテーションタイマー］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［プレゼンテーションタイマー］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［終了］を選択する

4)　〈ENTER〉ボタンを押す

［その他の機能］

リモコンのボタン操作の代わりにメニュー操作からでも実行することができます。

1)　▲▼ ボタンで［その他の機能］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［その他の機能］画面が表示されます。

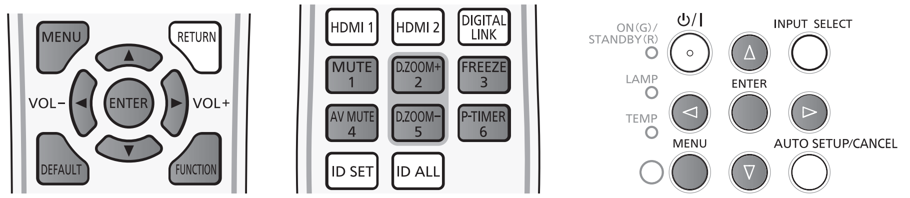
3)　▲▼ ボタンで項目を選択する

［自動位置補正］	詳しくは“オートセットアップ機能を使う”（☞ 41 ページ）をご覧ください。
［静止］	外部機器の再生に関係なく、一時的に投写映像を静止させ、音声を消すことができます。 リモコンの〈RETURN〉ボタンまたは〈FREEZE〉ボタンで解除されます。
［AV ミュート］	一定時間本機を使用しない場合に、映像と音声を消すことができます。 リモコンの〈RETURN〉ボタンまたは〈AV MUTE〉ボタンで解除されます。
［デジタルズーム］	詳しくは“デジタルズーム機能を使う”（☞ 44 ページ）をご覧ください。

4)　〈ENTER〉ボタンを押す

［プロジェクター設定］について

メニュー画面で、メインメニューから［プロジェクター設定］を選択し、サブメニューから項目を選択してください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 48 ページ）をご覧ください。
- 項目を選んだら ▲▼◀▶ ボタンで調整してください。



［ステータス］

本機の状態を表示します。

1)　▲▼ ボタンで［ステータス］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［ステータス］画面が表示されます。

［信号］	［名前］		入力信号名を表示します。
	［周波数］		入力信号の周波数を表示します。
［使用時間］ *1	［プロジェクター］		プロジェクターの稼働時間を表示します。
	［ランプ (ET-LAV400 *2)］		本機に対応する交換用ランプユニットの品番を表示します。
		［ノーマル］	［ランプパワー］を［ノーマル］に設定時のランプ使用時間を、実時間で表示します。
		［ECO］	［ランプパワー］を［ECO］に設定時のランプ使用時間を、実時間で表示します。
［シリアル番号］	［プロジェクター］		本機のシリアル番号を表示します。

*1　ランプ交換の目安を算出するには、以下のような換算が必要になります。

ランプ交換の時間（目安）の計算式
A × 1 + B × 5/7 ● A：［ステータス］画面 ー［使用時間］ー［ランプ］ー［ノーマル］に表示されている時間 ● B：［ステータス］画面 ー［使用時間］ー［ランプ］ー［ECO］に表示されている時間

*2　別売品の交換用ランプユニットの品番は、予告なく変更する可能性があります。

［COMPUTER1 入力設定］

〈COMPUTER 1IN〉端子の入力を切り換えることができます。

1)　▲▼ ボタンで［COMPUTER1 入力設定］を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［RGB/YP_BP_R］	〈COMPUTER 1IN〉端子に RGB 信号または YC_BC_R/YP_BP_R 信号を入力するときに選択します。
［Y/C］	〈COMPUTER 1IN〉端子に輝度信号と色信号を入力するときに選択します。

［COMPUTER2 入出力選択］

〈COMPUTER 2 IN/1 OUT〉端子の入出力を切り換えることができます。

1)　▲▼ ボタンで［COMPUTER2 入出力選択］を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［COMPUTER2 IN］	コンピューター入力として使用する場合
［COMPUTER1 OUT］	〈COMPUTER 1 IN〉端子に入力された信号をそのまま出力する場合

お知らせ

- コンピューター 2 が入力として選択されている場合、[COMPUTER2 入出力選択] は選択できません。

[プロジェクター ID]

本機には ID ナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べて使用する場合、1 つのリモコンで同時制御や個別制御ができます。

1) ▲▼ ボタンで [プロジェクター ID] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- [プロジェクター ID] 画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンでプロジェクター ID を選択する

- [オール]、[1] ～ [6] の一覧から選択してください。

[オール]	ID ナンバーを指定せずに制御する場合に設定します。
[1] ～ [6]	ID ナンバーを指定して個別制御する場合に設定します。

4) 〈ENTER〉ボタンを押して決定する

- [プロジェクター ID] が設定されます。

お知らせ

- ID ナンバーを指定して個別制御する場合は、リモコンの ID ナンバーを本機の ID ナンバーに合わせる必要があります。
- ID ナンバーを [オール] に設定すると、リモコンまたはコンピューターで制御の際、ID ナンバーを何番に指定しても本機は動作します。本機を複数台並べて設置する場合、ID ナンバーを [オール] に設定していると、他の ID ナンバーを設定した本機と分けて制御できなくなります。
- リモコンの ID ナンバーを設定する方法は “リモコンの ID ナンバーを設定する” (☞ 45 ページ) をご覧ください。

[起動方法]

電源を通電したときの起動方法を設定します。

1) ▲▼ ボタンで [起動方法] を選択する

2) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[ラストメモリー]	電源コードを抜いたりブレーカーで電源を落とす前の状態で起動します。
[スタンバイ]	スタンバイ状態で起動します。
[オン]	すぐに投写を開始します。

[投写方式]

本機の設置状態に合わせて、投写方式を設定します。
画面表示が上下逆になったり、反転して映ったりしている場合は、投写方式を変更してください。

1) ▲▼ ボタンで [投写方式] を選択する

2) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[フロント / 床置き]	スクリーン前方にある机の上などに設置する場合
[フロント / 天つり]	スクリーン前方に、プロジェクター用天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合
[リア / 床置き]	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) にある机の上などに設置する場合
[リア / 天つり]	スクリーン後方 (透過式スクリーン使用) に、プロジェクター用天つり金具 (別売品) を使用して設置する場合

[ランプパワー]

本機の使用環境や目的に合わせてランプの明るさを切り換えます。

1) ▲▼ ボタンで [ランプパワー] を選択する

2) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［ノーマル］	高い輝度が必要な場合に選択します。
［ECO］	高い輝度を必要としない場合に選択します。

お知らせ

- ［ECO］の場合は［ノーマル］よりも、消費電力の節約、ランプ寿命の延長、動作音の低減ができます。

［ECO マネージメント］

使用状態に応じてランプ電力を最適化し、消費電力を低減する機能です。

1) ▲▼ ボタンで［ECO マネージメント］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［ECO マネージメント］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで項目を選択する

手順 3）で［省エネ設定］を設定する場合

［環境照度連動］、［無信号連動］、［AV ミュート連動］の 3 つの機能を有効にするかどうかを設定します。

4) ◀▶ ボタンで［省エネ設定］を切り換える

［オン］	省エネ設定を有効にします。
［オフ］	省エネ設定を無効にします。

5) ▲▼ ボタンで［環境照度連動］、［無信号連動］または［AV ミュート連動］を選択する

［環境照度連動］	設置場所の明るさにより、ランプ電力を調整します。
［無信号連動］	無信号時、ランプ電力を下げます。
［AV ミュート連動］	AV ミュート時、ランプ電力を下げます

6) ◀▶ボタンで設定を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オン］	設定を有効にします。
［オフ］	設定を無効にします。

お知らせ

- 以下の場合はランプ電力が自動で低下しないことがあります。
  - ランプ点灯直後や［ランプパワー］設定直後などの場合
- ［省エネ設定］が［オフ］の場合、［環境照度連動］、［無信号連動］、［AV ミュート連動］の設定はできません。
- 照度センサー上に物などが置かれた場合、［環境照度連動］は正しく動作しません。

手順 3）で［パワーマネージメント］を設定する場合

無入力信号が続いた際の動作を設定します。

1) ▲▼ ボタンで［パワーマネージメント］を選択する

2) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［シャットダウン］	無入力信号が 30 秒続くとカウントダウンタイマーが表示され、タイマーで設定した時間が経過すると、ランプが消灯してクーリング後、スタンバイ状態になります。
［オフ］	パワーマネージメントを無効にします。
［待機］	無入力信号が 30 秒続くとカウントダウンタイマーが表示され、タイマーで設定した時間が経過すると、ランプが消灯してクーリング後、パワーマネージメントモードになります。信号入力またはボタン操作があると、ランプが点灯します。

タイマーを設定する

パワーマネージメントが働くまでの時間を 5 ～ 120 分まで 5 分刻みで設定できます。

1) ▲▼ ボタンで［タイマー］を選択する

2) ◀▶ ボタンで設定時間を切り換える

- ボタンを押すごとに、設定時間が切り換わります。

手順 3）で［スタンバイモード］を設定する場合

スタンバイ時の電力を設定します。

1) ▲▼ ボタンで［スタンバイモード］を選択する

2) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［ノーマル］	スタンバイ時にネットワーク機能またはシリアル通信機能を使用する場合に選択します。
［ECO］	スタンバイ時の消費電力を低く抑えたい場合に選択します。

お知らせ

- ［ECO］に設定した場合、スタンバイ時にネットワーク機能と RS-232C コマンドの一部が使えません。
- ［ECO］に設定した場合、［ノーマル］設定時と比べて、電源を入れてから投写を開始するまでの時間が、約 10 秒多くかかることがあります。
- ［ノーマル］に設定した場合、電源コードを接続してからネットワーク機能が使用できるようになるまで、約 1 分かかります。
- ［スタンバイモード］の設定は、メニューの［プロジェクター設定］→［全設定初期化］（☞ 81 ページ）を実行しても工場出荷時の設定に戻りません。

［RS-232C］

RS-232C 制御コマンドの通信先を設定します。

1) ▲▼ ボタンで［RS-232C］を選択する

2) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［プロジェクター］	プロジェクター本体の〈SERIAL IN〉端子で RS-232C 通信を行います。
［DIGITAL INTERFACE BOX］	別売品のデジタルインターフェースボックス（品番：ET-YFB100）と〈DIGITAL LINK/LAN〉端子を経由して RS-232C 通信を行います。

［エミュレート］

本機の〈SERIAL IN〉端子を使用してコンピューターで制御する際に、以前に購入した弊社プロジェクターの制御コマンドを使用する場合に設定します。既存の弊社プロジェクター用制御ソフトウェア等を引き続き使用できます。

1) ▲▼ ボタンで［エミュレート］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［エミュレート］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで項目を選択する

［デフォルト］	VZ575N 系、VW535N 系、VX605N 系、EZ580 系、EW640 系、EX610 系、EW540 系、VW345N 系、VX415N 系、EZ770 系、EW730 系、EX800 系、RZ475 系、RZ470 系、RW430 系、RZ370 系、RW330 系
［D3500］	D3500 系
［D4000］	D4000 系
［D/W5k シリーズ］	D5700 系、DW5100 系、D5600 系、DW5000 系、D5500 系
［D/W/Z6k シリーズ］	DZ770 系、DW740 系、DX810 系、DZ680 系、DW640 系、DX610 系、DW730 系、DX800 系、DZ6710 系、DZ6700 系、DW6300 系、D6000 系、D5000 系、DZ570 系、DW530 系、DX500 系
［L730 シリーズ］	L730 系、L720 系、L520 系
［L780 シリーズ］	L780 系、L750 系
［L735 シリーズ］	L735 系
［L785 シリーズ］	L785 系
［F/W シリーズ］	FW430 系、FX400 系、FW300 系、F300 系、F200 系、FW100 系、F100 系
［LZ370］	LZ370 系
［LB/W シリーズ］	LB3 系、LB2 系、LB1 系、ST10 系、LB90 系、LW80NT 系、LB80 系、LB78 系、LB75 系
［VX500 シリーズ］	VW435N 系、VW440 系、VW430 系、VX505N 系、VX510 系、VX500 系、VW330 系、VX400NT 系、VX400 系、VX41 系

[EZ570 シリーズ]	EZ570 系、EW630 系、EW530 系、EX600 系、EX500 系
[VW431D]	VW431D 系

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

［ファンクションボタン］

リモコンの〈FUNCTION〉ボタンに現在割り当てられている機能を表示します。また、その割り当て設定を解除します。

〈FUNCTION〉ボタンへの割り当てを解除する場合

1) ▲▼ ボタンで［ファンクションボタン］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［ファンクションボタン］画面が表示されます。

3) 〈ENTER〉ボタンを押す

4) 確認のメッセージが表示されるので、［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- オンスクリーンメニューを表示させ、割り当てを解除したいメニュー項目（メインメニュー、サブメニュー、または詳細メニュー）を選択したうえで、〈FUNCTION〉ボタンを 3 秒以上押し続けることでも解除できます。

［音声設定］

音声機能の詳細を設定します。

音量を調整する場合

1) ▲▼ ボタンで［音声設定］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［音声設定］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで［音量］を選択する

4) ◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	音が大きくなります。	0 ～ 63
◀ ボタンを押す	音が小さくなります。	

消音を設定する場合

1) ▲▼ ボタンで［音声設定］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［音声設定］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで［消音］を選択する

4) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オフ]	音声を出力します。
[オン]	消音します。

スタンバイ状態での音声出力を設定する場合

1) ▲▼ ボタンで［音声設定］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［音声設定］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで [スタンバイ時動作] を選択する

4) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オフ]	スタンバイ時は音声を出力しません。
[オン]	[スタンバイモード] が [ノーマル] に設定されている場合、スタンバイ時に音声を出力します。 このとき、リモコンの〈VOL- / VOL+〉ボタンまたは本体操作部の ◀▶ ボタンで音量調整ができます。

お知らせ

- [ECO マネージメント] の [スタンバイモード] (☞ 77 ページ) を [ECO] に設定している場合は、[スタンバイ時動作] が [オン] に設定されていても、スタンバイ状態のとき音声は出ません。

音声入力選択を設定する場合

各入力の音声入力端子を選択します。

1) ▲▼ ボタンで [音声設定] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- [音声設定] 画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで [音声入力選択] の項目を選択する

[COMPUTER1]	[COMPUTER1] 入力時の音声出力を設定します。
[COMPUTER2]	[COMPUTER2] 入力時の音声出力を設定します。
[VIDEO]	[VIDEO] 入力時の音声出力を設定します。
[HDMI1]	[HDMI1] 入力時の音声出力を設定します。
[HDMI2]	[HDMI2] 入力時の音声出力を設定します。
[DIGITAL LINK]	[DIGITAL LINK] 入力時の音声出力を設定します。
[NETWORK/USB]	[ネットワーク /USB] 入力時の音声出力を設定します。

4) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[COMPUTER1]	[AUDIO IN 1] → [AUDIO IN 2] → [AUDIO IN 3] から選択します。
[COMPUTER2]	[AUDIO IN 1] → [AUDIO IN 2] → [AUDIO IN 3] から選択します。
[VIDEO]	[AUDIO IN 1] → [AUDIO IN 2] → [AUDIO IN 3] から選択します。
[HDMI1]	[HDMI1 AUDIO IN] → [AUDIO IN 1] → [AUDIO IN 2] → [AUDIO IN 3] から選択します。
[HDMI2]	[HDMI2 AUDIO IN] → [AUDIO IN 1] → [AUDIO IN 2] → [AUDIO IN 3] から選択します。
[DIGITAL LINK]	[DIGITAL LINK AUDIO IN] → [AUDIO IN 1] → [AUDIO IN 2] → [AUDIO IN 3] から選択します。
[NETWORK/USB]	[NETWORK/USB AUDIO IN] → [AUDIO IN 1] → [AUDIO IN 2] → [AUDIO IN 3] から選択します。

お知らせ

- [マイク] を [オン] に設定している場合、[AUDIO IN 2] は選択できません。
- [マイク] を [オン] に設定すると、[AUDIO IN 2] が選択されている項目は [AUDIO IN 1] に自動で切り変わります。

マイクを使用する場合

1) ▲▼ ボタンで [音声設定] を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- [音声設定] 画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで [マイク] を選択する

4) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オフ]	マイクを無効にします。

[オン]	〈AUDIO IN 2〉端子がマイク入力に切り換わります。

5)　▲▼ ボタンで [マイクゲイン] を選択する

6)　◀▶ ボタンでレベルを調整する

操作	変化内容	調整範囲
▶ ボタンを押す	マイクのミキシングゲインが大きくなります。	0 ～ 63
◀ ボタンを押す	マイクのミキシングゲインが小さくなります。	

お知らせ

- [マイク] を [オフ] にした場合、[マイクゲイン] は選択できません。
- オーディオ信号を〈AUDIO IN 2 (MIC IN)〉端子に接続する際に、マイク機能をオンに設定していると、マイクゲインの設定値によっては、突然大きな音が出ることがあります。
- [マイク] を [オン] に設定している場合、無信号時、AV ミュート機能がオン時、フリーズ機能がオン時、パワーマネージメント機能がはたらいているときにも、マイクの音声が出ます。

[テストパターン]

本機内蔵のテストパターンを表示します。
位置、サイズなどの設定内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種調整を行ってください。

1)　▲▼ ボタンで [テストパターン] を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- [パターン切換] 個別調整画面とともにテストパターンが表示されます。

3)　◀▶ ボタンで各種テストパターンを切り換える

- ボタンを押すごとに、全白 ― カラーバー(縦)― カラーバー(横)― 全黒白十字 ― 全白黒十字 ― クロスハッチ ― 全白 ― ・・・に切り換わります。
- 〈MENU〉ボタンまたは〈RETURN〉ボタンを押すと、テストパターン表示が解除され [プロジェクター設定] のサブメニュー表示に戻ります。

お知らせ

- 初期画面は全白のパターンです。〈FUNCTION〉ボタンに割り当てた場合は、クロスハッチが初期画面となります。

[フィルターカウンター]

フィルター使用時間のリセット、フィルター注意表示を設定します。

1)　▲▼ ボタンで [フィルターカウンター] を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- [フィルターカウンター] 画面が表示されます。

[フィルターカウンター]	フィルター使用時間を表示します。
[タイマー]	フィルター交換を注意喚起するメッセージを表示する時間を設定します。
[フィルターカウンターリセット]	フィルターカウンターをリセットします。

タイマーを設定する場合

1)　▲▼ ボタンで [タイマー] を選択する

2)　◀▶ ボタンで設定時間を切り換える

- ボタンを押すごとに、設定時間が [オフ] → [1000 時間] → [2000 時間] → [3000 時間] → [4000 時間] → [5000 時間] → [6000 時間] → [7000 時間] に切り換わります。

フィルターカウンターをリセットする場合

1)　▲▼ ボタンで [フィルターカウンターリセット] を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- [フィルターカウンターリセット] 画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで [はい] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

［全設定初期化］

各種設定値を工場出荷時の値に戻します。

1)　▲▼ ボタンで［全設定初期化］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［全設定初期化］画面が表示されます。

3)　確認画面が表示されるので、◀▶ ボタンで［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 「初期化中・・・」と表示された後、「電源をオフします。よろしいですか？」と表示されます。

4)　〈ENTER〉ボタンを押す

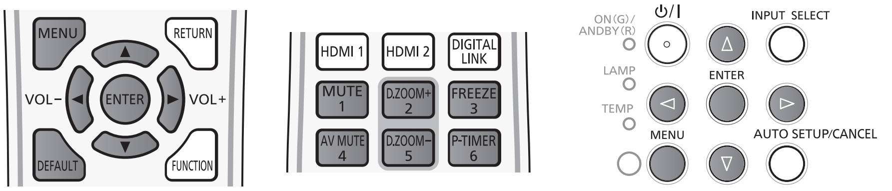
- 電源を切る操作以外は無効になります。
- 次回電源を入れるときに、［初期設定］（表示言語）画面が表示されます。

お知らせ

- ［全設定初期化］を実行すると、設定値を反映させるためにプロジェクターはスタンバイ状態になります。
- ［全設定初期化］を実行しても、［エミュレート］および［ネットワーク /USB］の各種設定値は、工場出荷時の設定に戻りません。
［ネットワーク /USB］に関する初期化については、［ネットワーク /USB］→［初期化］（☞ 94 ページ）で行ってください。

［セキュリティー］について

メニュー画面で、メインメニューから［セキュリティー］を選択し、サブメニューから項目を選択してください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 48 ページ）をご覧ください。
- 初めてご使用になる場合
  初期パスワード：▲▶▼◀▲▶▼◀ ボタンの順に押し、〈ENTER〉ボタンを押してください。
- 項目を選んだら ▲▼◀▶ ボタンで設定してください。



お願い

- メニューの［セキュリティー］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押すと、パスワードの入力が求められます。設定したセキュリティーパスワードを入力してから［セキュリティー］メニューの操作を続けてください。
- 以前にパスワードを変更した場合、変更後のパスワードを入力し、〈ENTER〉ボタンを押してください。

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、* 印で表示されます。
- パスワードを間違えると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。

［パスワード設定］

電源を入れたとき、［全設定初期化］実行時、または［ネットワーク /USB］メニューの［初期化］実行時に、［パスワード設定］画面を表示させます。間違ったパスワードを入力した場合、電源〈⏻/I〉ボタンでの操作に限定されます。

1) ▲▼ ボタンで［パスワード設定］を選択する

2) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	セキュリティーパスワード入力を無効にします。
［オン］	セキュリティーパスワード入力を有効にします。

お知らせ

- 工場出荷時、または全設定初期化後は［パスワード設定］の設定は［オフ］になっています。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。
- セキュリティーパスワードは、［パスワード設定］を［オン］に設定したあと、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜くと有効になります。

［パスワード変更］

セキュリティーパスワードを変更します。

1) ▲▼ ボタンで［パスワード変更］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［パスワード変更］画面が表示されます。

3) ▲▼◀▶ ボタンや、数字（〈1〉～〈6〉）ボタンでパスワードを設定する

- 最大 8 つのボタン操作を設定できます。

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

5) 確認のため、再度パスワードを入力する

6) 〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 入力したパスワードは画面上では、* 印で表示されます。
- パスワードを間違えると、画面上にエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。

- セキュリティーパスワードに数字を用いた場合、リモコンを紛失すると、セキュリティーパスワードの初期化が必要になります。初期化方法については、販売店にご相談ください。

［テキスト設定］

投写中の映像に、セキュリティーメッセージ（文字）を重ねて表示させます。

1)　▲▼ ボタンで［テキスト設定］を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	テキスト表示を無効にします。
［オン］	テキスト表示を有効にします。

［テキスト変更］

［テキスト設定］で［オン］を選択し、テキスト表示を有効にしたときに表示する文字を変更できます。

1)　▲▼ ボタンで［テキスト変更］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［テキスト変更］画面が表示されます。

3)　▲▼◀▶ ボタンで文字を選択し、〈ENTER〉ボタンを押して入力する

4)　▲▼◀▶ ボタンで［確定］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- テキストが変更されます。

［メニューロック］

〈MENU〉ボタンでメニューを表示し、メニュー操作できるかどうかを設定します。

1)　▲▼ ボタンで［メニューロック］を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	メニュー操作のロックを解除します。
［オン］	メニュー操作をロックします。

お知らせ

- ［メニューロック］を［オン］に設定している状態で間違ったパスワードを入力すると、〈MENU〉ボタンの操作はできません。
- お買い上げ時、または［全設定初期化］を実行したあと、［メニューロック］は［オフ］になっています。
- ［メニューロック］を［オン］に設定している状態で、パスワードを入力してロックを解除すると、本機がスタンバイ状態になるまでロック解除が維持されます。

［メニューロックパスワード］

メニューロックパスワードを変更できます。

1)　▲▼ ボタンで［メニューロックパスワード］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［メニューロックパスワード］画面が表示されます。

3)　▲▼◀▶ ボタンで文字を選択し、〈ENTER〉ボタンを押して入力する

- 最大 16 文字まで入力できます。

4)　▲▼◀▶ ボタンで［確定］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 中止する場合は［キャンセル］を選択してください。

お願い

- お買い上げ時、または［全設定初期化］を実行したあと、初期のパスワードは「AAAA」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

［操作設定］

本体操作部とリモコンのボタン操作の有効 / 無効を設定します。

1)　▲▼ ボタンで［操作設定］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［操作設定］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［本体操作部］または［リモコン］を選択する

［本体操作部］	本体操作部からの制御の制限を設定できます。
［リモコン］	リモコンからの制御の制限を設定できます。

4)　◀▶ ボタンで［有効］または［無効］を切り換える

- 本体操作部またはリモコンからの制御の制限を設定できます。

［有効］	すべてのボタン操作を有効にします。
［無効］	すべてのボタン操作を無効にします。

- ［有効］から［無効］に切り換える場合は、確認画面が表示されますので、手順 5) に進みます。

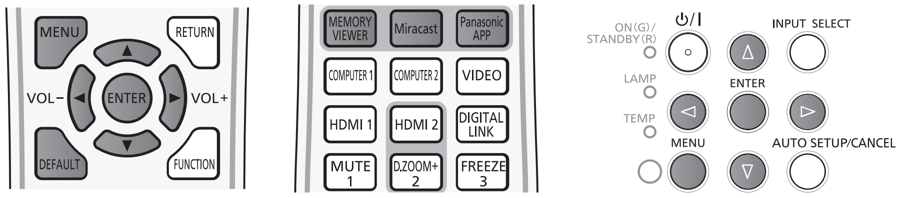
5)　◀▶ ボタンで［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- ［無効］に設定した側のボタンで操作すると、［パスワード設定］画面が表示されます。
  続けて操作する場合はセキュリティーパスワードを入力してください。
- ［パスワード設定］画面は約 10 秒何も操作しなければ消えます。
- ［本体操作部］と［リモコン］の操作を両方とも［無効］にした場合、電源を切る（スタンバイ状態にする）ことができなくなります。
- リモコンのボタン操作を無効にしても、リモコンの〈ID ALL〉ボタンと〈ID SET〉ボタンの操作は有効です。

［ネットワーク /USB］について

メニュー画面で、メインメニューから［ネットワーク /USB］を選択し、サブメニューから項目を選択してください。
メニュー画面の操作については、“メニュー画面の操作方法”（☞ 48 ページ）をご覧ください。
- 項目を選んだら ▲▼◀▶ ボタンで設定してください。



ネットワーク情報の確認

「ワイヤレスマネージャー ME6.2」、iPad / iPhone / iPod touch や Android の専用アプリケーション、Miracast 対応端末からプロジェクターに接続するためには、無線 LAN 接続の設定、プロジェクター名、ネットワーク ID といった情報が必要です。これらの情報は、［ネットワーク /USB］メニューの［ステータス］（☞ 94 ページ）で確認できます。

［DIGITAL LINK モード］

本機の〈DIGITAL LINK/LAN〉端子の通信方式を切り換えます。

1) ▲▼ ボタンで［DIGITAL LINK モード］を選択する

2) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オート］	通信方式が DIGITAL LINK またはイーサネットのいずれかに自動的に切り換わります。
［DIGITAL LINK］	通信方式が DIGITAL LINK に固定されます。
［イーサネット］	通信方式がイーサネットに固定されます。

通信可能なモードについて

設定		通信可否		
		映像伝送	イーサネット	RS-232C
［オート］	DIGITAL LINK の場合	✓	✓	✓
	イーサネットの場合	―	✓	―
［DIGITAL LINK］		✓	✓	✓
［イーサネット］		―	✓	―

✓：通信可能
―：通信不可

［DIGITAL LINK 設定］

DIGITAL LINK またはイーサネットの通信方式を設定します。

本機を直接イーサネットに接続している場合

1) ▲▼ ボタンで［DIGITAL LINK 設定］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［DIGITAL LINK 設定］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで［DUPLEX（イーサネット）］を選択する

4) ◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[オートネゴシエーション]	通信方式が自動で設定されます。
[100BaseTX-Full]	全二重通信方式が設定されます。
[100BaseTX-Half]	半二重通信方式が設定されます。

5)　▲▼ ボタンで［保存］を選択する

6)　〈ENTER〉ボタンを押す

7)　確認画面が表示されるので、◀▶ ボタンで［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- 10BaseT Full/Half には対応していません。

本機にツイストペアケーブル伝送器を接続している場合

1)　▲▼ ボタンで［DIGITAL LINK 設定］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［DIGITAL LINK 設定］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで［DUPLEX（DIGITAL LINK)］を選択する

4)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

[100BaseTX-Full]	全二重通信方式が設定されます。
[100BaseTX-Half]	半二重通信方式が設定されます。
[オートネゴシエーション]	通信方式が自動で設定されます。

5)　▲▼ ボタンで［保存］を選択する

6)　〈ENTER〉ボタンを押す

7)　確認画面が表示されるので、◀▶ ボタンで［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

[DIGITAL LINK ステータス]

DIGITAL LINK の接続環境を表示します。

本機を直接イーサネットに接続している場合

1)　▲▼ ボタンで［DIGITAL LINK ステータス］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［DIGITAL LINK ステータス］画面が表示されます。

[リンク状態]	[NO LINK]、[DIGITAL LINK]、[イーサネット］のいずれかが表示されます。
[HDCP ステータス]	[無信号]、[オフ]、[オン］のいずれかが表示されます。
[信号品質]	[信号品質］はエラー発生量を数値化したもので、その数値によって表示色が緑色 / 黄色 / 赤色に変わります。 ツイストペアケーブル伝送器からの信号を受信した状態で信号品質レベルを確認してください。 * MAX/MIN：エラー発生量の最大値 / 最小値 * 緑色（-12 dB 以下）→正常な信号品質レベルです。 * 黄色（-11 ～ -8 dB）→画面にノイズが出る可能性がある注意レベルです。 * 赤色（-7 dB 以上）→同期が乱れる、または受信不可能な異常レベルです。

[有線 LAN]

有線 LAN の詳細なネットワーク設定ができます。

1)　▲▼ ボタンで［有線 LAN］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［有線 LAN 詳細設定］画面が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで各項目を選択し、メニューの操作指示に従って設定を変更する

[DHCP]	オン：プロジェクターを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。 オフ：プロジェクターが接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] の設定を行ってください。
[IP アドレス]	DHCP サーバーを利用しない場合は、IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク]	DHCP サーバーを利用しない場合は、サブネットマスクを入力します。
[デフォルトゲートウェイ]	DHCP サーバーを利用しない場合は、デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
[DNS1]	DHCP サーバーを利用しない場合は、優先 DNS サーバーアドレスを入力します。
[DNS2]	DHCP サーバーを利用しない場合は、代替 DNS サーバーアドレスを入力します。

4)　▲▼ ボタンで［確定］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

■ [有線 LAN] の出荷設定

- 工場出荷時、あらかじめ下記の設定がされています。

[DHCP]	オフ
[IP アドレス]	192.168.10.100
[サブネットマスク]	255.255.255.0
[デフォルトゲートウェイ]	192.168.10.1
[DNS1] / [DNS2]	無し

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 有線 LAN と無線 LAN を同一セグメントで使用することはできません。

[無線 LAN]

無線 LAN の接続方法をの設定ができます。

1)　▲▼ ボタンで［無線 LAN］を選択する

2)　◀▶ ボタンで接続方法を選択する

[無効]		無線 LAN を使用しない場合に設定します。
[シンプル]		Windows、Mac OS、iOS、Android の各 OS に対応し、簡単に接続できます。 「ワイヤレスマネージャー ME6.2」や、iPad / iPhone / iPod touch、Android 端末に対応した当社の画像転送用のアプリケーションソフトウェアを用いて本機と無線 LAN 接続することができます。
[ノーマル]	[S-DIRECT]	付属の CD-ROM に収録されている、Windows や Mac に対応した画像転送用のアプリケーションソフトウェア「ワイヤレスマネージャー ME6.2」を用いて本機と無線 LAN 接続する場合に選択します。
	[M-DIRECT]	簡易アクセスポイントとして使用する場合に設定します。アクセスポイントがなくても、本機とコンピューターなどの端末とをインフラストラクチャーモードで接続できます。 「ワイヤレスマネージャー ME6.2」や、iPad / iPhone / iPod touch、Android 端末に対応した当社の画像転送用のアプリケーションソフトウェアを用いて本機と無線 LAN 接続することができます。 iPad / iPhone / iPod touch や Android 端末との接続がより簡単になります。 ご使用のネットワーク環境に合わせて、詳細なネットワーク設定をすることもできます。 詳しくは、後述の“[M-DIRECT] の詳細設定”をご覧ください。
	[USER1] / [USER2] / [USER3]	ご使用のネットワーク環境に合わせて、詳細なネットワーク設定をすることができます。 詳しくは、後述の“[USER1] / [USER2] / [USER3] の詳細設定”をご覧ください。

お願い

- IEEE802.11a/n（5.2 GHz/5.3 GHz 帯）は、屋内で使用してください。5.2 GHz/5.3 GHz 帯（W52/W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。
  なお、5.5 GHz ～ 5.7 GHz の周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

お知らせ

- [シンプル]、[S-DIRECT] または [M-DIRECT] に設定している場合、本機に無線 LAN 接続できる端末は最大 10 台です。
- [シンプル]、[S-DIRECT] または [M-DIRECT] に設定している場合、入力が [Panasonic APPLICATION] 以外の場合は、通常の無線接続は使用できません。
- [無線 LAN] で [シンプル]、[S-DIRECT] または [M-DIRECT] を選択しても、入力が Miracast の場合は無効になります。

- アプリケーションソフトウェア「ワイヤレスマネージャー ME6.2」の使用方法について詳しくは、「ワイヤレスマネージャー ME6.2」の取扱説明書をご覧ください。
- iPad / iPhone/ iPod touch や Android 端末に保存した画像などを本機に無線で送信する画像転送用のアプリケーションソフトウェアの使用方法について詳しくは、以下の URL に記載のアプリケーションガイドをご覧ください。
  [iOS のサポート URL] http://panasonic.biz/projector/support/ios/
  [Android のサポート URL] http://panasonic.biz/projector/support/android/

[無線 LAN 詳細設定]

[シンプル] または [M-DIRECT]、[USER 1] ～ [USER 3] のいずれかを選択すると、より詳細なネットワーク設定ができます。ネットワーク設定については、ネットワーク管理者にご確認ください。

[シンプル] の詳細設定

Windows、Mac OS、iOS、Android の各 OS に対応し、簡単に接続できます。

1) [シンプル] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- [無線 LAN 詳細設定] 画面が表示されます。

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- [キー] 画面が表示されます。

3) メニューの操作指示に従って ▲▼◀▶ ボタンで設定を変更する

[キー]	8 ～ 15 文字の英数字で入力します。

4) ▲▼ ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

■ [シンプル] の出荷設定

- 工場出荷時、あらかじめ下記の設定がされています。

[キー]	proj ＋ネットワーク ID の下 4 桁の数字で入力します。

[M-DIRECT] の詳細設定

簡易アクセスポイントとして使用する場合に設定します。アクセスポイントがなくても、本機とコンピューターとをインフラストラクチャーモードで接続します。
また、iPad / iPhone / iPod touch や Android との接続がより簡単になります。

1) [ノーマル] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- [ノーマル] 画面が表示されます。

2) ◀▶ ボタンで [M-DIRECT] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- [無線 LAN 詳細設定] 画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで各項目を選択し、◀▶ ボタンで設定を変更する

[IP アドレス]	IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク]	サブネットマスクを入力します。
[SSID]	M-DIRECT で使用する SSID を設定します。
[チャンネル]	M-DIRECT で使用するチャンネルを 1 ～ 13, 36, 40, 44, 48 の中から選択します。
[キー]	M-DIRECT で使用するキーを設定します。 8 ～ 63 文字の英数字、または 64 桁の 16 進数で入力します。

4) ▲▼ ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

■ [M-DIRECT] の出荷設定

- 工場出荷時、あらかじめ次の設定がされています。

[IP アドレス]	192.168.12.100
[サブネットマスク]	255.255.255.0
[SSID]	M-DIRECT+ ネットワーク ID の下 4 桁の数字
[チャンネル]	1
[キー]	SSID と同じ文字列

お知らせ

- 認証方法は WPA2-PSK、暗号化は AES 固定で変更できません。
- 上記以外の内容に変更するときは、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。
- ［キー］を工場出荷時の設定のままにしていると、第三者による情報の漏洩の危険があります。必ず、工場出荷時の値から変更してください。
- DHCP サーバーが自動的に立ち上がりますので、本機に無線 LAN 接続する端末は、DHCP をオンに設定して接続してください。

[USER1]/[USER2]/[USER3] の詳細設定

1) ［ノーマル］が選択されているとき、〈ENTER〉ボタンを押す

- ［ノーマル］画面が表示されます。

2) ◀▶ ボタンで [USER1]、[USER2]、[USER3] のいずれかを選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- ［無線 LAN 詳細設定 1/2］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで各項目を選択し、◀▶ ボタンで設定を変更する

［プロジェクター名変更］	アプリケーションソフトウェア上で本機を識別する場合などに、任意の名前に変更します。
[DHCP]	オン：プロジェクターを接続するネットワークに DHCP サーバーが存在する場合、自動的に IP アドレスを取得します。 オフ：プロジェクターが接続するネットワークに DHCP サーバーが存在しない場合、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] の設定を行ってください。
[IP アドレス]	DHCP サーバーを利用しない場合は、IP アドレスを入力します。
[サブネットマスク]	DHCP サーバーを利用しない場合は、サブネットマスクを入力します。
[デフォルトゲートウェイ]	DHCP サーバーを利用しない場合は、デフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
[DNS1]	DHCP サーバーを利用しない場合は、優先 DNS サーバーアドレスを入力します。
[DNS2]	DHCP サーバーを利用しない場合は、代替 DNS サーバーアドレスを入力します。

お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーアドレスは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 有線 LAN と無線 LAN を同一セグメントで使用することはできません。

4) ▼ ボタンを押す

- ［無線 LAN 詳細設定 2/2］画面が表示されます。

5) ▲▼ ボタンで各項目を選択し、▲▼◀▶ ボタンで設定を変更する

[SSID]		アクセスポイントに登録されている SSID と同じ文字列を入力します。
[認証]		接続するネットワークで使用されているユーザー認証方式を選択します。
	[オープン]	アクセスポイントの認証方式が Open System の場合に選択します。
	[共有]	アクセスポイントの認証方式が Shared Key の場合に選択します。
	[WPA-PSK]	アクセスポイントの認証方式が WPA-PSK の場合に選択します。
	[WPA2-PSK]	アクセスポイントの認証方式が WPA2-PSK の場合に選択します。
	[WPA-EAP/WPA2-EAP]	アクセスポイントの認証方式が WPA-EAP/WPA2-EAP の場合に選択します。
	[WPA-EAP]	アクセスポイントの認証方式が WPA-EAP の場合に選択します。
	[WPA2-EAP]	アクセスポイントの認証方式が WPA2-EAP の場合に選択します。
[暗号化]		プロジェクターとネットワークの間の通信で使用される暗号化方式を選択します。
	[無し]	暗号化しない場合に選択します。 ［認証］が［オープン］または［共有］の場合にのみ選択できます。
	[WEP]	暗号化方式が WEP の場合に選択します。
	[TKIP]	暗号化方式が TKIP の場合に選択します。 [認証］が［WPA-PSK]、[WPA2-PSK]、[WPA-EAP]、[WPA2-EAP］の場合に選択できます。
	[AES]	暗号化方式に AES を使用する場合に選択します。 [認証］が［WPA-PSK]、[WPA2-PSK]、[WPA-EAP]、[WPA2-EAP］の場合に選択できます。
[デフォルトキー]		デフォルトのキーに 1 ～ 4 の番号を設定します。 ［認証］が［オープン］または［共有］で、暗号化方式が［WEP］の場合に設定できます。
［キー 1］～［キー 4］		［デフォルトキー］で選択したキー番号に WEP キーを設定します。 ［認証］が［オープン］または［共有］で、暗号化方式が［WEP］の場合に設定できます。 設定できるのは、64 bit または 128 bit の WEP キーです。64 bit の場合は半角英数字で 5 文字（16 進数の場合は 10 桁)、128 bit の場合は半角英数字で 13 文字（16 進数の場合は 26 桁）を入力します。

[キー]	キーを設定します。 [認証] が [WPA-PSK] または [WPA2-PSK] の場合に設定できます。 8 ～ 63 文字の英数字か、または 64 桁の 16 進数で入力します。
[EAP]	RADIUS サーバーに設定されている EAP を選択します。 [認証] が [WPA-EAP/WPA2-EAP]、[WPA-EAP]、または [WPA2-EAP] の場合に設定できます。 選択可能な EAP の種類は次の通りです。 [PEAP(MS-CHAPv2)]、[PEAP(GTC)]、[EAP-TTLS(MD5)]、[EAP-TTLS(MS-CHAPv2)]、[EAP-FAST(MS-CHAPv2)]、[EAP-FAST(GTC)]
[ユーザー名]	認証に使用するユーザー名を半角英数字（スペースは除く）で入力します（最大 64 文字)。 [認証] が [WPA-EAP/WPA2-EAP]、[WPA-EAP]、または [WPA2-EAP] の場合に設定できます。
[パスワード設定]	認証に使用するパスワードを半角英数字で入力します（最大 64 文字)。 [認証] が [WPA-EAP/WPA2-EAP]、[WPA-EAP]、または [WPA2-EAP] の場合に設定できます。

お知らせ

- “本機の設定”（☞ 96 ページ）を実行しても、アクセスポイント経由で無線 LAN 接続ができない場合は、お使いのアクセスポイント（電波中継機）のメーカーにお問い合わせください。
- EAP を使用する場合、RADIUS サーバーの設定に合わせてプロジェクターを設定する必要があります。RADIUS サーバーの設定についてはネットワーク管理者にご確認ください。
- SSID ブロードキャストが無効なアクセスポイントと組みわせて EAP を使用する場合、アクセスポイントの認証方式が WPA-EAP/WPA2-EAP であっても、認証方式には [WPA-EAP] または [WPA2-EAP] を選択してください。

6)　▲▼ ボタンで [確定] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

■ [USER1]、[USER2]、[USER3] の出荷設定

- 工場出荷時、あらかじめ下記の設定がされています。

[SSID]	Panasonic Projector
[DHCP]	オフ
[IP アドレス]	192.168.11.100
[サブネットマスク]	255.255.255.0
[デフォルトゲートウェイ]	192.168.11.1
[認証]	オープン
[暗号化]	無し
[DNS1] / [DNS2]	無し

[コネクションロック]

メモリービューワー、Miracast、Panasonic APPLICATION の全チャンネル選択可能にするか、どれか一つだけ選択可能にするか設定してください。

1)　▲▼ ボタンで [コネクションロック] を選択する

2)　◀▶ ボタンで項目を切り換える

[オフ]	[NETWORK/USB] の入力切換で、[Panasonic APPLICATION]、[Miracast]、[メモリービューワー] の切換が可能です。
[Panasonic APPLICATION]	[NETWORK/USB] の入力を、[Panasonic APPLICATION] で固定します。
[Miracast]	[NETWORK/USB] の入力を、[Miracast] で固定します。
[メモリービューワー]	[NETWORK/USB] の入力を、[メモリービューワー] で固定します。

お知らせ

- [オフ] 以外のいずれかが選択されているとき、選択されていないボタンを押すと、[キー操作無効] 画面が表示されます。

[プロジェクター名変更]

DHCP サーバーを利用する場合などにプロジェクター名を変更してください。

1)　▲▼ ボタンで [プロジェクター名変更] を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- [プロジェクター名変更] 画面が表示されます。

3)　▲▼◀▶ ボタンで文字を選択し、〈ENTER〉ボタンを押して入力する

- ［全削除］を選ぶと入力した文字のすべてを削除でき、リモコンの〈DEFAULT〉ボタンを押すと、入力ボックス内のカーソルで選択されている 1 文字を消去できます。

4) プロジェクター名の入力を完了後、▲▼ ボタンで［確定］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 変更をキャンセルする場合は、［キャンセル］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押してください。

お知らせ

- 「プロジェクター名の工場出荷時の設定は、Name □□□□」(□□□□は 4 桁の数字) です。

［パスワード設定］

パスワードを設定して接続制限をすることで、外部からの誤接続による投写映像の割り込み表示などを防ぐことができます。

1) ▲▼ ボタンで［パスワード設定］を選択する

2) ◀▶ ボタンで設定を変更する

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	パスワード入力を無効にします。
［オン］	パスワード入力を有効にします。

お知らせ

- 「ワイヤレスマネージャー ME6.2」を使ってプロジェクターと接続する場合は、［オン］に設定して、パスワードの確認を行います。（工場出荷値：［オフ］）
- 「複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア」の一斉画像配信機能や配信画像消去機能を使う場合は、パスワード設定が［オン］のプロジェクターに対して画像を配信することはできません。これらの画像配信機能を使用する場合は、［オフ］に設定します。

［パスワード変更］

1) ▲▼ ボタンで［パスワード変更］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［パスワード変更］画面が表示されます。

3) ▲▼◀▶ ボタンでパスワードの設定を変更する

4) ▲▼ ボタンで［確定］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

お知らせ

- パスワードは、最大 8 桁まで設定できます。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

［ネットワークコントロール］

ネットワーク接続しているコンピューターからプロジェクターを制御したい場合に設定します。

1) ▲▼ ボタンで［ネットワークコントロール］を選択する

2) ◀▶ ボタンで設定を変更する

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	ネットワークからの制御を無効にします。
［オン］	ネットワークからの制御を有効にします。WEB 制御、PJLink 制御、LAN 経由でのコマンド制御が有効になります。

［AMX D. D.］

AMX 社のコントローラーで制御したい場合［オン］に設定します。

この機能を［オン］に設定すると、「AMX デバイスディスカバリー」による検知を有効にすることができます。詳細については、AMX 社の WEB サイトをご覧ください。

URL http://www.amx.com/

1) ▲▼ ボタンで［AMX D. D.］を選択する

2) ◀▶ ボタンで設定を変更する

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	この機能を無効にします。
［オン］	この機能を有効にします。

［Crestron Connected(TM)］

Crestron 社の Crestron Connected™ で制御したい場合［オン］に設定します。

1)　▲▼ ボタンで［Crestron Connected(TM)］を選択する

2)　◀▶ ボタンで設定を変更する

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	この機能を無効にします。
［オン］	この機能を有効にします。

［EXTRON XTP］

Extron 社製の「XTP トランスミッター」を〈DIGITAL LINK/LAN〉端子に接続するときに［オン］に設定します。
別売品のデジタルインターフェースボックス（品番：ET-YFB100）を接続する場合は、［EXTRON XTP］の設定を［オフ］にする必要があります。
「XTP トランスミッター」の詳細については、Extron 社の WEB サイトをご覧ください。
URL http://www.extron.co.jp/

1)　▲▼ ボタンで［EXTRON XTP］を選択する

2)　◀▶ ボタンで設定を変更する

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オフ］	この機能を無効にします。
［オン］	この機能を有効にします。

［DIGITAL INTERFACE BOX］

別売品のデジタルインターフェースボックス（品番：ET-YFB100）を〈DIGITAL LINK/LAN〉端子に接続している場合、ET-YFB100 のメインメニューが表示されます。詳しくは、ET-YFB100 の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ［EXTRON XTP］を［オン］に設定している場合、［DIGITAL INTERFACE BOX］は選択できません。

［ライブモード割り込み］

「ワイヤレスマネージャー ME 6.2」によるライブモード実行中（画面送信中）に、他のユーザーによるライブモードの割り込みや、「複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア」による画像配信を許可する場合は［オン］に設定します。

1)　▲▼ ボタンで［ライブモード割り込み］を選択する

2)　◀▶ ボタンで設定を変更する

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［オン］	この機能を有効にします。
［オフ］	この機能を無効にします。

お知らせ

- 同じパソコン上で「ワイヤレスマネージャー ME 6.2」および「複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア」を同時使用した場合は、『複数台プロジェクター監視制御ソフトウェア」による「一斉画像配信機能」が使用できない場合があります。同時に使用したい場合は、別のパソコンでそれぞれのソフトウェアを使用してください。

［マルチライブ］

「ワイヤレスマネージャー ME 6.2」を使用する際に、マルチライブモードに切り換えます。詳細は「ワイヤレスマネージャー ME 6.2」の操作説明書を参照してください。iOS 用アプリケーション、Android 用アプリケーションでも使用することができます。

1)　▲▼ ボタンで［マルチライブ］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- マルチライブモードに切り換わります。
- ボタンを押すごとに、スタイルが切り換わります。
  ４画面マルチ → ４画面インデックス → 16 画面インデックス → ４画面マルチ→・・・

［メモリービューワー］

メモリービューワーの設定を変更できます。

1) ▲▼ ボタンで［メモリービューワー］を選択する

2) 〈ENTER〉ボタンを押す

- ［メモリービューワー］画面が表示されます。

3) ▲▼ ボタンで各項目を選択し、◀▶ ボタンで設定を変更する

- ボタンを押すごとに、項目が切り換わります。

［表示切換］		メモリービューワー画面の表示方法を設定します。
	［サムネイル］	サムネイル形式で表示します。
	［リスト］	リスト形式で表示します。
［ファイル表示ソート］		メモリービューワー画面におけるファイルの表示順序を設定します。
	［名前］	ファイル名の昇順で表示します。
	［種類］	ファイルの種類ごとに表示します。
	［日時］	ファイルの更新日時の古いものから順に表示します。
［自動再生］		自動再生の有効 / 無効を設定します。
	［オフ］	自動再生を無効にする場合に選択します。
	［オン］	自動再生を有効にする場合に選択します。
［自動再生間隔］		自動再生中の静止画の表示時間を設定します。
	［5 秒］～［120 秒］	静止画の表示時間を設定できます。 項目は、［5 秒］、［10 秒］、［15 秒］、［30 秒］、［60 秒］、［120 秒］から選択できます。
［画面切り換わり効果］		静止画の再生画面転換時に使う特殊効果を設定します。
	［オフ］	特殊効果を適用しません。
	［ランダム］	特殊効果をランダムに適用します。
	［ワイプレフト］	左側からふき取るように徐々に表示します。
	［ワイプライト］	右側からふき取るように徐々に表示します。
	［ワイプダウン］	上側からふき取るように徐々に表示します。
	［スプリット］	中央から左右両側に向けてふき取るように徐々に表示します。
	［ズームアウト］	中心から全体へと徐々に表示します。
	［フェード］	全体を徐々に表示します。
	［ブラインド］	縦型ブラインドを開けるように徐々に表示します。
	［チェッカーワイプ］	格子状に左側から右方向に徐々に表示します。
	［スライドイン］	次の画面が右から左へ現れるように表示します。
	［スライドアウト］	前の画面が右から左へ消えるようにして次の画面を表示します。
［ガイド表示］		ガイドを表示する場合に［オン］を選択します。
	［オン］	全画面再生時に操作ガイドとタイムバー（動画再生時のみ）を表示する場合に選択します。
	［オフ］	操作ガイドとタイムバーを表示しない場合に選択します。

お知らせ

- 詳しくは、“メモリービューワー機能について”（☞ 115 ページ）をご覧ください。
- ［自動再生］を［オフ］に設定している場合、［自動再生間隔］は設定できません。
- メモリービューワーの再生中に［自動再生間隔］または［画面切り換わり効果］の設定を変更しても、再生中の投写映像には反映されません。サムネイル形式またはリスト形式のメモリービューワー画面に戻ってから再生し直してください。メモリービューワー機能の使い方については、“メモリービューワー機能について”（☞ 115 ページ）をご覧ください。
- ［ガイド表示］を［オン］設定時、操作ガイドおよびタイムバーは再生開始約 3 秒後に自動的に消えます。
- 静止画再生中に ▲▼◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押すと操作ガイドが、動画再生中に ▲◀▶ ボタンまたは〈ENTER〉ボタンを押すと操作ガイドとタイムバーが表示されます。

［VueMagic(TM)］

iOS 端末や Android 端末に対応した静止画転送アプリケーションソフトウェア“VueMagic”の待ち受け画面に切り換えることができます。待ち受け画面には、ログインパスワード（自動生成される 4 桁の数字）、プロジェクター名、IP アドレスが表示されます。

1) ▲▼ ボタンで［VueMagic(TM)］を選択する

2) ◀▶ ボタンで“VueMagic”の待ち受け画面を表示する

- “VueMagic”の待ち受け画面が表示されます。

お知らせ

- VueMagic アプリケーションを使用する際、本機側の無線 LAN のモードは［USER1］～［USER3］に設定してください。詳細については、“[USER1]/[USER2]/[USER3] の詳細設定”（☞ 89 ページ）を参照してください。
- VueMagic アプリケーションの操作については、お使いの端末の取扱説明書などをご覧ください。
- 本機の入力を切り換えたり、〈MENU〉ボタンを押すと、［VueMagic(TM)］は自動で［オフ］に切り換わります。
- VueMagic 待ち受け画面を表示しているとき、メニューは表示できません。
- iOS 端末や Android 端末からの接続には、専用アプリ「VueMagic」を端末にインストールする必要があります。「VueMagic」の詳細については、以下の WEB サイトをご覧ください。（英語表示のみとなります。）
  URL http://vuemagic.pixelworks.com

［ステータス］

本機のネットワーク状態を表示します。

1)　▲▼ ボタンで［ステータス］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［ステータス］画面 (1/3 有線 LAN）が表示されます。

3)　▲▼ ボタンで表示画面（1/3 有線 LAN → 2/3 無線 LAN → 3/3 無線 LAN) を切り換える

- ボタンを押すごとに、ページが切り換わります。

［有線 LAN］		本機に設定されている有線 LAN のネットワーク情報を表示します。
	［DHCP］	DHCP サーバーの利用状態を表示します。
	［IP アドレス］	IP アドレスを表示します。
	［サブネットマスク］	サブネットマスクを表示します。
	［デフォルトゲートウェイ］	デフォルトゲートウェイを表示します。
	［DNS1］	優先 DNS サーバーのアドレスを表示します。
	［DNS2］	代替 DNS サーバーのアドレスを表示します。
	［MAC アドレス］	有線 LAN の MAC アドレスを表示します。
［無線 LAN］		本機に設定されている無線 LAN のネットワーク情報を表示します。
	［アンテナレベル］	無線 LAN の電波状況を表示します。
	［ネットワーク］	無線 LAN の接続方法を表示します。
	［SSID］	SSID の文字列を表示します。
	［認証］	ユーザー認証方式を表示します。
	［EAP］	EAP の種類を表示します。
	［暗号化］	暗号化方式を表示します。
	［デフォルトキー］	デフォルトキーの番号を表示します。
	［DHCP］	DHCP サーバーの利用状態を表示します。
	［IP アドレス］	IP アドレスを表示します。
	［サブネットマスク］	サブネットマスクを表示します。
	［デフォルトゲートウェイ］	デフォルトゲートウェイを表示します。
	［DNS1］	優先 DNS サーバーのアドレスを表示します。
	［DNS2］	代替 DNS サーバーのアドレスを表示します。
	［MAC アドレス］	無線 LAN の MAC アドレスを表示します。

お知らせ

- ［無線 LAN］が［無効］のときは、無線 LAN の［ステータス］画面は表示されません。

［初期化］

［ネットワーク /USB］の各種設定値を工場出荷状態に戻すことができます。

1)　▲▼ ボタンで［初期化］を選択する

2)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［初期化］画面が表示されます。

3)　◀▶ ボタンで［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

ネットワーク接続について

本機はネットワーク機能を備えており、WEB 制御を使用してコンピューターから下記のような操作ができます。
- プロジェクターの設定と調整
- プロジェクターの状態表示
- プロジェクターが異常時に E メールメッセージを送信

また、本機は「Crestron Connected™」に対応しており、Crestron Electronics, Inc. の以下のアプリケーションソフトを使用できます。
- RoomView Express
- Fusion RV
- RoomView Server Edition

お知らせ

- 「Crestron Connected™」はネットワークに接続された複数のシステムの様々な機器を、コンピューターで一括して管理・制御する Crestron Electronics, Inc. 製のシステムです。
- 「Crestron Connected™」の詳細については、Crestron Electronics, Inc. の WEB サイトをご覧ください。（英語表示のみとなります。）
  URL http://www.crestron.com
  また、「RoomView Express」は、Crestron Electronics, Inc. のWEB サイトよりダウンロードしてください。（英語表示のみとなります。）
  URL http://www.crestron.com/getroomview

設定に使用できるコンピューター

WEB 制御機能を使用するには、WEB ブラウザーが必要です。あらかじめ WEB ブラウザーが使用できることを確認してください。

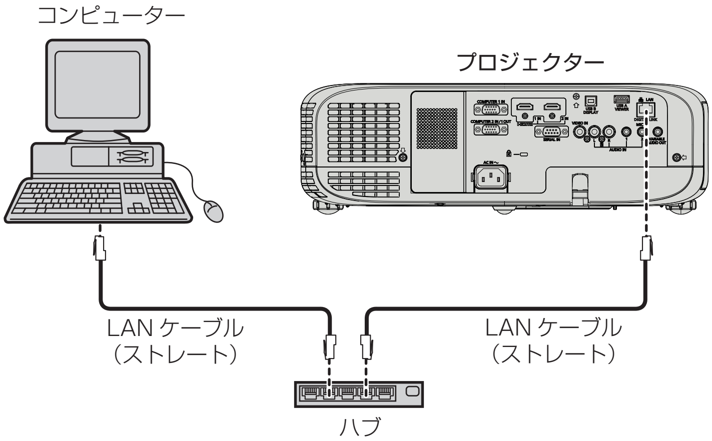
OS	対応 WEB ブラウザー
Windows	Internet Explorer 7.0/8.0/9.0/10.0/11.0
Mac OS	Safari 4.0/5.0/6.0/7.0

お知らせ

- E メール機能をご使用になる場合は、E メールサーバーと通信する必要があります。あらかじめ E メールが利用できることを確認してください。

有線 LAN で接続する場合

通常のネットワーク接続例



お願い

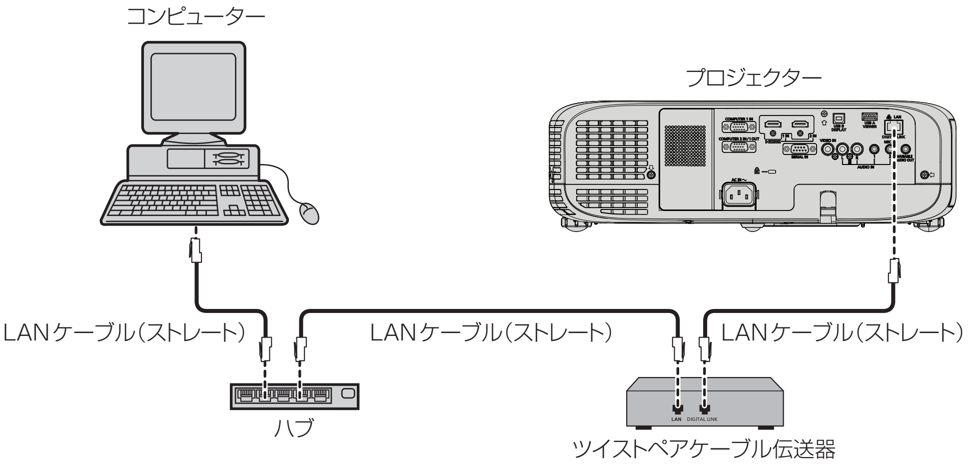
- プロジェクターに直接接続する LAN ケーブルは、屋内だけで配線してください。

お知らせ

- 有線 LAN でネットワーク機能を使用する場合は、LAN ケーブルが必要です。
- LAN ケーブルはカテゴリー 5 以上対応のものをご使用ください。
- LAN ケーブル長は 100 m 以下のものをご使用ください。

ツイストペアケーブル伝送器経由のネットワーク接続例

本機は、ツイストペアケーブル伝送器からのイーサネット信号を映像･音声信号とともに LAN ケーブルを介して受信する機能を備えています。
LAN ケーブルは本機の〈DIGITAL LINK/LAN〉端子に接続します。（☞ 22 ページ）



お知らせ

- ツイストペアケーブル伝送器と本機間の LAN ケーブルは、次の条件に適合したケーブルをお使いください。
  - CAT5e 以上の規格に適合
  - シールドタイプ（コネクターを含む）
  - ストレート結線
  - 単線
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間の伝送可能距離は最長 100 m です。これを上回ると映像や音声が途切れたり、LAN 通信で誤動作したりすることがあります。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間のケーブル敷設時には、ケーブルテスターやケーブルアナライザーなどを使用して、ケーブルの特性が CAT5e 以上の特性を満たしていることをご確認ください。
  途中に中継コネクターを介している場合は、それも含めて測定してください。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間にハブを使用しないでください。
- ケーブルを強い力で引っ張らないでください。また、無理に曲げたり折り畳んだりしないようにしてください。
- ノイズの影響を少なくするため、ツイストペアケーブル伝送器と本機間のケーブルはできるだけ巻かずに引き伸ばした状態で、設置・使用してください。
- ツイストペアケーブル伝送器と本機間のケーブルは、他のケーブル、特に電源ケーブルからは離して敷設してください。
- 複数のケーブルを敷設するときは、束ねないで並走する距離をできるだけ短くしてください。
- ケーブル敷設後にメニューの［ネットワーク /USB］→［DIGITAL LINK ステータス］で［信号品質］の数値が、正常な品質を示す緑色で表示されることを確認してください。（☞ 86 ページ）
- 本機で動作確認済みの他社製ツイストペアケーブル伝送器については、弊社 WEB サイト（http://panasonic.biz/projector/）をご覧ください。他社製機器の動作確認は、弊社確認項目について実施したものであり、すべての動作を保証するものではありません。他社製機器に起因する操作や性能上の不具合などについては、各メーカーにお問い合わせください。

本機の設定

1)　本機とコンピューターを LAN ケーブル（ストレート）で接続する

2)　本機の電源を入れる

3)　〈MENU〉ボタンで［ネットワーク /USB］メニューを開き、［有線 LAN］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

4)　［有線 LAN］の設定を行う

- 詳細については“有線 LAN”（☞ 86 ページ）をご覧ください。

お知らせ

- 既存のネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者に確認してから行ってください。
- 工場出荷時には、あらかじめ次の設定がされています。

[DHCP]	オフ
[IP アドレス]	192.168.10.100
[サブネットマスク]	255.255.255.0
[デフォルトゲートウェイ]	192.168.10.1
[DNS1] / [DNS2]	無し

コンピューターの設定

1)　コンピューターの電源を入れる

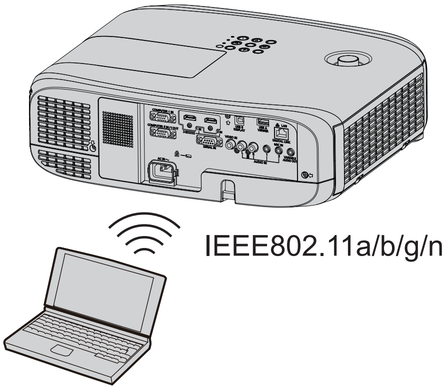
2)　ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う

- 本機の設定が工場出荷の状態であれば、コンピューター側のネットワーク設定を以下のようにすると、そのままお使いになれます。

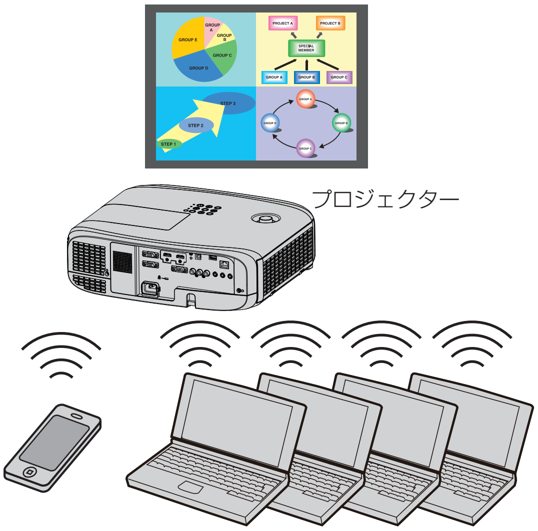
[IP アドレス]	192.168.10.101
[サブネットマスク]	255.255.255.0
[デフォルトゲートウェイ]	192.168.10.1

無線 LAN で接続する場合

接続例



画像転送時の接続例

	Miracast	画像転送アプリケーションソフトウェア
接続イメージ	（例）著作権保護コンテンツの表示 Miracast 対応機器	（例）マルチ画面表示  当社の画像転送用のアプリケーションソフトウェアをインストールした iPad / iPhone / iPod touch、Android 端末、コンピューター
入力	Miracast	Panasonic APPLICATION
通信方式	IEEE802.11a/n	IEEE802.11b/g/n
接続方式	WPS + Wi-Fi Direct	Panasonic 独自方式 + ユーザー接続
映像伝送方式	Miracast	Panasonic 独自方式

本機の設定

1)　本機の電源を入れる

2)　〈MENU〉ボタンで［ネットワーク /USB］メニューを開き、〈ENTER〉ボタンを押す

3)　▲▼ ボタンで［無線 LAN］を選択する

4)　◀▶ ボタンで［シンプル］または［ノーマル］を選択する

5)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［無線 LAN］画面が表示されます。

6)　［無線 LAN 詳細設定］を参照して、手順 4）で選択したネットワーク番号の設定を行う

- 詳細については、“無線 LAN 詳細設定”（☞ 88 ページ）を参照してください。

お知らせ

- 無線 LAN と有線 LAN を同一セグメントで使用することはできません。
- 複数の機器と接続する場合は IP アドレスが重複しないように設定する必要があります。
- SSID は、半角英数で入力してください。
- SSID には『any』または『ANY』を設定することはできません。
- Miracast 接続時は本設定は必要ありません。詳しくは、“Miracast 機能について”（☞ 121 ページ）をご覧ください。
- 工場出荷時には、あらかじめ次の設定がされています。

［シンプル］

［キー］	proj ＋ネットワーク ID の下 4 桁の数字

［ノーマル］→［M-DIRECT］

［IP アドレス］	192.168.12.100
［サブネットマスク］	255.255.255.0
［SSID］	M-DIRECT+ ネットワーク ID の下 4 桁の数字
［チャンネル］	1
［キー］	SSID と同じ文字列

［ノーマル］→［USER1］/［USER2］/［USER3］

［SSID］	Panasonic Projector
［DHCP］	オフ
［IP アドレス］	192.168.11.100
［サブネットマスク］	255.255.255.0
［デフォルトゲートウェイ］	192.168.11.1
［認証］	オープン
［暗号化］	無し
［DNS1］/［DNS2］	無し

コンピューターの設定

1)　コンピューターの電源を入れる

2)　ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行う

- 本機側の設定が [M-DIRECT] の場合、コンピューター側のネットワーク設定を「IP アドレスを自動的に取得する」に設定します。
- 本機側の設定が［USER1］～［USER3］の場合、ネットワーク管理者の指示に従って、コンピューターと本機の各ネットワーク項目の設定を行ってください。

3)　本機に設定されているネットワークに接続する

- Windows コンピューターの場合、タスクトレイ（コンピューター画面の右下）の をクリックして、本機の設定が［M-DIRECT］の場合、本機に設定されている SSID と同じ名前を選択してください。本機の設定が［USER1］～［USER3］の場合、お使いのアクセスポイントの SSID と同じ名前を選択してください。

  Mac の場合、メニューバー（コンピューター画面の右上）の をクリックして、本機に設定されている SSID と同じ名前を選択してください。
- 本機の設定が [M-DIRECT] で工場出荷時状態の場合、［SSID］は［M-DIRECT ＋ネットワーク ID の下 4 桁の数字］です。

お知らせ

- OS 標準の無線 LAN 接続ユーティリティーを使用する場合は、使用するユーティリティーの操作手順に従って接続してください。

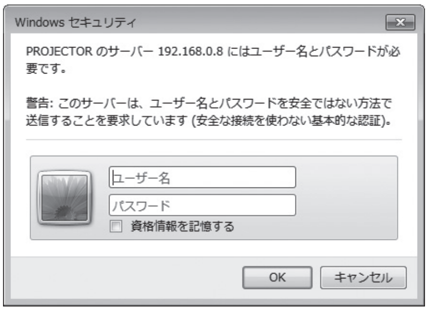
WEB ブラウザーからのアクセスのしかた

1)　コンピューターの WEB ブラウザーを起動する

2)　WEB ブラウザーの URL 入力欄に本機で設定した IP アドレスを入力する

3)　ユーザー名とパスワードを入力する

- 工場出荷時の設定は、ユーザー名：user1（ユーザー権限）/admin1（アドミニストレーター権限）、パスワード：panasonic（小文字）です。



4)　OK をクリックする

- [プロジェクター情報] ページが表示されます。

お知らせ

- WEB ブラウザーで制御する場合は、[ネットワークコントロール]（☞ 91 ページ）を [オン] に設定してください。
- WEB ブラウザーを同時に複数立ち上げて、設定や制御をすることは避けてください。また、複数台のコンピューターから同一のプロジェクターに対して設定や制御をすることも避けてください。
- 最初にパスワードを変更してください。（☞ 109 ページ）
- アドミニストレーター権限は、全機能を使用できます。ユーザー権限は、[プロジェクター情報]（☞ 100 ページ）、エラー情報ページの確認（☞ 100 ページ）、[ネットワーク情報]（☞ 101 ページ）、[基本制御]（☞ 102 ページ）、[詳細制御]（☞ 102 ページ）、[パスワード変更]（☞ 91 ページ）のみ使用できます。
- パスワードを 3 回続けて間違えると、数分間ロックされます。
- 本機の設定ページには、WEB ブラウザーの Javascript 機能を利用している項目があります。WEB ブラウザーがこの機能を使用していない設定になっている場合には、正常にコントロールできない場合があります。
- WEB 制御の画面が表示されない場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- WEB 制御の画面更新時に、画面が一瞬白くなることがありますが、故障ではありません。

各項目の説明

1　[ページ切り換えタブ]
クリックすると、ページが切り換わります。

2　[モニター情報]
この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。

3　[プロジェクターコントロール]
この項目をクリックすると、[プロジェクターコントロール] ページが表示されます。

4　[詳細設定]
この項目をクリックすると、[詳細設定] ページが表示されます。

5　[パスワード変更]
この項目をクリックすると、[パスワード変更] ページが表示されます。

6　[Crestron Connected(TM)]
この項目をクリックすると、Crestron Connected™ の操作ページが表示されます。

[プロジェクター情報] ページ

[モニター情報] → [プロジェクター情報] をクリックします。
以下の項目における本機の状態を表示します。

1　[プロジェクタータイプ]
本機の種類を表示します。

2　[プロジェクター名]
本機に設定されているプロジェクター名を表示します。

3　[メインバージョン]
本機のファームウェアバージョンを表示します。

4　[電源]
電源の状態を表示します。

5　[映像モード]
[映像モード] の状態を表示します。

6　[シリアル番号]
本機のシリアル番号を表示します。

7　[ネットワークバージョン]
ネットワークのファームウェアバージョンを表示します。

8　[AV ミュート]
[AV ミュート] の状態を表示します。

9　[音量]
音量の状態を表示します。

10　[入力選択]
選択している入力の状態を表示します。

11　[吸気温度]
本機の吸気温度状態を表示します。

12　[排気温度]
本機の排気温度状態を表示します。

13　[ランプ使用時間]
ランプの使用時間（換算値）を表示します。

14　[自己診断]
自己診断情報を表示します。

15　[プロジェクター使用時間]
本機の稼働時間を表示します。

エラー情報ページ

[プロジェクター情報] 画面の自己診断情報表示欄に [エラー（詳細表示）] または [警告（詳細表示）] が表示されたとき、その部分をクリックするとエラー / 警告内容が表示されます。

- エラーの内容によっては、プロジェクター保護のためスタンバイ状態になります。

1　自己診断の結果表示
項目のチェック結果を表します。
[OK]：
正常に動作していることを表します。
[FAILED]：
異常が発生していることを表します。
[WARNING]：
警告が発せられていることを表します。

■ 異常発生［FAILED］の項目について

項目	説明
[FAN]	ファンやファン駆動回路に異常があります。販売店にご相談ください。
[FAN(INTAKE1)]	吸気ファン 1 に異常があります。
[FAN(INTAKE2)]	吸気ファン 2 に異常があります。
[FAN(INTAKE3)]	吸気ファン 3 に異常があります。
[FAN(INTAKE4)]	吸気ファン 4 に異常があります。
[FAN(EXHAUST)]	排気ファンに異常があります。
[FAN(LAMP)]	ランプ冷却用ファンに異常があります。
[INTAKE AIR TEMPERATURE]	吸気温度が高くなっています。暖房機器の近くなど、使用環境温度の高い環境で使用している可能性があります。
[EXHAUST AIR TEMPERATURE]	排気温度が高くなっています。排気口がふさがれている可能性があります。
[LAMP REMAIN TIME]	ランプ使用時間が所定の時間を超えており、ランプを交換する時期になっています。
[LAMP STATUS]	ランプ点灯に失敗しています。 ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。
[APERTURE（CONTRAST-SHUTTER)]	アイリス用のコントラストシャッター回路に異常があります。販売店にご相談ください。
[AIR FILTER]	エアフィルターユニットにほこりがたまりすぎています。電源を切り電源プラグをコンセントから抜いて、エアフィルターユニットを交換してください。

［ネットワーク情報］ページ

［モニター情報］→［ネットワーク情報］をクリックします。
現在のネットワークの設定情報が表示されます。

1　[無線 LAN]
無線 LAN の設定内容を表示します。

2　[有線 LAN]
有線 LAN の設定内容を表示します。

[基本制御] ページ

[プロジェクターコントロール] → [基本制御] をクリックします。

1　[入力切換]
入力信号を切り換えます。

2　[音量]
音量を調整します。

3　[映像モード]
映像モードを切り換えます。

4　[AV ミュート]
AV ミュートのオン / オフを切り換えます。

5　[電源]
電源の入 / 切を行います。

6　[クローズドキャプション]
クローズドキャプションのモードを切り換えます。

お知らせ

- メニューの [ネットワーク /USB] → [無線 LAN] (☞ 87 ページ) を [シンプル]、[M-DIRECT] または [S-DIRECT] に設定して無線 LAN 接続で WEB 制御をしている場合、入力を [メモリービューワー] または [Miracast] に切り換えると、無線 LAN 接続が切断されて以降の WEB 制御の操作ができなくなります。

[詳細制御] ページ

[プロジェクターコントロール] → [詳細制御] をクリックします。

1　[画角調整]
映像の位置を調整したり、台形補正を行ったりします。

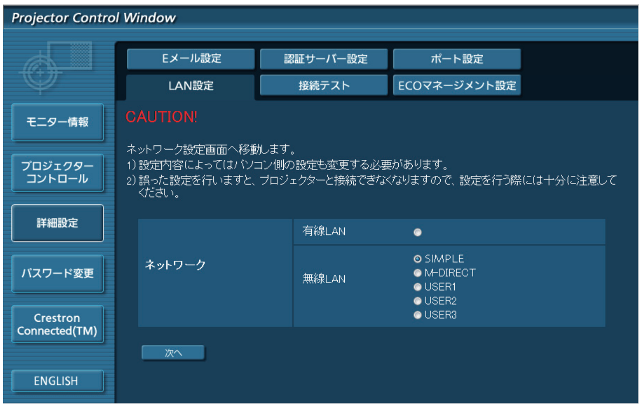
2　[画質調整]
映像の各項目を調整します。

[LAN 設定] ページ

[詳細設定] → [LAN 設定] をクリックします。

1) [LAN 設定] をクリックする

- [CAUTION!] 画面が表示されます。



2) 設定を変更したい項目にチェックを入れ、[次へ] ボタンをクリックする

- 現在の設定内容が表示されます。

3) [変更] ボタンをクリックする

- 設定変更画面が表示されます。

有線 LAN 接続の場合

1　[DHCP オン] / [DHCP オフ]
DHCP クライアント機能を有効にする場合は [DHCP オン] にします。

2　[IP アドレス]
DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。

3　[サブネットマスク]
DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。

4　[デフォルトゲートウェイ]
DHCP サーバーを利用しない場合はデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。

5　[DNS1]
DHCP サーバーを利用しない場合は優先 DNS サーバーアドレスを入力します。
入力使用可能文字：数字（0 ～ 9）、ピリオド（.）
（例：192.168.0.253）

6　[DNS2]
DHCP サーバーを利用しない場合は代替 DNS サーバーアドレスを入力します。
入力使用可能文字：数字（0 ～ 9）、ピリオド（.）
（例：192.168.0.253）

7　[戻る] / [次へ]
[戻る] ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。[次へ] ボタンをクリックすると、設定内容を確認する画面が表示されます。[送信] ボタンをクリックして設定を更新します。

お知らせ

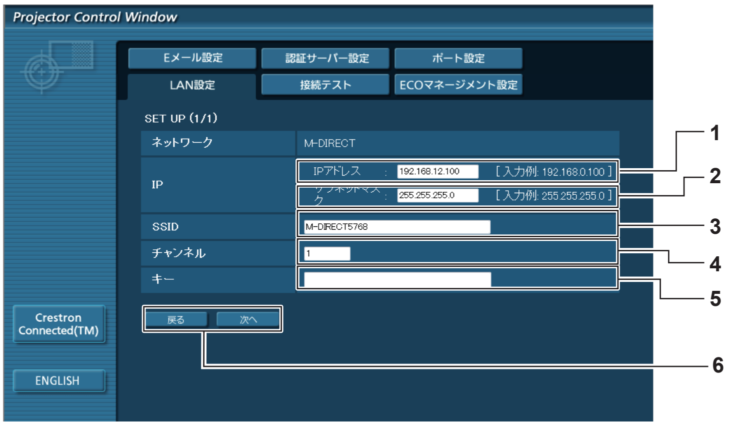
- ブラウザーの「戻る」または「進む」機能を使用した場合、「ページの有効期限切れ」という警告画面が表示されることがあります。その場合、以降の動作は保証されませんので、再度 [LAN 設定] をクリックしてください。
- LAN で接続中に LAN 設定を変更すると、接続が途切れる場合があります。

無線 LAN（SIMPLE）接続の場合

1 ［キー］
SIMPLE で使用するキーを設定します。
8 ～ 15 文字の英数字で入力します。

2 ［戻る］／［次へ］
［戻る］ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。［次へ］ボタンをクリックすると、設定内容を確認する画面が表示されます。［送信］ボタンをクリックして設定を更新します。

無線 LAN（M-DIRECT）接続の場合



1 ［IP アドレス］
IP アドレスを入力します。

2 ［サブネットマスク］
サブネットマスクを入力します。

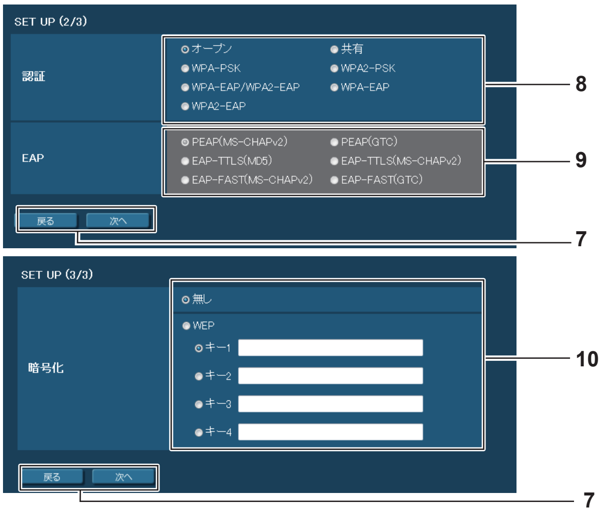
3 ［SSID］
M-DIRECT で使用する SSID を設定します。

4 ［チャンネル］
M-DIRECT で使用するチャンネルを設定します。

5 ［キー］
M-DIRECT で使用するキーを設定します。
8 ～ 63 文字の英数字、または 64 桁の 16 進数で入力します。

6 ［戻る］／［次へ］
［戻る］ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。［次へ］ボタンをクリックすると、設定内容を確認する画面が表示されます。［送信］ボタンをクリックして設定を更新します。

無線 LAN（USER1 ～ USER3）接続の場合



1 [DHCP オン] / [DHCP オフ]
DHCP クライアント機能を有効にする場合は［DHCP オン］にします。

2 [IP アドレス]
DHCP サーバーを利用しない場合は IP アドレスを入力します。

3 [サブネットマスク]
DHCP サーバーを利用しない場合はサブネットマスクを入力します。

4 [デフォルトゲートウェイ]
DHCP サーバーを利用しない場合はデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。

5 [DNS1] / [DNS2]
DHCP サーバーを利用しない場合は優先 DNS/ 代替 DNS サーバーアドレスを入力します。

6 [SSID]
アクセスポイントに登録されている SSID と同じ文字列を入力します。

7 [戻る] / [次へ]
［戻る］ボタンをクリックすると、元の画面に戻ります。［次へ］ボタンをクリックすると、設定内容を確認する画面が表示されます。［送信］ボタンをクリックして設定を更新します。

8 [認証]
接続するネットワークで使用されているユーザー認証方式を選択します。

9 [EAP]
RADIUS サーバーに設定されている EAP を選択します。

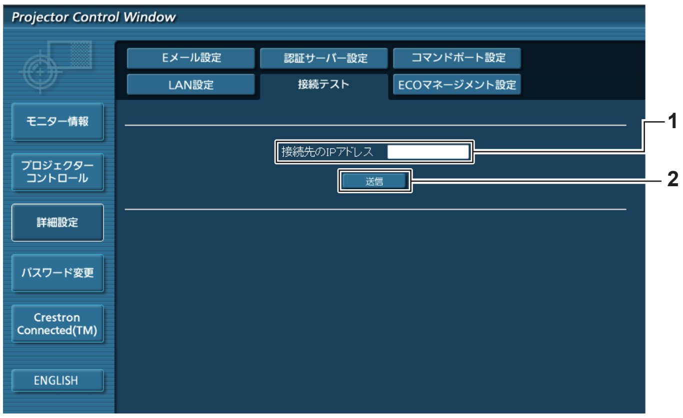
10 [暗号化]
プロジェクターとネットワークの間の通信で使用される暗号化方式を選択します。

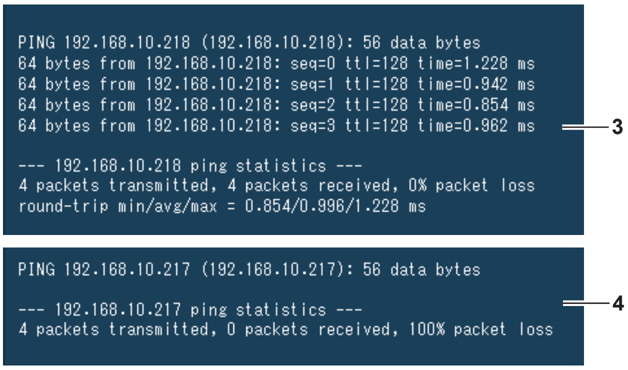
お知らせ

- 接続する無線 LAN の認証方式により設定画面内容が異なります。

[接続テスト] ページ

メールサーバー、POP サーバー、DNS サーバーなどとネットワークが接続しているかを確認できます。
［詳細設定］ → ［接続テスト］をクリックします。





1 [接続先の IP アドレス]
テストするサーバーの IP アドレスを入力します。

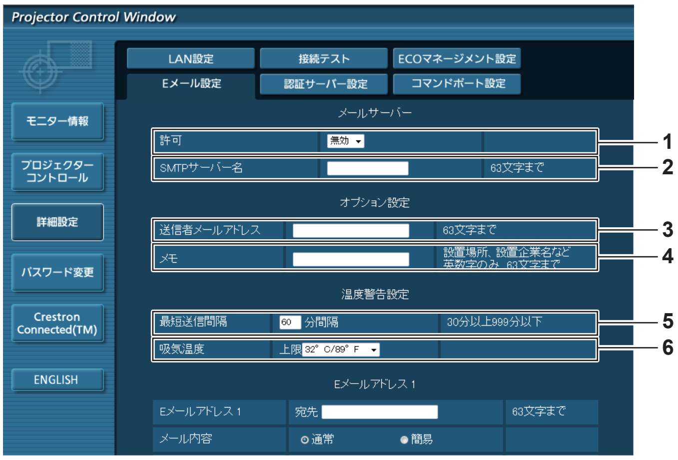
2 [送信]
接続テストを実行します。

3 接続できた場合の表示例

4 接続できなかった場合の表示例

[E メール設定] ページ

異常時やランプの使用時間が設定値になったとき、あらかじめ設定しておいた E メールアドレス（最大 2 か所）にメールを送信できます。
［詳細設定］ → ［E メール設定］をクリックします。



1　[許可]
E メール機能を使用する場合は［有効］を選択してください。

2　[SMTP サーバー名]
E メールサーバー（SMTP）の IP アドレスかサーバー名を入力してください。サーバー名を入力する場合は、DNS サーバーの設定が必要です。

3　[送信者メールアドレス]
プロジェクターの E メールアドレスを入力してください。（半角で 63 文字まで）

4　[メモ]
E メールの発信元がわかりやすいように、プロジェクターの設置場所などを入力できます。（半角で 63 文字まで）

5　[最短送信間隔]
温度警告メールの最短時間間隔を変更できます。初期値は 60 分です。この場合、温度警告メールを送信後 60 分間は、再び告温度になってもメールを送信できません。

6　[吸気温度]
温度警告メール用の設定温度を変更できます。この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。

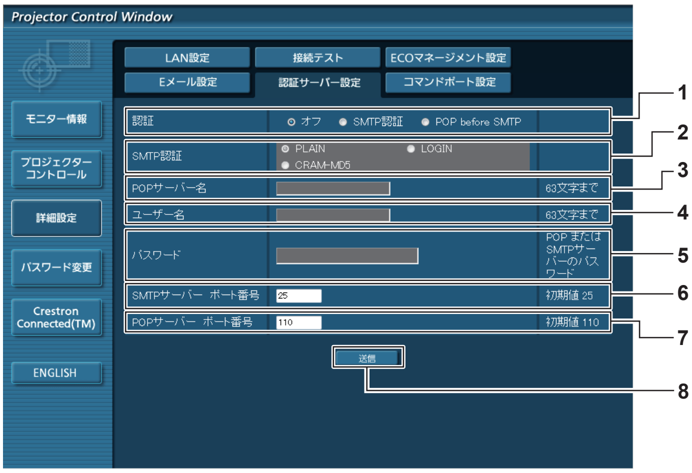
7　[E メールアドレス 1]、[E メールアドレス 2]
送信する宛先の E メールアドレスを入力してください。2 つの E メールアドレスを使わない場合は、[E メールアドレス 2] を未記入にします。

8　E メールを送信する条件の設定
E メールを送信する条件を選択します。
[メール内容]：
［通常］か［簡易］を選択します。
[エラー発生時]：
自己診断でエラーが発生した場合に送信します。
[ランプ使用時間]：
ランプの点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合に送信します。
[吸気温度]：
吸気温度が上欄に設定された値になった場合に送信します。

9　[送信]
設定を更新します。

[認証サーバー設定] ページ

メール送信に POP 認証または SMTP 認証が必要な場合は認証項目を設定します。
［詳細設定］ → ［認証サーバー設定］をクリックします。



1　［認証］
インターネットプロバイダー側が指示する認証方式を選択します。

2　［SMTP 認証］
SMTP 認証を選択した場合に設定します。

3　［POP サーバー名］
POP サーバー名を入力します。
使用可能文字：
英数字（A ～ Z、a ～ z、0 ～ 9）
マイナス記号（-）ピリオド（.）

4　［ユーザー名］
POP サーバーまたは SMTP サーバーのユーザー名を入力します。

5　［パスワード］
POP サーバーまたは SMTP サーバーのパスワードを入力します。

6　［SMTP サーバー ポート番号］
SMTP サーバーのポート番号を入力します。
（通常は 25 番です）

7　［POP サーバー ポート番号］
POP サーバーのポート番号を入力します。
（通常は 110 番です）

8　［送信］
設定を更新します。

送信するメール内容

E メール設定時のメール送信例

E メール設定を行ったときはこのようなメールを発信します。

```
=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type           : PT-VX605N
Serial No                : SH1234567
-----  E-mail setup data -----
TEMPERATURE WARNING SETUP
MINIMUM TIME             at [ 60] minutes interval
INTAKE AIR TEMPERATURE   Over [ 32degC / 89degF ]

ERROR                    [ OFF ]
LAMP RUNTIME             [ OFF ]   at REMAIN [ 400] H
LAMP RUNTIME             [ OFF ]   at REMAIN [ 200] H
INTAKE AIR TEMPERATURE   [ OFF ]

-----  check system -----
FAN                            [   OK   ]
INTAKE AIR TEMPERATURE         [   OK   ]
EXHAUST AIR TEMPERATURE        [   OK   ]
LAMP REMAIN TIME               [   OK   ]
LAMP STATUS                    [   OK   ]
APERTURE (CONTRAST-SHUTTER)    [   OK   ]
AIR FILTER                     [   OK   ]

(Error code 00 00 00 00 00 00 00 00)

Intake air temperature     : 31 degC /  87 degF
Exhaust air temperature    : 37 degC /  98 degF

PROJECTOR RUNTIME      800 H

LAMP  ECO              500 H
LAMP  NORMAL           100 H
LAMP  REMAIN          3400 H

-------- Current status ---------
MAIN VERSION         1.00
NETWORK VERSION      1.00
SUB VERSION          1.00
LAMP STATUS          LAMP=ON
INPUT                RGB
SIGNAL NAME          XGA6
SIGNAL FREQUENCY     0.00kHz / 0.00Hz

----- Wired Network configuration -----
DHCP Client  OFF
IP address   192.168.10.100
MAC address  04:20:9A:00:00:00

----- Wireless Network configuration -----
DHCP Client  OFF
IP address   192.168.0.100
MAC address  04:20:9A:00:00:00

----- Memo -----
```

エラー時のメール送信例

エラーになったときはこのようなメールを発信します。

```
=== Panasonic projector report(CONFIGURE) ===
Projector Type              : PT-VX605N
Serial No                   : SH1234567
-----  check system -----
FAN                                [    OK    ]
INTAKE AIR TEMPERATURE             [    OK    ]
EXHAUST AIR TEMPERATURE            [    OK    ]
LAMP REMAIN TIME                   [    OK    ]
LAMP STATUS                        [    OK    ]
APERTURE (CONTRAST-SHUTTER)        [    OK    ]
AIR FILTER                         [ FAILED ]

(Error code 00 00 00 20 00 00 00 00)

Intake air temperature      : 31 degC /  87 degF
Exhaust air temperature     : 37 degC /  98 degF

PROJECTOR RUNTIME       800 H

LAMP  ECO               500 H
LAMP  NORMAL            100 H
LAMP  REMAIN           3400 H

-------- Current status ---------
MAIN VERSION          1.00
NETWORK VERSION       1.00
SUB VERSION           1.00
LAMP STATUS           LAMP=ON
INPUT                 RGB

----- Wired Network configuration -----
DHCP Client   OFF
IP address    192.168.10.100
MAC address   04:20:9A:00:00:00

----- Wireless Network configuration -----
DHCP Client   OFF
IP address    192.168.0.100
MAC address   04:20:9A:00:00:00

----- Memo -----
```

[コマンドポート設定] ページ

コマンドコントロールで使用するポート番号を設定してください。
[詳細設定] → [コマンドポート設定] をクリックします。

1　[コマンドポート]
コマンド制御で使用するポート番号を入力します。

2　[コマンドポートのセット]
設定を更新します。

[ECO マネージジメント設定] ページ

プロジェクターの ECO マネージジメント機能に関する設定を行うことができます。
[詳細設定] → [ECO マネージジメント設定] をクリックします。

1 [ランプパワー]
[ランプパワー] の設定を選択します。

2 [省エネ設定]
[環境照度連動]、[無信号連動]、[AV ミュート連動] の設定を行う場合は [オン] にします。

3 [環境照度連動]
環境照度連動機能の有効([オン])/ 無効([オフ])を選択します。

4 [無信号連動]
無信号連動機能の有効 ([オン]) / 無効 ([オフ]) を選択します。

5 [AV ミュート連動]
AV ミュート連動機能の有効 ([オン]) / 無効 ([オフ]) を選択します。

6 [パワーマネージメント]
[パワーマネージメント] の設定を選択します。

7 [タイマー]
パワーマネージメント機能を使用する場合、ランプを消すまでの時間を選択します。

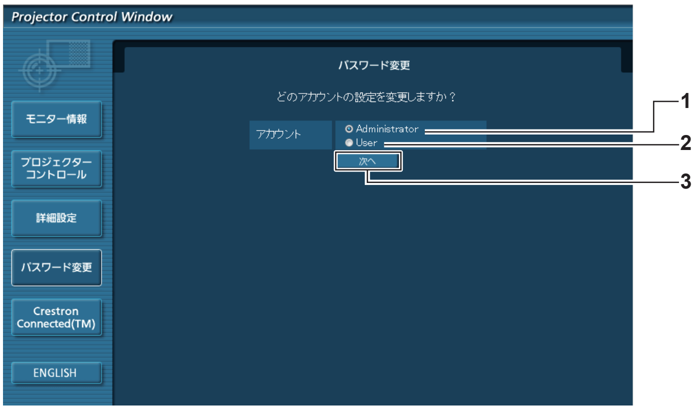
8 [送信]
設定を更新します。

お知らせ

- [ECO マネージジメント設定] ページの各種設定など詳細については、メニューの [プロジェクター設定] → [ECO マネージジメント] (☞ 76 ページ) をご覧ください。

[パスワード変更] ページ

[パスワード変更] をクリックします。

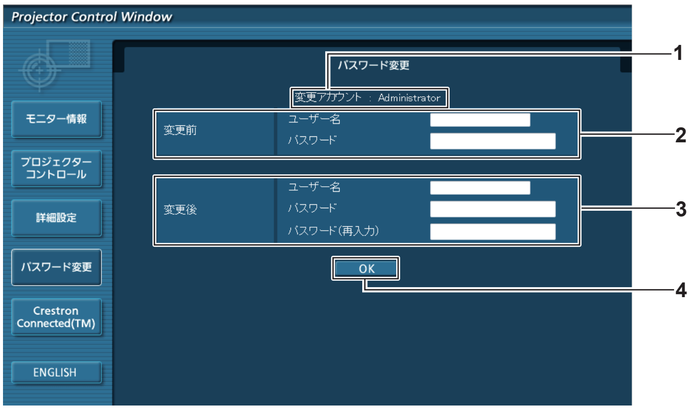


1 [Administrator]
[Administrator] (アドミニストレーター) の設定を変更する場合に選択します。

2 [User]
[User] (ユーザー) の設定を変更する場合に選択します。

3 [次へ]
パスワードの設定を変更する画面を表示します。

[Administrator]（アドミニストレーター）について



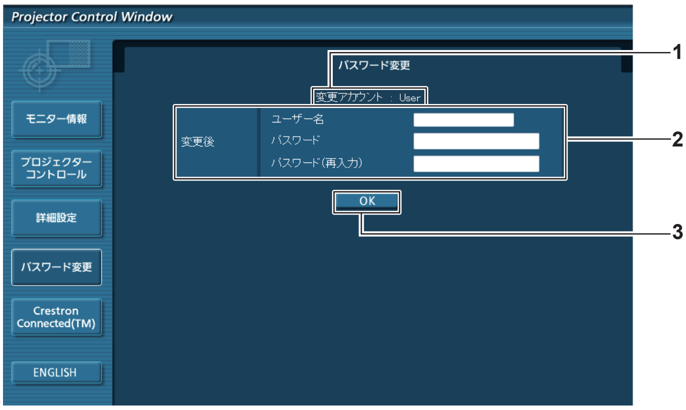
1　**[変更アカウント]**
変更するアカウントが表示されます。

2　**[変更前]**
[ユーザー名]
変更前のユーザー名を入力します。
[パスワード]
変更前のパスワードを入力します。

3　**[変更後]**
[ユーザー名]
変更後のユーザー名を入力します。
（半角で 16 文字まで）
[パスワード]
変更後のパスワードを入力します。
（半角で 16 文字まで）
[パスワード（再入力)]
変更後のパスワードを再度入力します。

4　**[OK]**
パスワードの変更を確定します。

[User]（ユーザー）について



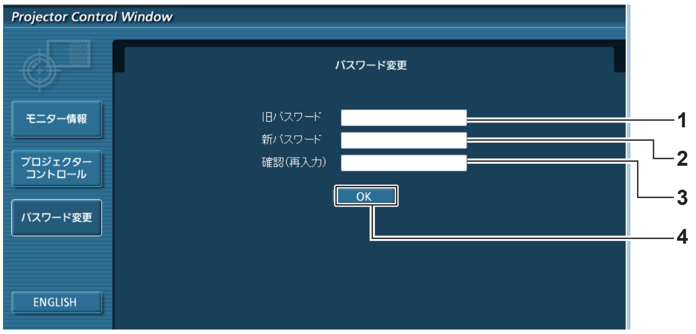
1　**[変更アカウント]**
変更するアカウントが表示されます。

2　**[変更後]**
[ユーザー名]
変更後のユーザー名を入力します。（半角で 16 文字まで）
[パスワード]
変更後のパスワードを入力します。（半角で 16 文字まで）
[パスワード（再入力)]
変更後のパスワードを再度入力します。

3　**[OK]**
パスワードの変更を確定します。

［パスワード変更］（ユーザー権限でアクセスした場合）

ユーザー権限時はパスワードの変更のみ有効です。



1　［旧パスワード］
変更前のパスワードを入力します。

2　［新パスワード］
変更後のパスワードを入力します。（半角で 16 文字まで）

3　［確認（再入力）］
変更後のパスワードを再度入力します。

4　［OK］
パスワードの変更を確定します。

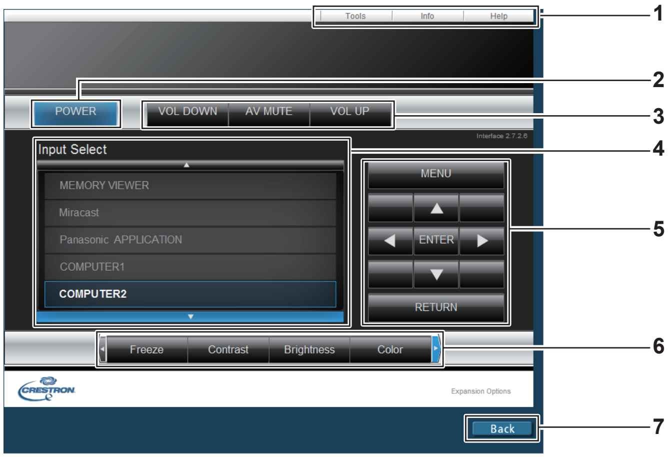
お知らせ

- アドミニストレーターのアカウントを変更する場合は、［変更前］の［ユーザー名］と［パスワード］の入力が必要です。

［Crestron Conneted(TM)］ページ

Crestron Connected™ でプロジェクターの監視 / 制御を行うことができます。
WEB 制御画面からCrestron Connected™ の操作ページを起動するには､アドミニストレーター権限でアクセスする必要があります。（ユーザー権限では、WEB 制御画面に［Crestron Connected(TM)］ボタンが表示されません。）
［Crestron Connected(TM)］をクリックすると、Crestron Connected™ の操作ページが表示されます。
ご使用のコンピューターに Adobe® Flash® Player がインストールされていない場合、もしくは Flash に対応していないブラウザーでは表示されません。その場合、操作ページの［Back］をクリックして前のページに戻ってください。

操作ページ



1　［Tools］［Info］［Help］
プロジェクターの設定 / 情報 / ヘルプページに切り換えるタブです。

2　［POWER］
電源の切 / 入を行います。

3　［VOL DOWN］［AV MUTE］［VOL UP］
音量を調整します。
AV ミュートのオン / オフを切り換えます。

4　［Input Select］
入力切り換えの操作をします。
プロジェクターの電源が切れている場合、操作はできません。

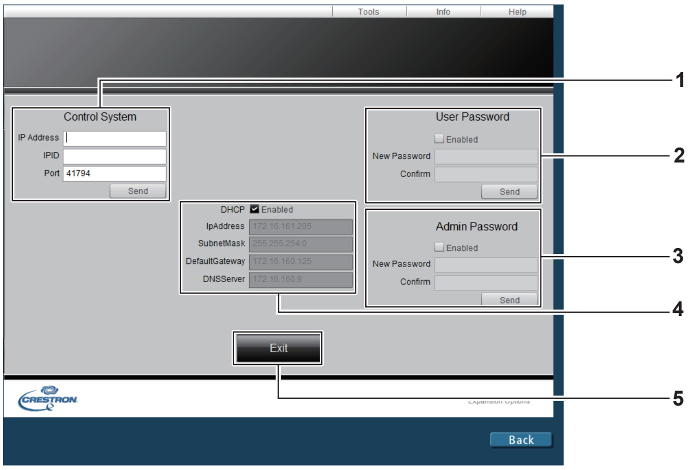
5　メニュー画面の操作ボタン
メニュー画面の操作をします。

6　フリーズ / 画質調整
フリーズ / 画質に関する項目の操作をします。

7　［Back］
前のページへ戻る操作をします。

[Tools] ページ

操作ページで［Tools］をクリックします。



1 [Control System]
プロジェクターに接続するコントローラーとの通信に必要な情報を設定します。

2 [User Password]
Crestron Connected™ の操作ページ内でのユーザー権限パスワードを設定します。

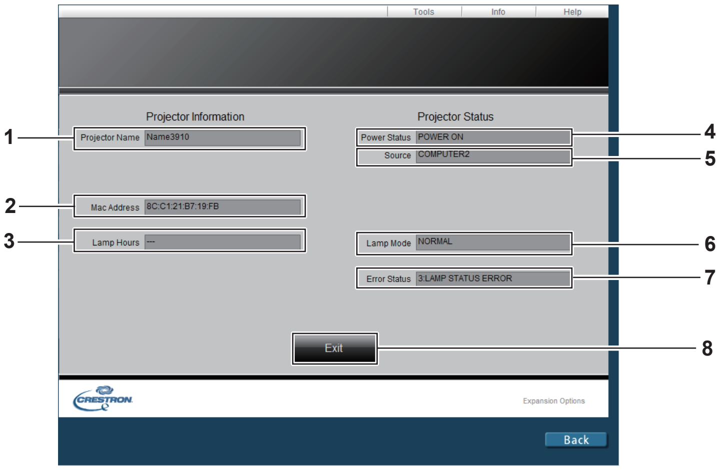
3 [Admin Password]
Crestron Connected™ の操作ページ内でのアドミニストレーター権限パスワードを設定します。

4 ネットワークステータス
有線 LAN の設定内容を表示します。
[DHCP]
現在設定している値を表示します。
[Ip Address]
現在設定している値を表示します。
[Subnet Mask]
現在設定している値を表示します。
[Default Gateway]
現在設定している値を表示します。
[DNS Server]
現在設定している値を表示します。

5 [Exit]
操作ページに戻ります。

[Info] ページ

操作ページで［Info］をクリックします。



1 [Projector Name]
プロジェクター名を表示します。

2 [Mac Address]
MAC アドレスを表示します。

3 [Lamp Hours]
ランプの使用時間（換算値）を表示します。

4 [Power Status]
電源の状態を表示します。

5 [Source]
選択している入力を表示します。

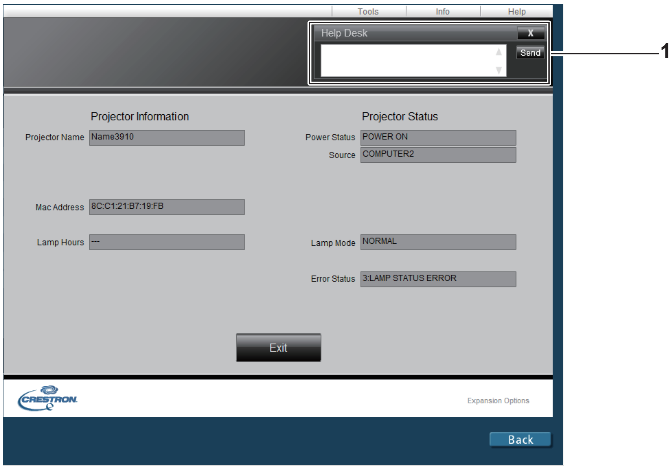
6 [Lamp Mode]
［ランプパワー］（☞ 75 ページ）を表示します。

7 [Error Status]
エラーの状態を表示します。

8 [Exit]
操作ページに戻ります。

［Help］ページ

操作ページで［Help］をクリックします。
［Help Desk］ウィンドウが表示されます。



1　［Help Desk］
Crestron Connected™ を利用する管理者とのメッセージの送受信ができます。

第 5 章　機能の操作

各種機能の使い方について説明しています。

メモリービューワー機能について

メモリービューワーは、USB メモリーに記録されている静止画または動画を投写する機能です。

メモリービューワー機能で投写できる画像

メモリービューワー機能では、以下の画像ファイルを再生できます。

<table>
<tr><th></th><th>拡張子</th><th>映像圧縮コーデック</th><th>音声圧縮コーデック</th><th>映像フォーマット</th><th>音声フォーマット</th></tr>
<tr><td rowspan="5">動画</td><td>mov</td><td>H.264/AVC
MotionJpeg</td><td>AAC
リニア PCM</td><td rowspan="5">最大：1 920 x 1 080/30 fps</td><td rowspan="5">最大：48 kHz 2 ch
(リニア PCM の場合は、16 kHz ステレオ まで)</td></tr>
<tr><td>avi</td><td>H.264/AVC
MotionJpeg
Mpeg4</td><td>mp3
AAC
リニア PCM</td></tr>
<tr><td>mp4</td><td>H.264/AVC
Mpeg4</td><td>AAC
Mpeg4 AAC-LC</td></tr>
<tr><td>mpg / mpeg</td><td>Mpeg2</td><td>Mpeg1 Layer2</td></tr>
<tr><td>wmv</td><td>WMV9</td><td>WMA</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th rowspan="3">静止画</th><th>拡張子</th><th>フォーマット</th></tr>
<tr><td>jpg / jpeg</td><td>最大解像度：8 000 x 8 000</td></tr>
<tr><td>bmp</td><td>最大解像度：2 000 x 2 000
1, 4, 8, 16, 24, 32 bit 対応</td></tr>
</table>

お知らせ

- 再生できるファイルのサイズは最大 2 GB です。
  本機で認識できるフォルダー / ファイルの数は、合計で 1 000 までです。フォルダー / ファイルの合計数が 1 001 以上の場合は、エラー画面が表示されます。
- 対応フォーマットのファイルでも再生できない場合があります。

USB メモリー使用上のお願い

次のことをお守りください。
- USB メモリーを幼い子供の手が届く場所に保管しない。誤って口に入れると窒息するおそれがあります。
- 発煙や異臭を察知した場合は、本機から取り外して、製造元に連絡してください。
- USB メモリーに水、薬品、石油製品などをこぼさない。短絡または火災の原因になります。
- USB 端子部分に異物や金属品を入れない。静電気による保存データの損失または破壊の原因になります。
- USB メモリーがデータを読み出していたり、書き込んでいる間は、コンピューターや本機から無理に取り外さないでください。データの損失または破壊の原因になります。
- 高温多湿、粉塵、磁場を避けて、USB メモリーを保管してください。

お知らせ

- 市販の USB メモリーに対応しています。
- FAT16 または FAT32 でフォーマットしたもの以外は使用できません。

USB メモリーを挿入する

1) 〈USB A (VIEWER)〉端子に USB メモリーをしっかりと挿入する

お願い

- USB メモリーを挿入する際は、プラグの方向を確認して、端子を傷めないように注意してください。

USB メモリーを取り外す

1) USB メモリーが点滅していないことを確認し、取り外す

お願い

- USB メモリーを取り外すときは以下の点に注意してください。
  - 挿入した USB メモリーのモニターが点滅しているときは、本機がデータを読み出していること示します。点滅中は USB メモリーを取り外さないでください。
  - USB メモリーがインジケーターなどのモニター機能がない場合は、データの読み出し状況が把握できません。そのため、メモリービューワーを閉じるか、または本機の電源を切ってから、取り外してください。

- USB メモリーの挿入と取り外しを短時間で行わないでください。挿入してから少なくとも 5 秒待ってから、USB メモリーを取り外し、再び挿入する場合は、少なくとも 5 秒待ってから、挿入してください。本機が USB メモリーの挿入と取り外しの切り換わりを認識するには約 5 秒を要します。

お知らせ

- USB メモリーは、本機の電源が入っているときでも切れているときでも、挿入したり、取り外したりできます。

メモリービューワー画面を表示する

1) 静止画または動画ファイルが記録されている USB メモリーを〈USB A (VIEWER)〉端子に挿入する

- USB メモリーの取り扱いについては、“USB メモリー使用上のお願い”（☞ 115 ページ）をご覧ください。

2) 〈MEMORY VIEWER〉ボタンを押す

- メモリービューワー画面（サムネイル形式またはリスト形式）が投写されます。
- カーソルは、画面右のサムネイル表示領域またはリスト表示領域にあります。（カーソル背景色：黄）

サムネイル形式での表示例

リスト形式での表示例

お知らせ

- メモリービューワー画面の表示方法（サムネイル形式またはリスト形式での表示）は、メニューの［メモリービューワー］→［表示切換］（☞ 93 ページ）で設定できます。

メモリービューワー画面を操作する

メモリービューワー画面表示後の画面操作の例を説明します。

サムネイル形式の場合

1) 〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押す

- カーソルが、画面右のサムネイル表示領域から画面左上のフォルダーリストに移ります。（背景色：オレンジ）

2) ▲▼ ボタンでフォルダーを選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 下位階層のフォルダーがある場合、画面左上のフォルダーリスト内に展開表示されます。
- 選択中のフォルダー（カーソル位置）は、オレンジの背景色で表示されます。

3) ▲▼◀▶ ボタンでファイルを選択する

- 画面左下のインフォメーション領域に、静止画または動画ファイルの情報が表示されます。

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 全画面表示で再生を開始します。
- 再生手順の詳細については、“静止画を再生する”（☞ 117 ページ）または“動画を再生する”（☞ 118 ページ）をご覧ください。

5) 〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押して再生を終了する

- 全画面表示を終了し、メモリービューワー画面（サムネイル形式）が表示されます。
- 引き続き別のファイルを再生する場合は、手順 1) ～ 4) の操作を行ってください。

お知らせ

- メモリービューワー画面表示中、〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押すごとに、フォルダーリストとサムネイル表示領域またはリスト表示領域の間でカーソルが移動します。
- サムネイルの表示順序は、メニューの［メモリービューワー］→［ファイル表示ソート］（☞ 93 ページ）の設定に従います。

リスト形式の場合

1) 〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押す

- カーソルが、画面右のリスト表示領域から画面左上のフォルダーリストに移ります。（背景色：オレンジ）

2) ▲▼ ボタンでフォルダーを選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 画面左上のフォルダーリスト内に、下位階層のフォルダーが展開表示されます。
- 選択中のフォルダー（カーソル位置）は、オレンジの背景色で表示されます。

3) ▲▼ ボタンでファイルを選択する

- 画面左下の領域に、選択中の静止画または動画ファイルのサムネイルが表示されます。

4) 〈ENTER〉ボタンを押す

- 全画面表示で再生を開始します。
- 再生手順の詳細については、“静止画を再生する”（☞ 117 ページ）または“動画を再生する”（☞ 118 ページ）をご覧ください。

5) 〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押して再生を終了する

- 全画面表示を終了し、メモリービューワー画面（リスト形式）が表示されます。
- 引き続き別のファイルを再生する場合は、手順 1) ～ 4) の操作を行ってください。

お知らせ

- メモリービューワー画面表示中、〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押すごとに、フォルダーリストとサムネイル表示領域またはリスト表示領域の間でカーソルが移動します。
- リストの表示順序は、メニューの［メモリービューワー］→［ファイル表示ソート］（☞ 93 ページ）の設定に従います。

静止画を再生する

サムネイル形式のメモリービューワー画面での操作を例に手順を説明します。
リスト形式のメモリービューワー画面の場合も、ファイルの選択操作以外は同じ手順で再生することができます。

操作ガイド

自動再生中（静止画）の表示例

自動再生が有効の場合

メニューの［メモリービューワー］→［自動再生］（☞ 93 ページ）を［オン］に設定している場合の操作方法について説明します。
この場合、同一フォルダー内のすべての静止画ファイルを、メニューの［メモリービューワー］（☞ 93 ページ）→［自動再生間隔］、［画面切り換わり効果］の設定に従って自動再生します。

1) ▲▼◀▶ ボタンで、最初に投写したいファイルをサムネイルの中から選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 全画面表示で再生を開始します。
- 再生中に〈ENTER〉ボタンを押すと、自動再生を一時停止します。もう一度押すと、自動再生を再開します。
- 再生が終了すると、次のファイルの再生を開始します。
- 再生中に ▶ ボタンを押すと、再生中のファイルを飛び越して次のファイルから自動再生を続けます。
- 再生中に ◀ ボタンを押すと、1 つ前のファイルに戻って自動再生を続けます。
- 再生中に ▲ ボタンを押すと、アスペクト比を維持したまま画像が時計方向に 90° 回転します。
- 再生中に ▼ ボタンを押すと、アスペクト比を維持したまま画像が反時計方向に 90° 回転します。

2) 〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押す

- 自動再生を終了し、メモリービューワー画面（サムネイル形式）に戻ります。

自動再生が無効の場合

メニューの［メモリービューワー］→［自動再生］（☞ 93 ページ）を［オフ］に設定している場合の操作方法について説明します。
この場合、投写したいファイルを一つ一つ選んで再生します。

1) ▲▼◀▶ ボタンでサムネイルの中からファイルを選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 該当の静止画が全画面表示で再生されます。
- ▶ ボタンを押すと、次のファイルを再生します。
- ◀ ボタンを押すと、1 つ前のファイルを再生します。

2) 〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押す

- 全画面表示を終了し、サムネイル形式のメモリービューワー画面に戻ります。

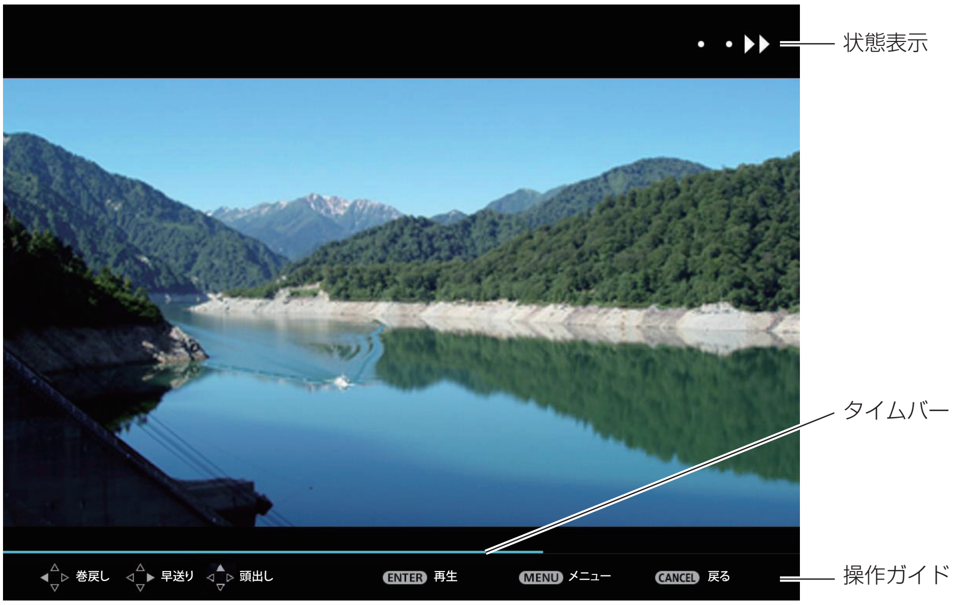
お知らせ

- 記録画素数が表示ドット数 *[1] よりも小さい場合は、アスペクト比を維持したまま拡大表示されます。
- 記録画素数が表示ドット数 *[1] よりも大きい場合は、アスペクト比を維持したまま縮小表示されます。
- 再生の順序は、メニューの［メモリービューワー］→［ファイル表示ソート］（☞ 93 ページ）で設定した表示順序に従います。
  フォルダー内に静止画ファイルと動画ファイルが混在している場合も、［ファイル表示ソート］の設定に従って再生されます。
- 再生画面下部の操作ガイドは、メニューの［メモリービューワー］→［ガイド表示］（☞ 93 ページ）を［オフ］にすることで消すことができます。

*1　PT-VZ575NJ の表示ドット数は 1 920 x 1 200、PT-VW535NJ の表示ドット数は 1 280 x 800、PT-VX605NJ の表示ドット数は 1 024 x 768 です。

動画を再生する

サムネイル形式のメモリービューワー画面での操作を例に手順を説明します。
リスト形式のメモリービューワー画面の場合も、ファイルの選択操作以外は同じ手順で再生することができます。



早送り再生中（10 倍速）の表示例

自動再生が有効の場合

メニューの［メモリービューワー］→［自動再生］（☞ 93 ページ）を［オン］に設定している場合の操作方法について説明します。
この場合、同一フォルダー内のすべての動画ファイルを自動再生します。

1)　▲▼◀▶ ボタンで、最初に投写したいファイルをサムネイルの中から選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 全画面表示で再生を開始します。
- 再生中に〈ENTER〉ボタンを押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと、停止した位置から再生を再開します。
- 再生が終了すると、次のファイルの再生を開始します。
- 再生中に ▶ ボタンを押すと、早送り再生を行います。また、▶ ボタンを押すごとに速度が速くなります。（3 段階）
- 再生中に ◀ ボタンを押すと、巻き戻し再生を行います。また、◀ ボタンを押すごとに速度が速くなります。（3 段階）
- 再生中に ▲ ボタンを押すと、再生中のファイルを最初から再生します。（頭出し再生）
- 一時停止中に ▶ ボタンを押すと、再生中のファイルを飛び越して次のファイルを再生します。
- 一時停止中に ◀ ボタンを押すと、1 つ前のファイルに戻って再生します。

2)　〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押す

- 自動再生を終了し、メモリービューワー画面（サムネイル形式）に戻ります。

自動再生が無効の場合

メニューの［メモリービューワー］→［自動再生］（☞ 93 ページ）を［オフ］に設定している場合の操作方法について説明します。
この場合、投写したいファイルを一つ一つ選んで再生します。

1)　▲▼◀▶ ボタンでサムネイルの中からファイルを選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 全画面表示で再生を開始します。
- 再生中に〈ENTER〉ボタンを押すと、再生を一時停止します。もう一度押すと、停止した位置から再生を再開します。
- 再生が終了すると、そのファイルの最初に戻り、一時停止の状態になります。
- 再生中に ▶ ボタンを押すと、早送り再生を行います。また、▶ ボタンを押すごとに速度が速くなります。（3 段階）
- 再生中に ◀ ボタンを押すと、巻き戻し再生を行います。また、◀ ボタンを押すごとに速度が速くなります。（3 段階）
- 再生中に ▲ ボタンを押すと、再生中のファイルを最初から再生します。（頭出し再生）
- 一時停止中に ▶ ボタンを押すと、再生中のファイルを飛び越して次のファイルを再生します。
- 一時停止中に ◀ ボタンを押すと、1 つ前のファイルに戻って再生します。

2)　〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押す

- 全画面表示を終了し、サムネイル形式のメモリービューワー画面に戻ります。

お知らせ

- 記録画素数が表示ドット数 *[1] よりも小さい場合は、アスペクト比を維持したまま拡大表示されます。
- 記録画素数が表示ドット数 *[1] よりも大きい場合は、アスペクト比を維持したまま縮小表示されます。
- 再生の順序は、メニューの［メモリービューワー］→［ファイル表示ソート］（☞ 93 ページ）で設定した表示順序に従います。
  フォルダー内に静止画ファイルと動画ファイルが混在している場合も、［ファイル表示ソート］の設定に従って再生されます。
- 再生画面下部の操作ガイドのタイムバーは、メニューの［メモリービューワー］→［ガイド表示］（☞ 93 ページ）を［オフ］にすることで消すことができます。

*1　PT-VZ575NJ の表示ドット数は 1 920 x 1 200、PT-VW535NJ の表示ドット数は 1 280 x 800、PT-VX605NJ の表示ドット数は 1 024 x 768 です。
PT-VZ575NJ の場合、動画再生時の最大表示ドット数は 1 920　x 1 080 となります。

レジューム再生について

自動再生が無効（メニューの［メモリービューワー］→［自動再生］（☞ 93 ページ）を［オフ］に設定）の場合、レジューム再生をすることができます。

レジューム再生は、動画再生を途中で停止し、次に同じファイルを再生する際に、前回停止した位置から再生を開始する機能です。

次のような操作を行うと、前回停止した位置から再生を再開します

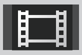
- 動画再生を途中で停止してメモリービューワー画面に戻ったのち、もう一度同じ動画ファイルを選んで再生する場合
- 別の動画ファイルや静止画ファイルを再生したあとに、再び元の動画ファイルを選んで再生する場合

お知らせ

- レジューム情報（動画の再生を途中で停止した際の位置情報）は、再生中に〈ENTER〉ボタンを押して一時停止したり、再生中に〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタンを押して全画面表示を終了したりした時点で自動的に保持されます。
- レジューム情報（動画の再生を途中で停止した際の位置情報）を保持できる動画ファイル数は 50 個です。51 番目の動画ファイルを再生以降、レジューム情報は古いものから順番に破棄されます。
- レジューム再生する場合、前回停止した位置から正確に再生できないことがあります。
- レジューム情報は、入力を［Miracast］や［Panasonic APPLICATION］に切り換えたり、電源コードを抜いたり、USB メモリーを取り外すと、すべて破棄されます。

メモリービューワー画面の説明

メモリービューワー画面のアイコンの意味は次のとおりです。

	上位階層へ移動を表すアイコンです。選択すると上位階層へ移動します。
	下位階層のフォルダー表示用のアイコンです。選択すると下位階層へ移動します。
	ファイルが静止画であることを示すアイコンです。
	ファイルが動画であることを示すアイコンです。
	ファイル名の拡張子は対応しているものですが、展開できないファイルであることを示すアイコンです。
	静止画を反時計方向に９０度回転させます。
	静止画を時計方向に９０度回転させます。
	約 2 倍速で再生しています。（音声付き）
	約 5 倍速で再生しています。
	約 10 倍速で再生しています。
	一時停止します。
	約 2 倍速で巻き戻ししています。
	約 5 倍速で巻き戻ししています。
	約 10 倍速で巻き戻ししています。

Miracast 機能について

Miracast 対応端末と本機を無線 LAN 接続して、端末側の画面を本機で投写する機能です。

Miracast 対応端末と接続する

1)　リモコンの〈Miracast〉ボタンを押す

- 入力が Miracast に切り換わり、Miracast 待ち受け画面が表示されます。
- 本体操作部の〈INPUT SELECT〉ボタンで入力を Miracast に切り換えることもできます。

Miracast 待ち受け画面

2)　Miracast 対応端末、PC から Miracast アプリケーションを起動する

- Miracast 待ち受け画面に表示されている本機のプロジェクター名 / ネットワーク ID/ 無線 LAN の MAC アドレスを確認し、Miracast アプリケーション上で該当の機器名を選択してください。

3)　◀▶ ボタンで、投写画面上の接続端末認証画面の [OK] を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- 接続した端末の画面が表示されます。

お知らせ

- Miracast アプリケーションの名前や起動方法は、機種により異なります。
- Miracast アプリケーションの操作については、お使いの端末の取扱説明書などをご覧ください。

Miracast 対応端末との接続を終了する

端末の Miracast アプリケーションで切断処理を行ってください。切断後は、Miracast 待ち受け画面が投写されます。

端末の電源を切るなど、切断処理を行わずに強制的に接続を切断した場合は、Miracast 待ち受け画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

お知らせ

- Miracast は、Wi-Fi Alliance によって規格化された方式で、著作権保護コンテンツ (HDCP 規格の DVD など) の表示が可能です。
- Miracast 接続しているとき、リモコンの〈VOL-/VOL+〉ボタンで音量の調整はできません。
- メニューの［無線 LAN］（☞ 87 ページ）を［無効］に設定している場合は、Miracast 機能も無効になります。
- ［プロジェクター名］にスペースを使用した場合、Miracast 対応端末の機種によってはスペース以降の文字が表示されないことがあります。

第 6 章　点検とお手入れ

異常時の点検方法とお手入れ / 部品交換の方法について説明しています。

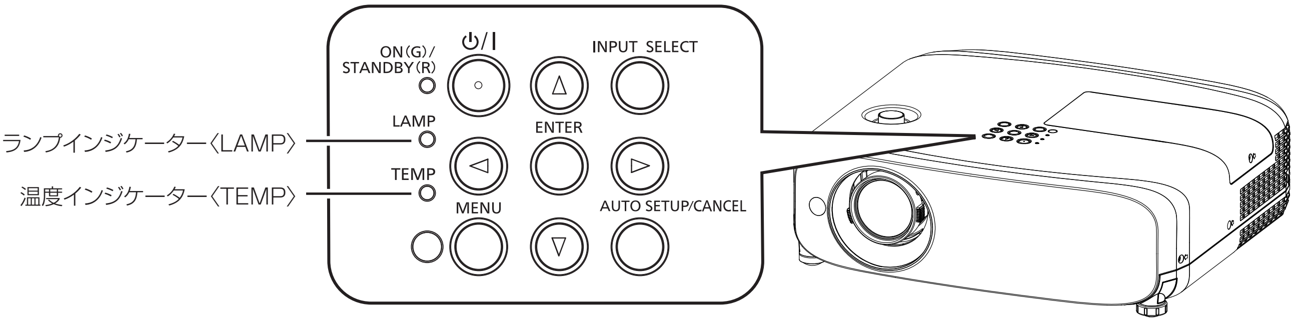
ランプ / 温度インジケーター

インジケーターが点灯したら

本機内部に異常が発生すると、ランプインジケーター〈LAMP〉・温度インジケーター〈TEMP〉が点灯や点滅でお知らせします。インジケーターの状態を調べて、次の処置を行ってください。

お願い

- 処置を行う際に電源を切るときは、“電源を切る”（☞ 39 ページ）の手順を必ずお守りください。



ランプインジケーター〈LAMP〉

点灯状況	赤色点灯	赤色点滅	
状態	ランプユニットの交換時期を表示している（☞ 126 ページ）	ランプまたはランプ用電源の異常を検知している	
お調べください	● 本機の電源を入れたときに［ランプを交換してください。］という表示が出ませんでしたか。 ● ランプユニットの使用時間が5 000 時間（［ランプパワー］を［ノーマル］に設定時）に達すると点灯します。	● 電源を切ってからすぐに電源を入れ直していませんか。	● ランプ回路に異常が発生しています。電源電圧が変動（低下）していませんか。
処置方法	● ランプユニットを交換してください。	● 光源ランプが冷えるまでしばらく待ってから電源を入れてください。	● 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

お知らせ

- 処置をしてもランプインジケーター〈LAMP〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。

温度インジケーター〈TEMP〉

点灯状況	赤色点灯	赤色点滅	赤色点滅（低速）
状態	フィルターが目づまりしている あるいは、内部が高温になっている （警告）	フィルターが目づまりしている あるいは、内部が高温になっている （スタンバイ状態）	本機が異常を検出し、電源を入れることができません。
お調べください	● 吸気口 / 排気口がふさがれていませんか。 ● 気温の高い所で使用していませんか。 ● エアフィルターユニットが汚れていませんか。		―
処置方法	● 吸気口 / 排気口をふさいでいるものを取り除いてください。 ● 周囲温度 0 ℃～ 40 ℃ *1 の場所に設置してください。 ● 海抜 2 700 m 以上の場所では使用しないでください。 ● エアフィルターユニットを交換してください。（☞ 124 ページ）		● 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。

*1　高地（海抜 1 200 m 以上～ 2 700 m 未満）で使用している場合、使用環境温度は 0 ℃～ 30 ℃になります。

お知らせ

- 処置をしても温度インジケーター〈TEMP〉が点灯や点滅する場合は、販売店に修理をご依頼ください。
- メニューで［ランプパワー］を［ノーマル］に設定して本機を使用した場合、使用環境温度が 35 ℃～ 40 ℃になると、プロジェクターを保護するために、［ランプパワー］の設定が強制的に［ECO］になります。

お手入れ / 部品交換

お手入れ / 部品交換の前に

- お手入れや部品交換を行うときは、必ず電源を切ってください。（☞ 39 ページ）
- 電源を切るときは、“電源を切る”（☞ 39 ページ）の手順を必ずお守りください。

お手入れ

外装ケース

汚れやほこりはやわらかい乾いた布でふき取ってください。
- 汚れがひどいときは水にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、または台所用洗剤を使用しないでください。使用すると外装ケースが変質するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

レンズの前面

レンズの前面に付着したごみやほこりは、清潔なやわらかい乾いた布でふき取ってください。
- 毛羽立った布、油分・水分を含んだ布、ほこりの付いた布でふかないでください。
- レンズは傷つきやすい素材のため、強くこすらないでください。

お願い

- レンズはガラス部品です。堅いものに当てたり、強くふいたりすると傷つくおそれがあります。取り扱いにはご注意ください。

部品交換

エアフィルターユニット

エアフィルターユニットの交換の目安は約 7 000 時間ですが、ほこりの多い環境でお使いの場合は、早めの交換をお勧めします。
次の場合はエアフィルターユニットの交換を行ってください。
- エアフィルターユニットがほこりなどによって目づまりし、画面上に［温度警告］メッセージが表示され、温度インジケーター〈TEMP〉が赤色点灯したのち、自動で電源が切れスタンバイ状態になった場合。
- 「フィルターカウンターが設定時間に到達しました」と表示された場合。

交換用のエアフィルターユニット（ET-RFV400）は別売品（サービス部品扱い）です。ご購入の際は販売店にご相談ください。

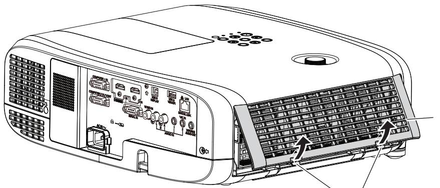
エアフィルターユニットの取り外し方

お願い

- エアフィルターユニットの交換を行う前に、必ず電源を切ってください。
- 必ずプロジェクター本体の安定を確保して、エアフィルターユニットが落下しても安全な場所で実施してください。
- エアフィルターユニットを交換したら、必ず、フィルターカウンターをリセットしてください。
  エアフィルターユニットの交換後、フィルターカウンターをリセットしないと、「フィルターカウンターが設定時間に到達しました」と表示されます。

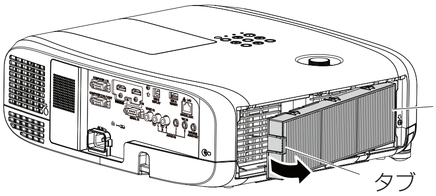
1)　エアフィルターカバーを取り外す

- エアフィルターカバーのタブを図の上方向に押しながら本体のフックから外し、図の矢印方向に開けます。



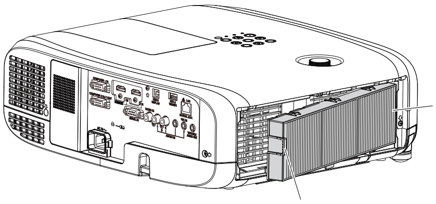
2)　エアフィルターユニットを取り出す

- エアフィルターユニットの左側のタブに指をかけて、図の矢印の方向に開け、取り出します。
- エアフィルターユニットを取り出したあと、本体側エアフィルターユニット収納部および本体側吸気口にごみやほこりがある場合は取り除いてください。



3)　別売品の交換用フィルターユニット（品番：ET-RFV400）をプロジェクター本体に取り付ける

- エアフィルターユニットのタブを図の左側になるように持ち、図の右側から先に入れた後、タブをカチッと音がするまで押し込みます。
- 奥に押し込む際は、フィルターのプリーツ（ひだ）を押さないようご注意ください。



4)　エアフィルターカバーを取り付ける

- 手順 1) と逆の手順でエアフィルターカバーを閉じ、カチッと音がするまでしっかりと押し込みます。
- エアフィルターカバーが隙間なく閉まっていることを確認します。

5)　電源プラグをコンセントに差し込んで、本体操作部またはリモコンの電源〈⏻/|〉ボタンを押して電源を入れる

6)　〈MENU〉ボタンを押してメニュー画面を表示させ、▲▼ボタンで［プロジェクター設定］を選択する

7)　〈ENTER〉ボタンを押し、▲▼ボタンで［フィルターカウンター］の項目を選択する

8)　〈ENTER〉ボタンを押し、▲▼ボタンで［フィルターカウンターリセット］の項目を選択する

9)　〈ENTER〉ボタンを押す

- ［フィルターカウンターリセット］確認メッセージが表示されます。

10) ◀▶ボタンで［はい］を選択し、〈ENTER〉ボタンを押す

- フィルターの使用時間が 0 にリセットされます。

お願い

- プロジェクターを使用するときは、必ずエアフィルターユニットを取り付けてください。取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因になります。
- 吸気口の穴から物などを差し込まないでください。故障の原因になります。
- エアフィルターユニットは必ず未使用品と交換してください。

お知らせ

- エアフィルターユニットの交換サイクルは、使用環境によって大きく異なります。

ランプユニット

ランプユニットは消耗部品です。交換時期については、“ランプユニットの交換時期”（☞ 126 ページ）をご覧ください。
別売品の交換用ランプユニット（品番：ET-LAV400）をご購入の際は、販売店にご相談ください。

警 告

ランプユニットの交換は、ランプが冷えてから（1 時間以上待ってから）行う
カバー内部は高温になっているため、やけどの原因になります。

ランプユニットの交換上のお願い

- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。
- 光源ランプはガラス部品ですので、堅い物に当てたり落下させたりすると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- ランプユニットを分解したり、改造したりしないでください。
- ランプユニットの表面はとがっていたり、引っ掛かったりする形状ですので、交換する際は必ずランプユニットの取っ手を持って取り扱ってください。

- ランプは破裂することがあります。ランプのガラス破片が飛散しないように、ランプユニットは慎重に交換してください。また、本機を天井に取り付けている場合は、ランプユニットの真下で交換作業をしたり、顔を近づけたりしないでください。
- ランプには水銀が含まれています。取り外した古いランプユニットを廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口、または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

お願い

- 当社製以外のランプユニットの使用による製品の損傷や不具合などの問題については責任を負いかねます。必ず、指定のランプユニットを使用してください。

お知らせ

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

ランプユニットの交換時期

ランプユニットは消耗部品です。使用時間の経過にともない、徐々に明るさが低下しますので、定期的な交換が必要です。

交換の目安は、

［ランプパワー］を［ノーマル］の設定で連続使用した場合 = 5 000 時間

［ランプパワー］を［ECO］の設定で連続使用した場合 = 7 000 時間

ですが、ランプ個々の特性、使用条件、設置環境などの影響を受けて、上記の時間に達する前に点灯しなくなる場合があります。早めの交換用ランプユニットの準備をお勧めします。

ランプユニットの交換時期を予測するには、［ステータス］（☞ 74 ページ）→［使用時間］→［ランプ］→［ノーマル］/［ECO］で表示されるランプユニットの使用時間を確認し、次の計算式で求めることができます。（［ECO］で表示された時間を、［ノーマル］に設定して使用した時間に換算します。）

ランプ交換の時間（目安）の計算式 =「［ノーマル］の表示時間」+「［ECO］の表示時間」× 5/7

上記の計算式で求めた時間が 5 000 時間を過ぎても交換しないまま使用すると、本機故障の原因となるため約 10 分後に自動消灯します。

上記の計算式で求めた時間	オンスクリーン表示 ランプを交換してください。	ランプインジケーター〈LAMP〉
4 800 時間以降	30 秒間表示されます。30 秒以内に本体操作部またはリモコンのいずれかのボタンを押せば、表示が消えます。	スタンバイ状態も含め赤色に点灯します。
5 000 時間以降	いずれかのボタンを押すまで、メッセージは表示されたままです。	

お知らせ

- ランプ交換の時間（目安）の計算式で求めた時間の「5 000 時間」は交換の目安であり、保証時間ではありません。保証時間については“保証とアフターサービス”をご覧ください。

ランプユニットの交換手順

お願い

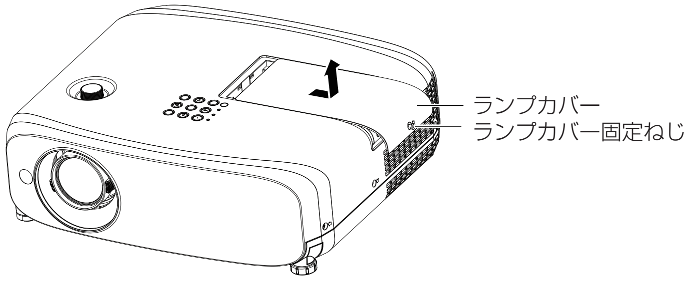
- 本機を天井に取り付けている場合、ランプユニットの近辺で顔を近づけて作業しないでください。
- ランプユニットの交換時は、指定のねじ以外は取り外したり、緩めたりしないでください。
- ランプユニットや、ランプカバーは確実に取り付けてください。

1)　“電源を切る”（☞ 39 ページ）の手順に従い、本機の電源を切った後、コンセントから電源プラグを抜く

- 1 時間以上待ってランプユニット近辺が冷えていることを確認してください。

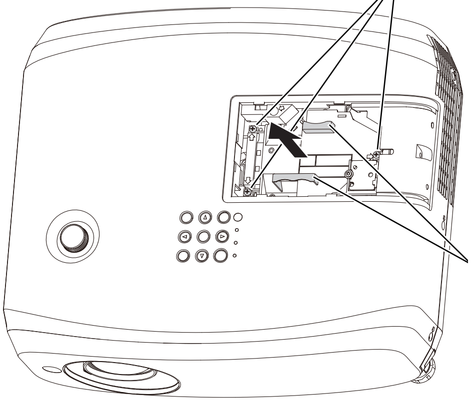
2)　ランプカバー固定ねじ（1 本）をプラスドライバーで空回りするまで回し、ランプカバーを取り外す

- ランプカバーを取り外す際は、図に示す矢印の方向にゆっくりと引いてください。



3) **ランプユニット固定ねじ（3 本）をプラスドライバーで空回りするまで回す**

4) **ランプユニットの取っ手部分を持ち、ゆっくりと本体から引き出す**



5) **新しいランプユニットを確実に挿入し、ランプユニット固定ねじ（3 本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける**

- ランプユニットが取り付けにくいときは、ランプユニットをいったん取り外してから入れ直してください。無理に押し込むとコネクター部分が破損する場合があります。

6) **ランプカバーを取り付け、ランプカバーの固定ねじ（1 本）をプラスドライバーでしっかりと締めつける**

- ランプカバーは、手順 2) の矢印と逆方向にゆっくりと取り付けてください。

お知らせ

- 新しいランプユニットに交換した場合、本機側でランプユニットの使用時間が自動的にリセットされます。

故障かな！？

もう一度次の点をお調べください。詳しくは、対応するページをご覧ください。

症状	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	―
	● 電源プラグを差し込んでいるコンセントは通電していますか。	―
	● ブレーカーが落ちていませんか。	―
	● ランプインジケーター〈LAMP〉または温度インジケーター〈TEMP〉が点灯または点滅していませんか。	123
	● ランプカバーは確実に取り付けられていますか。	126
映像が映らない	● 外部機器との接続は正しく行われていますか。	32, 33
	● 入力切り換えは正しく選択されていますか。	40
	● ［明るさ］の調整が最小になっていませんか。	53
	● 本機に接続している外部機器は、正常に動作していますか。	―
	● AV ミュート機能を使用していませんか。	45、73
映像がボヤけている	● レンズキャップが取り付けられたままではありませんか。	17
	● レンズのフォーカスは合っていますか。	40
	● 投写距離は適切ですか。	27
	● レンズが汚れていませんか。	13
	● 本機がスクリーンに対して垂直に設置されていますか。	―
色が薄い / 色あいが悪い	● ［色の濃さ］、［色あい］は正しく調整されていますか。	53
	● 本機に接続している外部機器は正しく調整されていますか。	―
	● RGB ケーブルが切れていませんか。	―
内蔵スピーカーから音声が出ない	● 入力端子の接続は適切ですか。	32, 33
	● 音量が最小レベルになっていませんか。	41、78
	● AV ミュート機能を使用していませんか。	45、73
	● 〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子にケーブルを接続していると、内蔵スピーカーから音声は出ません。	32, 33
	● ［消音］機能を使用していませんか。	45、78
	● ［音声設定］の音声入力選択は正しく設定されていますか。	79
リモコンがはたらかない	● 乾電池が消耗していませんか。	―
	● 乾電池の極性は正しくセットされていますか。	23
	● リモコンと本体のリモコン受信部の間に障害物はありませんか。	20
	● リモコン操作有効範囲を超えた場所でリモコンを操作していませんか。	20
	● 蛍光灯などの影響を受けていませんか。	20
	● ［操作設定］の［リモコン］の設定が［無効］になっていませんか。	83
	● ID ナンバーの設定の操作を間違えていませんか。	45
メニュー画面が出ない	● オンスクリーン表示機能をオフ（非表示）にしていませんか。	67
本体操作部のボタンがはたらかない	● ［操作設定］の［本体操作部］の設定が［無効］になっていませんか。	83
正常な映像が映らない	● ビデオテープなど、映像出力側に異常はありませんか。	―
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	137
コンピューターからの映像が映らない	● ケーブルが長くありませんか。（D-Sub ケーブルの場合は 10 m 以下にしてください。）	―
	● ノート型コンピューターの外部映像出力が、正しく設定されていますか。	40
HDMI 対応機器の映像が映らない、乱れる	● HDMI ケーブルが確実に接続されていますか。	32, 33
	● 本機の電源および外部機器の電源を切 / 入してください。	―
	● 本機が対応できない信号を入力していませんか。	137
HDMI 対応機器の音声が出ない	● 接続機器の音声をリニア PCM に設定してください。	―
DIGITAL LINK 入力の映像または音声が出ない	● ツイストペアケーブル伝送器と外部機器、ツイストペアケーブル伝送器とプロジェクターとの接続は正しく行われていますか。	―
	● DIGITAL LINK モード］が［オート］または［DIGITAL LINK］になっていますか。［イーサネット］になっていませんか。	85
	● ツイストペアケーブル伝送器が対応していない信号を入力していませんか。	―

お願い

- 表の内容を確認後、正常に動作しない場合は販売店にご相談ください。

困ったとき

無線 LAN 接続でお困りの場合は、以下の項目を参考にしてください。

無線 LAN での接続が途切れた

- 電波環境によっては映像が乱れることがあります。このようなときは、次のことをお試しください。
  - 無線 LAN での接続機器と本機を近づけてください。
  - 電子レンジ・ゲーム機など電磁波を発する他の機器から、離して設置してください。それでも改善しない場合は、電磁波を発する他の機器の使用を控えてください。
  - 複数台の無線機器が同一ルーターに接続されている場合、無線の帯域が不足していることがあります。使用していない機器の電源を切るか、他の機器の使用を控えてください。
  - じゅうたんなど静電気が多く発生する場所での使用は、できるだけ控えてください。
- 無線 LAN で接続ができなくなった場合、［ネットワーク /USB］の［無線 LAN］をいったん［無効］に設定した後、再度無線 LAN 接続処理を行ってください。無線モジュールの復帰処理が動作します。

また、Miracast 接続でお困りの場合は、以下の項目を参考にしてください。

Miracast 接続できない

- メニューの［無線 LAN］の設定が［無効］になっていませんか。
- 本機の入力は［Miracast］が正しく選択されていますか。
- メニューの［コネクションロック］の設定が、［メモリービューワー］または［Panasonic APPLICATION］に固定されていませんか。設定を変更してください。
- Miracast 対応端末の設定を確認してください。Miracast の接続方法については、Miracast 対応端末の取扱説明書をお読みください。
- Miracast 対応端末と本機の間に障害物はありませんか。また、Miracast 対応端末が本機から離れすぎていませんか。障害物を取り除き、Miracast 対応端末を近づけてください。
- Miracast 対応端末などで「ペア設定されたディスプレイ」という欄に接続情報が残ることがありますが、その画面からは再接続はできません、接続可能な機器の一覧から接続してください。
- お使いの Miracast 対応端末の状態によっては、正常に接続出来ないことがあります。

突然接続できなくなり、画像が更新されなくなった

- Miracast 待ち受け画面が表示されない、正常な音声が出ない、接続できないなどが発生した場合、次の方法で、復帰操作を行ってください。
  - ［スタンバイモード］を［エコ］に設定し、本機の電源を切 / 入してください。（すでにエコに設定済みの場合は、スタンバイモードの変更手順は不要です。）
  - 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  - Miracast 対応端末および本機の電源を入れ直してください。

Miracast の映像が乱れる

- 無線 LAN のモードを［S-DIRECT］または［M-DIRECT］に設定してください。
- Miracast 接続は無線を使用しているため、電波環境によっては映像が乱れることがあります。このようなときは、次のことをお試しください。
  - Miracast 対応端末と本機を近づけてください。
  - 電子レンジ・ゲーム機など電磁波を発する他の機器から、離して設置してください。それでも改善しない場合は、電磁波を発する他の機器の使用を控えてください。
  - 複数台の無線機器が同一ルーターに接続されている場合、無線の帯域が不足していることがあります。使用していない機器の電源を切るか、他の機器の使用を控えてください。
- コンテンツ自身に問題があると映像が乱れる場合がありますので、コンテンツをご確認ください。
- お使いの Miracast 対応端末によっては、Miracast の映像が乱れることがあります。これは、Miracast 対応端末の処理能力や無線伝送性能に起因した症状で、本機の故障ではありません。

Miracast 接続した後、放置していたら Miracast 接続が切れた

- お使いの Miracast 対応端末の設定によっては、一定時間で接続が切れる場合があります。端末の省電力の設定などをご確認ください。
- 無線ドライバーやファームウェアの更新によって改善される場合があります。お使いの端末メーカーのサポート窓口にもお問い合わせください。

その他

- お使いの Miracast 対応端末によっては、"from UNKNOWN" という接続者名で再接続の確認画面が表示される場合がありますが、その場合再接続はできませんので、CANCEL を選択してください。
- お使いの Miracast 対応端末によっては、接続時に「デバイスの削除」を求められることがあります。その場合、端末の指示に従ってデバイスを削除してください。

第 7 章　その他

本機の仕様やアフターサービスについて説明しています。

付録

PJLink プロトコルを使用する

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 1 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してコンピューターからプロジェクターの設定や、プロジェクターの状態問い合わせの操作ができます。

対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドです。
- 表内の x は任意の文字です。

<table>
<tr><th>コマンド</th><th>制御内容</th><th>パラメーター / 応答文字列</th><th colspan="3">備考</th></tr>
<tr><td rowspan="2">POWR</td><td rowspan="2">電源制御</td><td>0</td><td colspan="3">スタンバイ</td></tr>
<tr><td>1</td><td colspan="3">電源入</td></tr>
<tr><td rowspan="4">POWR?</td><td rowspan="4">電源状態問い合わせ</td><td>0</td><td colspan="3">スタンバイ</td></tr>
<tr><td>1</td><td colspan="3">電源入</td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="3">電源を切る準備中</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="3">ウォームアップ中</td></tr>
<tr><td rowspan="4">INPT</td><td rowspan="4">入力切り換え</td><td>11</td><td colspan="3">RGB1</td></tr>
<tr><td>12</td><td colspan="3">RGB2</td></tr>
<tr><td>21</td><td colspan="3">VIDEO</td></tr>
<tr><td>31</td><td colspan="3">HDMI1</td></tr>
<tr><td rowspan="5">INPT?</td><td rowspan="5">入力切り換え問い合わせ</td><td>32</td><td colspan="3">HDMI2</td></tr>
<tr><td>33</td><td colspan="3">DIGITAL LINK</td></tr>
<tr><td>41</td><td colspan="3">MEMORY VIEWER</td></tr>
<tr><td>51</td><td colspan="3">Panasonic APPLICATION</td></tr>
<tr><td>52</td><td colspan="3">Miracast</td></tr>
<tr><td>AVMT</td><td>AV ミュート制御</td><td>30</td><td colspan="3">AV ミュート機能 オフ</td></tr>
<tr><td>AVMT?</td><td>AV ミュート状態問い合わせ</td><td>31</td><td colspan="3">AV ミュート機能 オン</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ERST?</td><td rowspan="6">エラー状態問い合わせ</td><td rowspan="6">xxxxxx</td><td>1 バイト目</td><td>ファンエラーを意味し、0 ～ 2 で応答します</td><td rowspan="6">● 0= エラーを検知していない
● 1= 警告
● 2= エラー</td></tr>
<tr><td>2 バイト目</td><td>ランプエラーを意味し、0 ～ 2 で応答します</td></tr>
<tr><td>3 バイト目</td><td>温度エラーを意味し、0 ～ 2 で応答します</td></tr>
<tr><td>4 バイト目</td><td>0 と応答します</td></tr>
<tr><td>5 バイト目</td><td>フィルターエラーを意味し、0 ～ 2 で応答します</td></tr>
<tr><td>6 バイト目</td><td>その他のエラーを意味し、0 ～ 2 で応答します</td></tr>
<tr><td>LAMP?</td><td>ランプ状態問い合わせ</td><td>xxxxxx</td><td colspan="3">1 つ目の数字（1 ～ 5 桁）: ランプ使用時間
2 つ目の数字 : 0= ランプ 消灯、1= ランプ 点灯</td></tr>
<tr><td>INST?</td><td>入力切り換え一覧問い合わせ</td><td>11 12 21 31 32 33 41 51 52</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>NAME?</td><td>プロジェクター名問い合わせ</td><td>xxxxx</td><td colspan="3">［ネットワーク /USB］の［プロジェクター名変更］で設定した名称を応答します</td></tr>
<tr><td>INF1?</td><td>メーカー名問い合わせ</td><td>Panasonic</td><td colspan="3">メーカー名を応答します</td></tr>
<tr><td>INF2?</td><td>機種名問い合わせ</td><td>VZ575N
VW535N
VX605N</td><td colspan="3">機種名を応答します</td></tr>
<tr><td>INFO?</td><td>その他情報問い合わせ</td><td>xxxxx</td><td colspan="3">バージョン番号などを応答します</td></tr>
<tr><td>CLSS?</td><td>クラス情報問い合わせ</td><td>1</td><td colspan="3">PJLink のクラスを応答します</td></tr>
</table>

PJLink セキュリティー認証

PJLink で使用するパスワードは、WEB 制御で設定したパスワードと同じです。
認証なしで使用する場合は、WEB 制御のパスワードをなしに設定してください。
- PJLink に関する仕様については、（社）ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトをご覧ください。
  URL http://pjlink.jbmia.or.jp/

LAN 経由の制御コマンドについて

WEB 制御アドミニストレーター権限パスワード設定時（プロテクトモード）

接続方法

1) プロジェクターの IP アドレスとポート番号（初期設定値 =1024）を取得してプロジェクターへ接続を要求する

- IP アドレスはプロジェクター本体のメニュー画面から、ポート番号は WEB コントロールページから取得できます。

IP アドレス	メインメニュー →［ネットワーク /USB］→［ステータス］から取得
ポート番号	WEB 制御 →［詳細設定］→［コマンドポート設定］から取得

2) プロジェクターからの応答を確認する

	データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
コマンド例	“NTCONTROL” （ASCII 文字列）	‘ ’ 0x20	‘1’ 0x31	‘ ’ 0x20	“zzzzzzzz” （ASCII コード 16 進数）	（CR） 0x0d
データ長	9 bytes	1 byte	1 byte	1 byte	8 bytes	1 byte

- モード：1= プロテクトモード

3) MD5 アルゴリズムを用いて以下のデータから 32 バイトのハッシュ値を生成する

- “xxxxxx:yyyyy:zzzzzzzz”

xxxxxx	WEB 制御のアドミニストレーター権限ユーザー名（デフォルトのユーザー名は“admin1”）
yyyyy	上記アドミニストレーター権限ユーザーのパスワード（デフォルトのパスワードは“panasonic”）
zzzzzzzz	手順 2) で取得した 8 バイトの乱数

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

■ 送信データ

	ヘッダー			データ部	終端記号
コマンド例	ハッシュ値 （上記“接続方法”参照）	‘0’ 0x30	‘0’ 0x30	制御コマンド （ASCII 文字列）	（CR） 0x0d
データ長	32 bytes	1 byte	1 byte	不定長	1 byte

■ 受信データ

	ヘッダー		データ部	終端記号
コマンド例	‘0’ 0x30	‘0’ 0x30	制御コマンド （ASCII 文字列）	（CR） 0x0d
データ長	1 byte	1 byte	不定長	1 byte

■ エラー応答

	文字列	内容	終端記号
メッセージ	“ERR1”	未定義の制御コマンド	（CR） 0x0d
	“ERR2”	パラメーター範囲外	
	“ERR3”	ビジー状態または受け付け不可期間	
	“ERR4”	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
	“ERR5”	データ長不正	
	“ERRA”	パスワード不一致	
データ長	4 bytes	―	1 byte

WEB 制御アドミニストレーター権限パスワード非設定時（非プロテクトモード）

接続方法

1) プロジェクターの IP アドレスとポート番号（初期設定値 =1024）を取得してプロジェクターへ接続を要求する

- IP アドレスはプロジェクター本体のメニュー画面から、ポート番号は WEB コントロールページから取得できます。

IP アドレス	メインメニュー →［ネットワーク /USB］→［ステータス］から取得
ポート番号	WEB 制御 →［詳細設定］→［コマンドポート設定］から取得

2) プロジェクターからの応答を確認する

	データ部	空白	モード	終端記号
コマンド例	"NTCONTROL" （ASCII 文字列）	' ' 0x20	'0' 0x30	（CR） 0x0d
データ長	9 bytes	1 byte	1 byte	1 byte

- モード：0= 非プロテクトモード

コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

■ 送信データ

	ヘッダー		データ部	終端記号
コマンド例	'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド （ASCII 文字列）	（CR） 0x0d
データ長	1 byte	1 byte	不定長	1 byte

■ 受信データ

	ヘッダー		データ部	終端記号
コマンド例	'0' 0x30	'0' 0x30	制御コマンド （ASCII 文字列）	（CR） 0x0d
データ長	1 byte	1 byte	不定長	1 byte

■ エラー応答

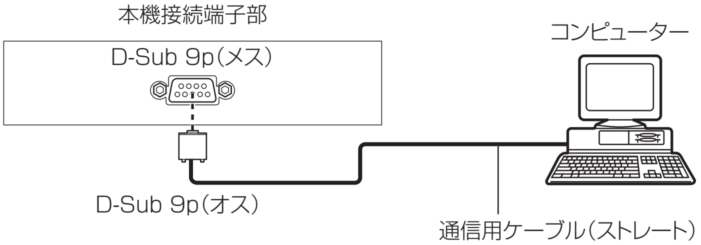
	文字列	内容	終端記号
メッセージ	"ERR1"	未定義の制御コマンド	（CR） 0x0d
	"ERR2"	パラメーター範囲外	
	"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間	
	"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
	"ERR5"	データ長不正	
	"ERRA"	パスワード不一致	
データ長	4 bytes	―	1 byte

〈SERIAL IN〉端子について

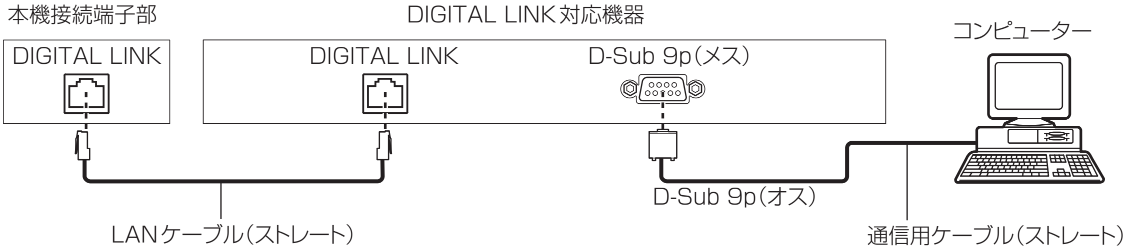
本機の接続端子部の〈SERIAL IN〉端子は RS-232C に準拠しており、コンピューターと接続して本機をコンピューターで制御できます。

接続

● 直接接続する場合



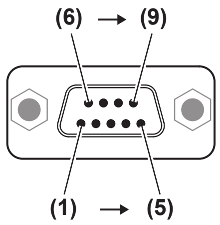
● DIGITAL LINK 対応機器を利用して接続する場合



お知らせ

- 接続方法に合わせて、[RS-232C](☞ 77 ページ)の接続先を設定する必要があります。
- DIGITAL LINK 対応機器を利用して接続する場合、スタンバイ状態で本機を制御するには、メニューの［プロジェクター設定］→［ECO マネージメント］→［スタンバイモード］(☞ 77 ページ)の設定を［ノーマル］に設定してください。
［スタンバイモード］を［ECO］に設定しているときは、スタンバイ状態での本機の制御はできません。

ピン配列と信号名

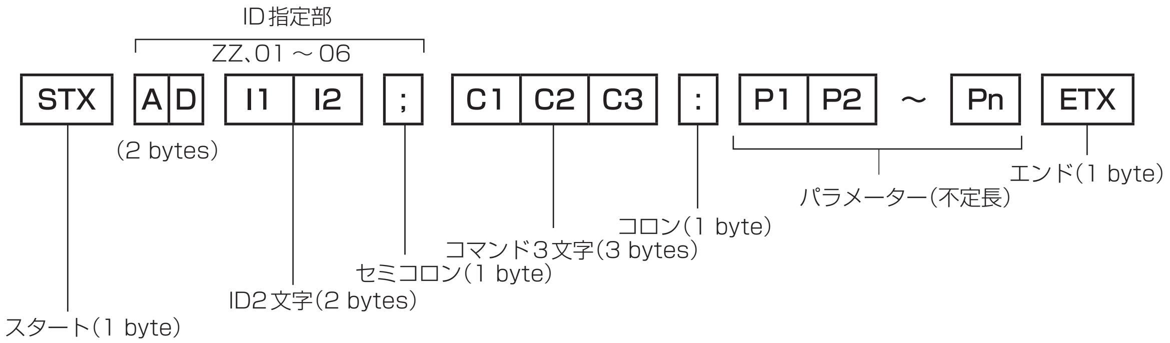
D-Sub 9 ピン（メス） 外側から見た図	ピン No.	信号名	内容
	(1)	―	NC
	(2)	TXD	送信データ
	(3)	RXD	受信データ
	(4)	―	NC
	(5)	GND	グラウンド
	(6)	―	NC
	(7)	CTS	内部で接続されています
	(8)	RTS	
	(9)	―	NC

通信条件（工場出荷時の状態）

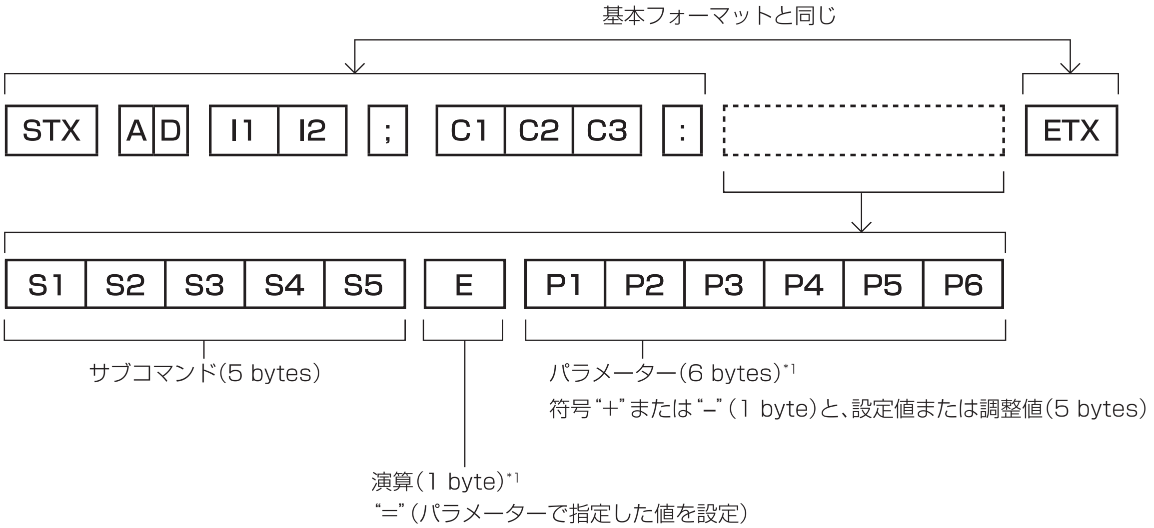
信号レベル	RS-232C 準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600 bps
パリティー	なし
キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

基本フォーマット

コンピューターからの伝送は STX で開始され、続いて ID、コマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



基本フォーマット（サブコマンドあり）



*1 パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、演算（E）とパラメーターは必要ありません。

お願い

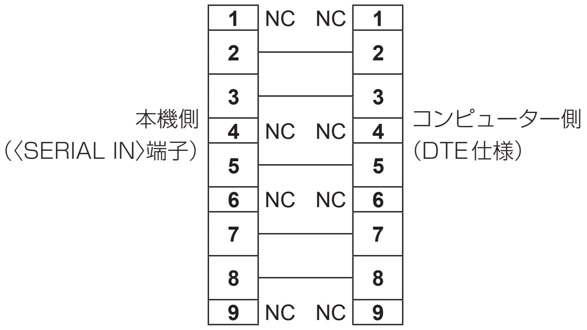
- ランプの点灯開始直後にコマンドを送信すると、応答が遅く返ってきたり、コマンドが実行できなかったりすることがあります。60 秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから 0.5 秒以上経過後に次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン（：）は必要ありません。

お知らせ

- コマンドが実行できない場合、本機から「ER401」という応答がコンピューター側に送信されます。
- 無効なパラメーターを送信すると、本機から「ER402」という応答がコンピューター側に送信されます。
- RS-232C での ID 送信は、ZZ（オール）と 01 ～ 06 の対応になっています。
- ID 指定でコマンドを送信した場合、以下のときのみコンピューターへの応答を返します。
  - 本機 ID と一致した場合
  - 本機の［プロジェクター ID］（☞ 75 ページ）が［オール］の場合
- STX と ETX はキャラクターコードです。STX は 16 進数で表すと 02、ETX は 16 進数で表すと 03 となります。

ケーブル仕様

コンピューターと接続する場合



制御コマンド

コンピューターで本機を制御する際のコマンドです。

■ 操作コマンド

コマンド	内容	パラメーター / 応答文字列	備考（パラメーター）
PON	電源入	―	電源が入っているかを確認する場合は、“電源問い合わせ” コマンドを使用してください。
POF	電源スタンバイ		
IIS	入力信号切り換え	VID	VIDEO
		RG1	RGB1
		RG2	RGB2
		HD1	HDMI1
		HD2	HDMI2
		DL1	DIGITAL LINK
		NWP	NETWORK
		PA1	Panasonic APPLICATION
		MC1	Miracast
		MV1	MEMORY VIEWER
OFZ	静止機能	0	オフ
		1	オン
AUU	音量アップ		
AUD	音量ダウン		
DZU	デジタルズームアップ		
DZD	デジタルズームダウン		
OSH	AV ミュート機能	0	オフ
		1	オン
QPW	電源状態問い合わせ	000	スタンバイ
		001	電源入
Q$S	ランプ点灯状態問い合わせ	0	スタンバイ
		1	ランプ点灯制御中
		2	ランプ点灯
		3	ランプ消灯制御中

［メニューロックパスワード］の操作について

パスワードを初期設定に戻す場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

対応信号リスト

本機が投写できる映像信号です。

- フォーマットを表す記号は次のとおりです。
  - V : VIDEO
  - R : RGB
  - Y : YC_BC_R/YP_BP_R
  - H : HDMI/DIGITAL LINK

対応信号	解像度（ドット）	走査周波数		ドットクロック周波数（MHz）	フォーマット	プラグアンドプレイ対応 [*1]	
		水平（kHz）	垂直（Hz）			COMPUTER1/COMPUTER2	HDMI/DIGITAL LINK
NTSC/NTSC4.43/PAL-M/PAL60	720 x 480i	15.7	59.9	―	V	―	―
PAL/PAL-N/SECAM	720 x 576i	15.6	50.0	―	V	―	―
525i (480i)	720 x 480i	15.7	59.9	13.5	R/Y	―	―
625i (576i)	720 x 576i	15.6	50.0	13.5	R/Y	―	―
525i (480i)	720 (1440) x 480i [*2]	15.7	59.9	27.0	H	―	―
625i (576i)	720 (1440) x 576i [*2]	15.6	50.0	27.0	H	―	―
525p (480p)	720 x 483	31.5	59.9	27.0	R/Y/H	―	✓
625p (576p)	720 x 576	31.3	50.0	27.0	R/Y/H	―	✓

対応信号	解像度（ドット）	走査周波数 水平（kHz）	走査周波数 垂直（Hz）	ドットクロック周波数（MHz）	フォーマット	プラグアンドプレイ対応 *1 COMPUTER1/COMPUTER2	プラグアンドプレイ対応 *1 HDMI/DIGITAL LINK
750 (720) /60p	1 280 x 720	45.0	60.0	74.3	R/Y/H	―	✓
750 (720) /50p	1 280 x 720	37.5	50.0	74.3	R/Y/H	―	✓
1125 (1080) /60i*3	1 920 x 1 080i	33.8	60.0	74.3	R/Y/H	―	✓
1125 (1080) /50i	1 920 x 1 080i	28.1	50.0	74.3	R/Y/H	―	✓
1125 (1080) /24p	1 920 x 1 080	27.0	24.0	74.3	R/Y/H	―	✓
1125 (1080) /24sF	1 920 x 1 080i	27.0	48.0	74.3	R/Y/H	―	―
1125 (1080) /25p	1 920 x 1 080	28.1	25.0	74.3	R/Y/H	―	―
1125 (1080) /30p	1 920 x 1 080	33.8	30.0	74.3	R/Y/H	―	―
1125 (1080) /60p	1 920 x 1 080	67.5	60.0	148.5	R/Y/H	―	✓
1125 (1080) /50p	1 920 x 1 080	56.3	50.0	148.5	R/Y/H	―	✓
640 x 400	640 x 400	31.5	70.1	25.2	R/H	―	―
	640 x 400	37.9	85.1	31.5	R/H	―	―
VGA	640 x 480	31.5	59.9	25.2	R/H	✓	✓
	640 x 480	35.0	66.7	30.2	R/H	―	―
	640 x 480	37.9	72.8	31.5	R/H	✓	✓
	640 x 480	37.5	75.0	31.5	R/H	✓	✓
	640 x 480	43.3	85.0	36.0	R/H	―	―
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	36.0	R/H	✓	✓
	800 x 600	37.9	60.3	40.0	R/H	✓	✓
	800 x 600	48.1	72.2	50.0	R/H	✓	✓
	800 x 600	46.9	75.0	49.5	R/H	✓	✓
	800 x 600	53.7	85.1	56.3	R/H	―	―
MAC16	832 x 624	49.7	74.6	57.3	R/H	✓	✓
XGA	1 024 x 768	39.6	50.0	51.9	R/H	―	―
	1 024 x 768	48.4	60.0	65.0	R/H	―	―
	1 024 x 768	56.5	70.1	75.0	R/H	✓	✓
	1 024 x 768	60.0	75.0	78.8	R/H	✓	✓
	1 024 x 768	65.5	81.6	86.0	R/H	―	―
	1 024 x 768	68.7	85.0	94.5	R/H	―	―
	1 024 x 768	81.4	100.0	113.3	R/H	―	―
1152 x 864	1 152 x 864	53.7	60.0	81.6	R/H	―	―
	1 152 x 864	67.5	74.9	108.0	R/H	―	―
	1 152 x 864	77.1	85.0	119.7	R/H	―	―
MAC21	1 152 x 870	68.7	75.1	100.0	R/H	✓	✓
1280 x 720	1 280 x 720	37.1	50.0	60.5	R/H	―	―
	1 280 x 720	44.8	60.0	74.5	R/H	―	―
1280 x 768	1 280 x 768	60.3	74.9	102.3	R/H	―	―
	1 280 x 768	68.6	84.8	117.5	R/H	―	―
1280 x 800	1 280 x 800	41.3	50.0	68.0	R/H	―	―
	1 280 x 800	49.7	59.8	83.5	R/H	✓*5	✓*5
	1 280 x 800	62.8	74.9	106.5	R/H	―	―
	1 280 x 800	71.6	84.9	122.5	R/H	―	―
1280 x 960	1 280 x 960	60.0	60.0	108.0	R/H	―	―
SXGA	1 280 x 1 024	64.0	60.0	108.0	R/H	―	―
	1 280 x 1 024	80.0	75.0	135.0	R/H	―	―
	1 280 x 1 024	91.1	85.0	157.5	R/H	―	―
1366 x 768	1 366 x 768	39.6	49.9	69.0	R/H	―	―
	1 366 x 768	47.7	59.8	85.5	R/H	―	―
1400 x 1050	1 400 x 1 050	65.2	60.0	122.6	R/H	―	―
	1 400 x 1 050	65.3	60.0	121.8	R/H	―	―
	1 400 x 1 050	82.2	75.0	156.0	R/H	―	―

対応信号	解像度（ドット）	走査周波数		ドットクロック周波数（MHz）	フォーマット	プラグアンドプレイ対応 *1	
		水平（kHz）	垂直（Hz）			COMPUTER1/COMPUTER2	HDMI/DIGITAL LINK
1440 x 900	1 440 x 900	55.9	60.0	106.5	R/H	―	―
1600 x 900	1 600 x 900	46.3	50.0	97.0	R/H	―	―
	1 600 x 900	55.9	60.0	119.0	R/H	―	―
UXGA	1 600 x 1 200	75.0	60.0	162.0	R/H	✓	✓
1680 x 1050	1 680 x 1 050	54.1	50.0	119.5	R/H	―	―
	1 680 x 1 050	65.3	60.0	146.3	R/H	―	―
1920 x 1080	1 920 x 1 080	55.6	49.9	141.5	R/H	―	―
	1 920 x 1 080*4	66.6	59.9	138.5	R/H	―	―
	1 920 x 1 080*6	67.2	60.0	173.0	R	―	―
WUXGA	1 920 x 1 200	61.8	49.9	158.3	R/H	―	―
	1 920 x 1 200*4	74.0	60.0	154.0	R/H	✓*7	✓*7
	1 920 x 1 200*6	74.6	59.9	193.3	R	―	―

*1　プラグアンドプレイ対応欄に ✓ がある信号は、プロジェクターの EDID（拡張ディスプレイ識別データ）に記述している信号です。プラグアンドプレイ対応欄に ✓ がない信号でもフォーマット欄に記載があれば入力可能です。プラグアンドプレイ対応欄に ✓ がない信号は、プロジェクターが対応していてもコンピューター側で解像度の選択ができない場合があります。
*2　Pixel-Repetition 信号（ドットクロック周波数 27.0 MHz）のみ
*3　1125（1035）/60i 信号が入力された場合、1125（1080）/60i 信号として表示します。
*4　VESA CVT-RB（Reduced Blanking）準拠
*5　PT-VW535NJ のみです。
*6　画像処理回路で画素を間引いて表示します。
*7　PT-VZ575NJ のみです。

お知らせ

- PT-VZ575NJ の表示ドット数は 1 920 x 1 200、PT-VW535NJ の表示ドット数は 1 280 x 800、PT-VX605NJ の表示ドット数は 1 024 x 768 です。解像度が異なる信号は表示ドット数に変換されて表示されます。
- 解像度のドット数の後ろにある「 i 」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にちらつきが発生することがあります。
- 上記対応信号であっても特殊な方式で映像信号が記録されている場合は表示できないことがあります。

ネットワーク用語解説

用語	説明
アクセスポイント	無線 LAN のコンピューター間を中継する電磁信号のステーションです。アクセスポイントにコンピューターが接続しているときは、アクセスポイントに接続しているネットワークを通じて通信することができます。
AES	Advanced Encryption Standard の略。米国商務省標準技術局 (NIST) によって規格化された、米国政府の次世代標準暗号化方式です。 AES：高度暗号化標準
デフォルトゲートウェイ	使用しているネットワークの規格とは異なるネットワークに接続するための機器。双方のネットワーク間の通信プロトコルの違いなどを調整して、ネットワーク同士の接続を可能にします。接続先の IP アドレスにゲートウェイが設定されていない場合に、デフォルトゲートウェイに設定されているホストにデータが送信されます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。接続されている機器に、自動的に IP アドレスを割り振るプロトコルです。DHCP サーバーの機能を持った機器 が LAN 内にあれば接続されている機器に自動的に IP アドレスを割り振ります。
EAP	PPP Extensible Authentication Protocol の略。リモートアクセスによるユーザー認証の際に用いられる PPP を拡張した認証プロトコルです。認証方式として、MD5、TLS、S/Key などに対応しています。無線 LAN 認証規格 IEEE802.1X が採用しているプロトコルで、EAP-TLS/EAP-TTLS/EAPLEAP/EAP-PEAP/EAP-MD5 などの方式があります。
EAP-FAST	EAP-Flexible Authentication via Secure Tunneling の略。IEEE802.1X に対応した無線認証方式の一つです。デジタル認証が不要な秘密鍵暗号方式を使用して、認証プロセスのトンネル化を実現し、トンネルを相互に認証することでセキュリティーを向上します。シスコ社独自方式。
EAP-TTLS	EAP-Tunneled Transport Layer Security の略。IEEE802.1X に対応した無線認証方式の一つです。認証サーバー電子証明書、クライアントは ID/ パスワードによる相互認証を行います。認証プロセスはトンネル化されます。米国ファンクソフトウェア社が開発。
GTC (EAP-GTC)	EAP-Generic Token Card の略。IEEE802.1X に対応した無線認証方式の一つです。ID パスワードを使用して認証を行います。パスワードにはセキュリティートークンを使用しています。
IP アドレス	IP（Internet Protocol）は、データを伝送するためのプロトコルで、IP アドレスはネットワークでデータを伝送する際の宛先（アドレス）です。同じ IP アドレスを、同一の LAN 内では使用できません。
LAN	Local Area Network の略。社内など比較的狭い範囲のネットワークのことです。
MAC アドレス	各ネットワークアダプター固有の ID 番号です。 全世界のネットワークアダプターにはそれぞれ固有の番号が割り当てられ、これを元にアダプター間のデータ送受信が行われます。この ID 番号は、IEEE が管理・割り当てをしているメーカーごとに固有な番号と、メーカーが独自に各アダプターに割り当てる番号の組み合わせです。
MD5 (EAP-MD5)	EAP-Message digest algorithm 5 の略。IEEE802.1X に対応した無線認証方式の一つです。ID パスワードを使用して認証を行います。パスワードはチャレンジ ＆ レスポンス方式で暗号化されて送信されます。
MS-CHAPv2 (EAP-MS-CHAPv2)	EAP-Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol v2 の略。IEEE802.1X に対応した無線認証方式の一つです。一方向の暗号化パスワード を使用して相互の認証を行います。
Open System ／ オープン	公開鍵暗号を用いた無線認証方式の一つです。
PEAP	EAP-Protected EAP の略。IEEE802.1X に対応した無線認証方式の一つです。認証サーバー電子証明書、クライアントは ID/ パスワードによる相互認証を行います。
RADIUS サーバー	RADIUS とは、Remote Access Dial In User authentication Service の略で、無線 LAN などのネットワークで認証に用いられているプロトコルです。そのプロトコルに対応した認証サーバーを RADIUS サーバーといいます。RADIUS サーバーを利用することにより、ネットワーク機器が複数ある場合でも各機器に個別にユーザー情報を登録する必要がなくなり、多数のネットワーク機器、ユーザーの統合管理が可能になります。
Shared Key ／共有	秘密鍵暗号を用いた無線認証方式の一つで、WEP に設定した暗号キーを使って認証を行う方式です。暗号化と復号化に同じ鍵を用いる暗号方式で『共有鍵暗号』または『共通鍵暗号』などとも呼ばれています。
SSID	Service Set ID の略。無線 LAN では、通信したいアクセスポイントであるかどうかを区別するために SSID と呼ばれる識別コードを設定する必要があります。メーカーによっては、無線 LAN アダプタに『ESSID』や『ネットワーク名』と表示されている場合もあります。
サブネットマスク	ネットワークでは、大きなネットワークをサブネットと呼ばれる複数の小さなネットワークに分割して管理することがあります。そのような場合に、IP アドレスを区切るための値のことを、サブネットマスクといいます。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。 暗号キーを一定時間ごとに変更するため、WEP よりもセキュリティー保護が強化された暗号化プロトコルです。
WEP	Wired Equivalent Privacy の略。通信するデータを暗号化する方式です。暗号キーを作成して通信する相手だけに知らせることで、第三者に通信データを解読されないようにします。
WPA-EAP WPA2-EAP	無線 LAN の暗号化方式の規格。企業向けの暗号化方式で、外部のサーバーを利用して暗号化を行います。
WPA-PSK WPA2-PSK	無線 LAN の暗号化方式の規格。 WEP よりも高度なセキュリティで、ユーザー認証機能や、暗号キーを一定時間ごとに自動的に変更する TKIP（暗号化プロトコル）などの機能を備えています。また、この認証方式は、認証サーバーを必要としません。

仕様

本機の仕様は次のとおりです。

使用電源		AC100 V　50 Hz/60 Hz	
消費電力		PT-VZ575NJ	386 W
		PT-VW535NJ, PT-VX605NJ	369 W
		［ECO マネージメント］の［スタンバイモード］を［ECO］に設定時 0.2 W ［ECO マネージメント］の［スタンバイモード］を［ノーマル］に設定時 14 W ［ECO マネージメント］の［スタンバイモード］を［ノーマル］、［音声設定］の［スタンバイ時動作］を［オン］に設定時 30 W	
液晶パネル	サイズ	PT-VZ575NJ	0.64 型（アスペクト比 16：10）
		PT-VW535NJ	0.59 型（アスペクト比 16：10）
		PT-VX605NJ	0.63 型（アスペクト比 4：3）
	表示方式	透過型液晶パネル 3 枚 3 原色方式	
	駆動方式	アクティブマトリクス方式	
	画素数	PT-VZ575NJ	2 304 000 画素（1 920 x 1 200 ドット）x 3 枚
		PT-VW535NJ	1 024 000 画素（1 280 x 800 ドット）x 3 枚
		PT-VX605NJ	786 432 画素（1 024 x 768 ドット）x 3 枚
レンズ		PT-VZ575NJ	マニュアルズーム（1.6 倍）・フォーカス F 1.6 ～ 2.12、f 15.30 mm ～ 24.64 mm
		PT-VW535NJ, PT-VX605NJ	マニュアルズーム（1.6 倍）・フォーカス F 1.6 ～ 1.9、f 15.31 mm ～ 24.64 mm
光源ランプ		270 W　UHM ランプ	
光出力[*1]		PT-VZ575NJ	4 800 lm
		PT-VW535NJ	5 000 lm
		PT-VX605NJ	5 500 lm
コントラスト比[*1]		10 000：1 （［映像モード］の設定が［ダイナミック］、［ランプパワー］の設定が［ノーマル］、［アイリス］の設定が［オン］、［デイライトビュー］の設定が［オフ］、［省エネ設定］の設定が［オフ］のとき）	
対応走査周波数	ビデオ信号時	水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz、水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz	
	Y/C 信号時	水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz、水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz	
	RGB 信号時	水平 15 kHz ～ 91 kHz、垂直 24 Hz ～ 100 Hz	
		ドットクロック周波数：162 MHz 以下	
	YC_BC_R/YP_BP_R 信号時	525i(480i)	水平 15.73 kHz 垂直 59.94 Hz
		625i(576i)	水平 15.63 kHz 垂直 50 Hz
		525p(480p)	水平 31.47 kHz 垂直 59.94 Hz
		625p(576p)	水平 31.25 kHz 垂直 50 Hz
		750(720)/60p	水平 45.00 kHz 垂直 60 Hz
		750(720)/50p	水平 37.50 kHz 垂直 50 Hz
		1125(1080)/60i	水平 33.75 kHz 垂直 60 Hz
		1125(1080)/50i	水平 28.13 kHz 垂直 50 Hz
		1125(1080)/60p	水平 67.50 kHz 垂直 60 Hz
		1125(1080)/50p	水平 56.25 kHz 垂直 50 Hz
		1125(1080)/24p	水平 27.00 kHz 垂直 24 Hz
		1125(1080)/24sF	水平 27.00 kHz 垂直 48 Hz
		1125(1080)/25p	水平 28.13 kHz 垂直 25 Hz
		1125(1080)/30p	水平 33.75 kHz 垂直 30 Hz
	HDMI 信号時	525i(480i)[*2]、625i(576i)[*2]、525p(480p)、625p(576p)、750(720)/60p、50(720)/50p、1125(1080)/24p、1125(1080)/24sF、1125(1080)/25p、1125(1080)/30p、1125(1080)/60p、1125(1080)/50p、1125(1080)/60i、1125(1080)/50i 表示可能解像度：VGA ～ WUXGA（ノンインターレース） ドットクロック周波数：25 MHz ～ 162 MHz	
カラー方式		7 方式（NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60）	
投写画面サイズ		30 ～ 300 型	
画面アスペクト比		PT-VZ575NJ, PT-VW535NJ	16：10
		PT-VX605NJ	4：3
投写方式		［フロント / 天つり］、［フロント / 床置き］、［リア / 天つり］、［リア / 床置き］	
スピーカー		4.0 cm 円型 1 個	
音声実用最大出力		10 W	

接続端子	〈COMPUTER 1 IN〉端子	1 系統　Mini D-sub 15 p（メス） RGB 信号　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時 1.0 V [p-p] 75 Ω ） HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 （SYNC/HD、VD は 3 値 SYNC に対応していません。） $YP_{B}P_{R}$ 信号　Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、$P_{B}P_{R}$: 0.7 V [p-p] 75 Ω Y/C 信号　Y : 1.0 V [p-p]、C : 0.286 V [p-p] 75 Ω
	〈COMPUTER 2 IN / 1 OUT〉端子	1 系統　Mini D-sub 15 p（メス） RGB 信号　0.7 V [p-p] 75 Ω（G-SYNC 時 1.0 V [p-p] 75 Ω ） HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正 / 負極性自動対応 （SYNC/HD、VD は 3 値 SYNC に対応していません。） $YP_{B}P_{R}$ 信号　Y : 1.0 V [p-p] 同期信号を含む、$P_{B}P_{R}$: 0.7 V [p-p] 75 Ω
	〈VIDEO IN〉端子	1 系統 ピンジャック 1.0 V [p-p] 75 Ω
	〈HDMI 1 IN〉/〈HDMI 2 IN〉端子	2 系統 HDMI 19 ピン（HDCP、Deep color 対応） 音声信号 : リニア PCM（サンプリング周波数 : 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz）
	〈AUDIO IN〉端子	2 系統 M3 ステレオミニジャック 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω以上 （〈AUDIO IN 2 (MIC IN)〉端子はマイク入力対応） 1 系統 ピンジャック × 2 (L-R) 0.5 V [rms]、入力インピーダンス 22 k Ω以上
	〈VARIABLE AUDIO OUT〉端子	1 系統 M3 ステレオミニジャック（モニター出力、ステレオ対応可） 0 V [rms] 〜 2.0 V [rms]（可変）、出力インピーダンス 2.2 k Ω以下
	〈USB A (VIEWER)〉端子	1 系統 USB コネクター (タイプ A x 1)
	〈USB B (DISPLAY)〉端子	1 系統 USB コネクター (タイプ B x 1)
	〈SERIAL IN〉端子	1 系統 D-sub 9 p（メス）RS-232C 準拠 外部制御用
	〈DIGITAL LINK/LAN〉端子	1 系統　RJ-45　ネットワーク、DIGITAL LINK 接続用 PJLink 対応　100Base-TX
無線 LAN	準拠規格	IEEE802.11b/g/n、IEEE802.11a/n(W52/W53/W56) (無線 LAN 標準プロトコル)
	使用無線チャンネル	IEEE802.11b/g/n : 1 〜 13 チャンネル IEEE802.11a/n : 36/40/44/48 チャンネル（W52） 52/56/60/64 チャンネル（W53） 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140 チャンネル（W56）
	通信距離	約 30 m (ただし、使用環境により異なります)
電源コードの長さ		2.0 m
外装ケース		樹脂成型品
外形寸法	横幅	389 mm
	高さ	125 mm（脚最小時）
	奥行	332 mm
質量		約 4.9 kg*3
騒音値 *1		37 dB（[ランプパワー] の設定が [ノーマル] のとき） 29 dB（[ランプパワー] の設定が [ECO] のとき）
使用環境条件	使用環境温度 *4	0 ℃ 〜 40 ℃ (海抜 1 200 m 未満) 0 ℃ 〜 30 ℃ (海抜 1 200 m 〜 2 700 m)
	使用環境湿度	20 % 〜 80 %（結露のないこと）
リモコン	使用電源	DC 3 V（単 4 形乾電池 2 個）
	操作距離	約 7 m 以内（受信部正面）
	質量	102 g（乾電池含む）
	外形寸法	横幅 : 48 mm　高さ : 145 mm　奥行 : 27 mm

*1 工場出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。
*2 Pixel-Repetition 信号（ドットクロック周波数 27.0 MHz）のみ
*3 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
*4 使用環境温度が 35 ℃〜 40 ℃のときは、[ランプパワー] が自動的に [ECO] に切り換わります。

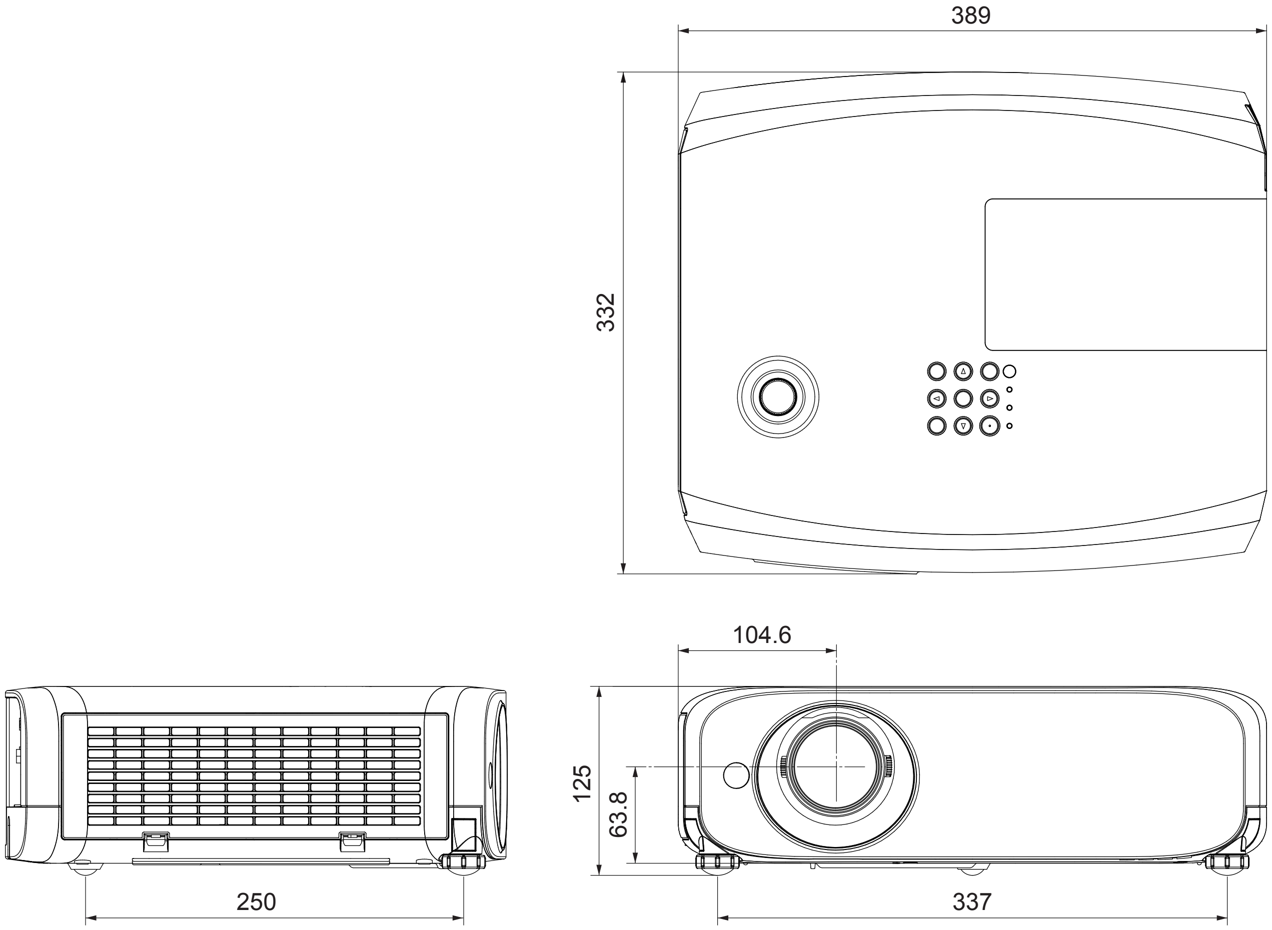
お知らせ

- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)

外形寸法図

単位：mm

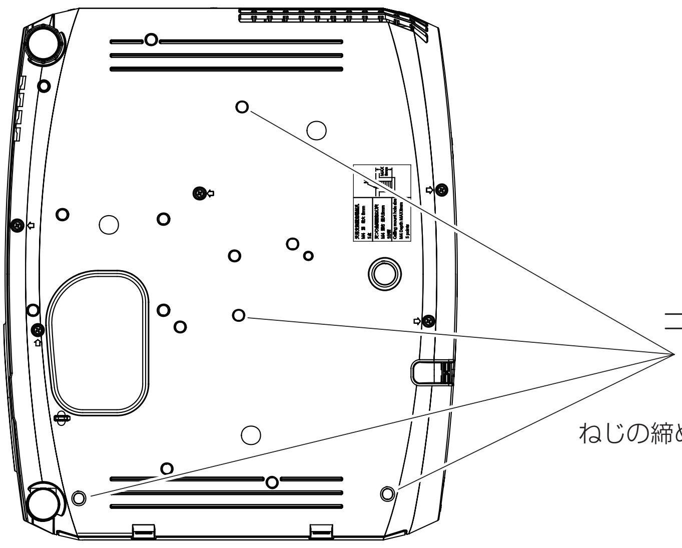


* 各製品で寸法は異なる場合があります。

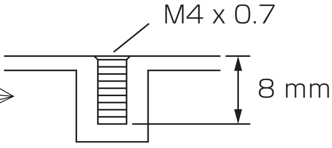
天つり金具取り付け時の注意事項

- 本製品を天井に取り付ける場合は、当社指定の別売品のプロジェクター用天つり金具を使用してください。
  ① ET-PKL100H（高天井用）には、ET-PKV400B（取付用ベース金具）を組み合わせて設置してください。
  ② ET-PKL100S（低天井用）には、ET-PKV400B（取付用ベース金具）を組み合わせて設置してください。
- 既設のプロジェクター用天つり金具 ET-PKV100H（高天井用）または ET-PKV100S（低天井用）をご利用の場合は、取付用ベース金具 ET-PKV400B のほかに、天つり金具用アタッチメント金具 ET-PAD100 を組み合わせて設置してください。
- 取り付けの際は、天つり金具に付属の落下防止セットを取り付けてご使用ください。
- 天井取り付け（天つり）などの設置工事は、工事専門業者にご依頼ください。
- 当社製以外の天つり金具の使用、ならびに天つり金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- ねじ類の締めつけの際は、トルクドライバーまたは、六角トルクレンチを使用し、規定値内のトルクで締めつけてください。電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください。
- 詳しくは、天つり金具の施工説明書をお読みください。
- 付属品や別売品などの品番は、予告なく変更する可能性があります。

本体底面



天つり金具品番：
① ET-PKL100H（高天井用）
ET-PKV400B（取付用ベース金具）
② ET-PKL100S（低天井用）
ET-PKV400B（取付用ベース金具）
③ ET-PKV100H（高天井用）
ET-PKV400B（取付用ベース金具）
ET-PAD100（天つり金具用アタッチメント金具）
④ ET-PKV100S（低天井用）
ET-PKV400B（取付用ベース金具）
ET-PAD100（天つり金具用アタッチメント金具）



ねじの締めつけトルク：M4　1.25 ± 0.2 N·m

保証とアフターサービス

よくお読みください

故障・修理・お取扱い・メンテナンス などのご相談は、まず、 **お買い上げの販売店** へ、お申し付けください。	お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（下記、パナソニック プロジェクターサポートセンター）までご連絡ください。 * 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。
万一、保証期間内に故障を生じた場合には、保証書記載内容に基づき、「無料修理」させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

* ただし、光源ランプは 6 ヵ月またはランプ使用時間 600 時間の早い方となります。

補修用性能部品の保有期間　8 年

当社では、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年間保有しています。
* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼について

この取扱説明書を再度ご確認のうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は . . .

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

■ 保証期間経過後の修理は . . .

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	液晶プロジェクター
品番	PT-VZ575NJ PT-VW535NJ PT-VX605NJ
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

パナソニック プロジェクターサポートセンター

設定や操作でご不明なことがございましたら
なんなりとお問い合わせください。

電話 フリーダイヤル 携帯･PHS OK **0120-872-601**
※携帯電話･PHSからもご利用になれます。

受付時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）
9：00～12：00　13：00～17：00

URL http://panasonic.biz/projector/

* 文書や電話でお答えすることがあります。また、返事を差しあげるのにお時間をいただくことがございます。
* お電話の際には、番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー･ディスプレイを採用している場合があります。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

さくいん

A
〈AC IN〉端子 20
［AMX D. D.］.......... 91
〈AUTO SETUP/CANCEL〉ボタン
本体 21
リモコン 19, 41
〈AV MUTE〉ボタン
リモコン 19, 45

C
CD-ROM 18
［COMPUTER1 入力設定］.......... 74
〈COMPUTER 1〉ボタン
リモコン 19, 42
［COMPUTER2 入出力選択］.......... 74
〈COMPUTER 2〉ボタン
リモコン 19, 42
［Crestron Connected(TM)］.......... 92

D
〈DEFAULT〉ボタン
リモコン 19, 49
［DIGITAL INTERFACE BOX］.......... 92
［DIGITAL LINK 信号レベル］.......... 68
［DIGITAL LINK ステータス］.......... 86
［DIGITAL LINK 設定］.......... 85
〈DIGITAL LINK〉ボタン
リモコン 19, 42
［DIGITAL LINK モード］.......... 85
〈D.ZOOM +/-〉ボタン
リモコン 19, 44

E
［ECO マネージメント］.......... 76
〈ENTER〉ボタン
本体 21
リモコン 19
［EXTRON XTP］.......... 92

F
〈FREEZE〉ボタン
リモコン 19, 44
〈FUNCTION〉ボタン
リモコン 19, 42

H
〈HDMI 1〉ボタン
リモコン 19, 42
〈HDMI 2〉ボタン
リモコン 19, 42
［HDMI 信号レベル］.......... 68

I
〈ID ALL〉ボタン
リモコン 19, 46
〈ID SET〉ボタン
リモコン 19, 46
〈INPUT SELECT〉ボタン
本体 21

M
〈MEMORY VIEWER〉ボタン
リモコン 19, 43
〈MENU〉ボタン
本体 21
リモコン 19
Miracast 機能について 121
〈Miracast〉ボタン
リモコン 19, 43
〈MUTE〉ボタン
リモコン 19, 45

P
〈Panasonic APP〉ボタン
リモコン 19, 43
PJLink プロトコル 132
〈P-TIMER〉ボタン
リモコン 19, 45

R
〈RETURN〉ボタン
リモコン 19, 49
［RGB/YCBCR］/［RGB/YPBPR］.......... 57
［RS-232C］.......... 77

S
〈SCREEN ADJ〉ボタン
リモコン 19, 41
〈SERIAL IN〉端子について 134
［SXGA モード］.......... 71

T
［TV システム］.......... 56

V
〈VIDEO〉ボタン
リモコン 19, 42
〈VOL+/-〉ボタン
リモコン 19, 42
［VueMagic(TM)］.......... 93

W
WEB ブラウザーからのアクセスのしかた 99

あ
［アイリス］.......... 55
［明るさ］.......... 53
アジャスター脚の調整 29
［アスペクト］.......... 64
［アドバンスドメニュー］.......... 55
安全上のご注意 2

い
［位置調整］.......... 58
［色あい］.......... 54
［色温度設定］.......... 54
［色の濃さ］.......... 54

え
［映像調整］.......... 53
［映像モード］.......... 53
［エミュレート］.......... 77

お
［オーバースキャン］.......... 64
お手入れ / 部品交換 124
［オンスクリーン表示］.......... 67
オンスクリーンメニュー 48
［音声設定］.......... 78
温度インジケーター 21, 123

か
外形寸法図 143

き
［起動方法］.......... 75

く
［クローズドキャプション設定］.......... 68
［クロックフェーズ］.......... 64

こ
故障かな！？ 128
ご使用になる前に 12
［コネクションロック］.......... 90
困ったとき 130
［コントラスト］.......... 53

さ
サブメニュー 49

し
［自動位置補正設定］.......... 70
［シフト］.......... 63
［シャープネス］.......... 54
仕様 140
［初期化］.......... 94

す
［スクリーン設定］.......... 69
［スクリーン補正］.......... 58, 60
［スタートアップロゴ］.......... 70
［ステータス］.......... 74, 94

せ
接続する 31
設置形態 26
設置する 26
［全設定初期化］.......... 81

そ
［操作設定］.......... 83
［その他の機能］.......... 73

た
対応信号リスト 137

て
［デイライトビュー］.......... 55
［テキスト設定］.......... 83
［テキスト変更］.......... 83
［デジタルシネマリアリティー］.......... 56
［テストパターン］.......... 80
電源インジケーター 21, 36
電源コードを接続する 36
電源ボタン
本体 21
リモコン 19
電源を切る 39
天つり金具取り付け時の注意事項 144

と
投写する 40
［投写方式］.......... 75
［ドットクロック］.......... 64

に
［入力検出］.......... 70

ね
［ネットワーク /USB］.......... 85
［ネットワークコントロール］.......... 91
ネットワーク接続について 95
ネットワーク用語解説 140

の
［ノイズリダクション］.......... 56

は
［パスワード設定］.......... 82, 91
［パスワード変更］.......... 82, 91
［バックカラー］.......... 71

ひ
［表示オプション］.......... 67
［表示言語］.......... 66

ふ
［ファンクションボタン］.......... 78
［フィルターカウンター］.......... 80
付属品の確認 17
［フレームロック］.......... 65
［プレゼンテーションタイマー］.......... 71
［プロジェクター ID］.......... 75
［プロジェクター設定］.......... 74
［プロジェクター名変更］.......... 90

へ
別売品 18

ほ
保証とアフターサービス 145

ま
［マルチライブ］.......... 92

む
［無線 LAN］.......... 87
［無線 LAN 詳細設定］.......... 88

め
メインメニュー 49
［メニューロック］.......... 83
［メニューロックパスワード］.......... 83
［メモリービューワー］.......... 93
メモリービューワー機能について 115

ゆ
［有線 LAN］.......... 86

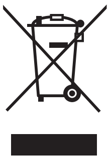
ら
［ライブモード割り込み］.......... 92
ランプインジケーター 21, 123
［ランプパワー］.......... 75

り
［リアルタイム台形補正］.......... 58
リモコン 19
リモコンで操作する 41

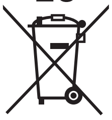
れ
レンズキャップを取り付ける 24
レンズシフト機能によるレンズ位置調整 29

わ
［ワイドモード］.......... 71

■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



EU



これらのシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

パナソニック株式会社　AVC ネットワークス社

〒 571-8503　大阪府門真市松葉町２番15号

© Panasonic Corporation 2014

W0814HT2055 -ST